

墨田区
子ども・子育て支援ニーズ調査
調査結果報告書
(案)

平成 31 年 ● 月

墨 田 区

目 次

I 調査の概要..... 1

1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 回収状況.....	1
5 調査結果の表示方法.....	1
6 調査の精度.....	2

II 「就学前の子どもの保護者」調査結果..... 3

問 1 宛名のお子さんからみて、回答する方はどなたですか。（1つに○）.....	3
問 2 宛名のお子さんの子育てや教育を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。（1つに○）.....	3
問 3 宛名のお子さんの ①生年月 ②きょうだい数 ③末子の満年齢をご記入ください。.....	3
問 4 宛名のお子さんの主な保護者はどなたですか（1つに○）。.....	4
問 5 保護者の現在の就労状況（自営業やそのお手伝い（家族従事者）含む）をお答えください。.....	5
問 6 就労日数や就労時間等（残業時間を含む）をお答えください。.....	7
問 7 フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。.....	8
問 8 就労したいという希望はありますか。.....	8
問 9 お住まいの住所をご記入ください。.....	11
問 10 現在、宛名のお子さんは幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業等」を利用していますか。 （1つに○）.....	12
問 11 宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育事業等を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）また、下の欄に利用している事業の番号と、利用日数・利用時間・開始時刻と終了時刻（24時間制）について、(1)現在と(2)希望をご記入ください。特に希望がない場合は、現在の利用状況だけで構いません。.....	13
問 12 幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業等に求めることはどのようなことですか。 （○は3つまで）.....	25
問 13 この1年間、宛名のお子さんが病気やケガで、教育・保育事業等を利用できなかったことがありましたか。そのときの対処法などをお答えください。（半日程度も1日とします。）.....	25
問 14 仕事を休んだとき、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。（(1)1つに○。利用したいと思った方は、(2)に利用希望日数・(3)保育施設等にあてはまるものすべてに○。）.....	28
問 15 政府は、消費税率引上げの時期に合わせて、認可・認可外を問わず、3歳から5歳までのすべての子どもと、0歳から2歳までの住民非課税世帯の子どもについて、来年10月から幼児教育・保育に無償化を実施することとしています。そのような中で、現在利用している・利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業等として、利用したいと思う事業を希望順にご記入ください。.....	30
問 16 現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。（○は1つ）【対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。】.....	34
問 17 日ごろ、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。また、相談できる親族や知人、専門機関等がありますか。（それぞれにあてはまるもの1つに○）.....	34
問 18 宛名のお子さんの子育てや教育について、誰に（どのようなところに）相談しますか。（あてはまるものすべてに○）.....	35
問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育や病気のため以外に、私用、親の通院 不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。（(1)あてはまるものにすべてに○。利用している事業については(2)におおよその日数を記入。）.....	36

- 問 20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で一時的預かりを利用する必要があると思いますか。(1)あてはまるものすべてに○。利用したい方は(2)に必要な日数、(3)に望ましい事業形態を記入。) 38
- 問 21 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)そのときの(1)対処法と(2)それぞれの泊数をお答えください。「1 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方は、(3)にもお答えください。(1つに○) 41
- 問 22 宛名のお子さんが、長期休暇中(夏休みなど)のときに、教育・保育事業等の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。..... 42
- 問 23 “土曜”と“日曜・祝日”の定期的な教育・保育事業等の利用希望について、利用したい回数と時間帯、特に利用したい事業をお答えください。(一時的な利用は除きます。また、現在の利用や実際に利用可能な時間帯などに関係なく、お答えください。) 44
- 問 24 子育てをどのように感じていますか(1つに○)。 47
- 問 25 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか。(①と②のそれぞれについて、1～4の1つに○) 47
- 問 26 日ごろ感じる不安なことについて、教えてください。(あてはまるものすべてに○) 48
- 問 27 不安感や孤立感を和らげるためにどんなことが必要ですか。(あてはまるもの3つに○) 49
- 問 28 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○) 49
- 問 29 宛名のお子さんは、地域子育て支援拠点を利用していますか。(1)にあてはまるものすべてに○)利用している方は、(2)におおよその利用回数、(4)に満足度、(5)に今後の利用希望、利用回数を増やしたい方は(6)に回数をお答えください。利用していない方は、(3)に今後の利用希望(1つに○)、(6)に利用希望回数をお答えください。 50
- 問 30 墨田区で行っている次の子育て支援事業等について、(1)認知度、(2)利用状況、利用したことがある方は、(3)満足度にお答えください。 52
- 問 31 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のどちらかまたは双方が育児休業を取得しましたか。 58
- 問 32 育児休業を取得していない理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。 59
- 問 33 お子さんが何歳のときまで育児休業を取得(予定も含む)し、復帰するきっかけは何ですか。また、希望としては、何歳のときまで取得したいですか? 61
- 問 34 希望より早く復帰する(した)理由は何ですか。 62
- 問 35 乳幼児期のお子さんを育てていくうえで、墨田区の環境をどのように感じていますか。(①～⑩のそれぞれについて、1～4の1つに○) 64
- 問 36 問 35 の①～⑩の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を3つご記入ください。 66
- 問 37 ご家族の中に、高齢・障害・病気などで、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(1つに○) 67
- 問 38 子育てと高齢・障害・病気などに対する介護を、同時に進行していることによる負担は何ですか。(あてはまるものから、順に3つ) 67
- 問 39 区に配慮してほしいことは何ですか。(1つに○) 68
- 問 40 宛名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所等で過ごさせたいと思いますか。(1)にあてはまるものすべてに○。(2)希望する利用日数を、「5 学童クラブ」は終了時刻を記入。 68
- 問 41 宛名のお子さんが小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所等で過ごさせたいと思いますか。(1)にあてはまるものすべてに○。(2)希望する利用日数を、「5 学童クラブ」は終了時刻を記入。 73
- 問 42 通常の学童クラブの利用について、①～④それぞれに、利用希望をお答えください。(1つに○)利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。 76
- 問 43 現実的に子どもを持てる(持とうとしている)人数と、「欲しい」子どもの人数に差はありますか。(1つに○) その理由について、差支えない範囲でご記入ください。 80

Ⅲ 「小学生の保護者」調査結果..... 81

問 1	宛名のお子さんからみて、回答する方はどなたですか。(1つに○).....	81
問 2	宛名のお子さんの子育てや教育を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)	81
問 3	宛名のお子さんについて、性別・学年をお答えください。(1つに○)	81
問 4	宛名のお子さんの保護者はどなたですか。(1つに○)	82
問 5	お住まいの住所をご記入ください。	82
問 6	保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。	82
問 7	就労日数や就労時間等(残業時間を含む)をお答えください。	83
問 8	対象のお子さんは、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していましたか。 (あてはまるものすべてに○).....	84
問 9	宛名のお子さんが生まれたとき、父母のどちらかまたは双方が育児休業を取得しましたか。	85
問 10	就労したいという希望はありますか。	85
問 11	宛名のお子さんは、月曜日から金曜日の放課後、どのように過ごすことが多いですか。 (最も多い過ごし方3つまでに○)	87
問 12	宛名のお子さんは学童クラブを利用したことがありますか。(1つに○)	88
問 13	通常の学童クラブの利用について、①～④それぞれに、利用希望をお答えください。(1つに○) 利用希望 がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。	89
問 14	お子さんが小学校に入学したときに、心配なことは何でしたか。(それぞれに1つに○)	93
問 15	問 14の①～⑫の中で、特に心配と思う番号を3つご記入ください。	94
問 16	子育てをどのように感じていますか。(1つに○)	94
問 17	子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか。	95
問 18	日ごろ感じる不安なことについて、教えてください。(あてはまるものすべてに○)	95
問 19	不安感や孤立感を和らげるためにどんなことが必要ですか。(あてはまるもの3つに○)	96
問 20	子育てに関してどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)	96
問 21	墨田区で行っている次のサービス等について、(1)認知度、(2)利用状況、利用したことがある方は、 (3)の満足度にお答えください。	97
問 22	学校教育の場で身につけてほしいことは何ですか。(あてはまるもの3つに○)	101
問 23	小学生のお子さんを育てていくうえで、墨田区の環境をどのように感じていますか。 (①～⑮のそれぞれについて、1～4の1つに○)	101
問 24	問 23の①～⑮の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を3つご記入ください。	103
問 25	ご家族の中に、高齢・障害・病気などで、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(1つに○)	104
問 26	子育てと高齢・障害・病気などに対する介護を、同時に進行していることによる負担は何ですか。 (あてはまるものから、順に3つ)	104
問 27	区に配慮してほしいことは何ですか。(1つに○)	105
問 28	そうじ・洗たく・食事のしたく・買物など、家の用事をどのくらい手伝っていますか。(1つに○)	106
問 29	朝は自分で起きられますか。(1つに○)	106
問 30	ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか。(1つに○)	106
問 31	学校の授業は、わかりますか。(1つに○)	107
問 32	学校は楽しいですか。(1つに○)	107
問 33	もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)	107
問 34	もし、あなたがいじめを目撃したらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)	108
問 35	なやみや心配なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)	109
問 37	将来、どんな仕事につきたいですか。(あてはまるものすべてに○)	110
問 38	この1年間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思ったことがありますか。 (1つに○)	110
問 39	学校に行きたくないと思うのはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)	111

IV 「成人前」調査結果..... 112

問 1	性別をお答えください。.....	112
問 2	一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)	112
問 3	兄弟姉妹についてお答えください。(1つに○)	113
問 4	そうじ・洗たく・食事のしたく・買物など、家の用事をどの程度していますか。(1つに○)	113
問 5	朝は自分で起きられますか(1つに○)。	114
問 6	家での食事は、どのように食べることが多いですか(もっとも近いもの1つに○)。	114
問 7	月曜日から金曜日の放課後、何をすることが多いですか。(あてはまるもの3つまでに○)	115
問 8	参加したことがある地域活動やボランティア活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)	116
問 9	あなたが成人になったときに、地域活動やボランティア活動をしますか。(1つに○) その理由もお教えください。	116
問 10	友だちと遊んだり、でかけたりするところはどこが多いですか。(あてはまるもの3つまでに○)	118
問 11	現在、学校や家庭などを含めて、生活は楽しいですか。(1つに○)	119
問 12	どのようなことに関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)	120
問 13	悩みや心配なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)	121
問 14	悩みや心配なことは誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)	122
問 15	次の①～⑤の考え方についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを1～4の中から選んでください。(それぞれ1つに○)	123
問 16	将来、どんな仕事につきたいですか。(あてはまるものすべてに○)	125
問 17	あなたは墨田区が好きですか。(1つに○)	125
問 18	墨田区が好きな理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	126
問 19	墨田区が好きではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	127
問 20	ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか。(1つに○)	128
問 21	学校の授業は、わかりますか。(1つに○)	128
問 22	学校は楽しいですか。(1つに○)	129
問 23	もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)	129

I 調査の概要

1 調査の目的

第二期墨田区子ども・子育て支援事業計画（墨田区次世代育成支援行動計画を内包する）の策定にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の需要量を見込むための基礎資料として、調査したものです。

2 調査対象

対 象 者	抽出方法	実施方法
就学前の子どもの保護者	平成 30 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布及び回収
小学生の保護者	平成 30 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布及び回収
成人前	（以下のとおり）	郵送により配布及び回収
高校生等	平成 30 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出	郵送により配布及び回収
中学 2 年生	区内各中学校から 2 年生の 1 学級抽出	学校を通じて配布及び回収

3 調査期間

平成 30 年 9 月 14 日から平成 30 年 9 月 30 日まで

4 回収状況

対 象 者	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前の子どもの保護者	2,000	1,171	58.6%
小学生の保護者	1,486	795	53.5%
成人前	655	377	57.6%
高校生等	300	96	32.0%
中学 2 年生	355	281	79.2%
総 計	4,141	2,343	56.6%

※本調査は抽出調査として、有効なサンプル（回収）数が確保できています。

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

6 調査の精度

この調査は標本調査であり、今回得られた結果から墨田区全体としての意見を推測することができます。この場合、標本誤差は次の式より近似値を求めることができます。（ただし、信頼度 95%とします）

$$\delta = k \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

δ = 標本誤差

M = 母集団

n = 有効回収数

p = 結果の比率

k = 信頼度による定数（±1.96）

対 象 者	母集団 M	有効回 収数 n	比 率					
			p	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1
			1-p	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9
就学前の子どもの保護者	13,705	1,171	δ	2.74%	2.68%	2.51%	2.19%	1.64%
小学生の保護者	10,568	795	δ	3.34%	3.27%	3.06%	2.67%	2.01%
中学2年生	1,266	281	δ	5.16%	5.05%	4.73%	4.13%	3.10%
高校生等	5,299	96	δ	9.91%	9.71%	9.08%	7.93%	5.95%

※母集団Mは、平成30年9月1日現在の数

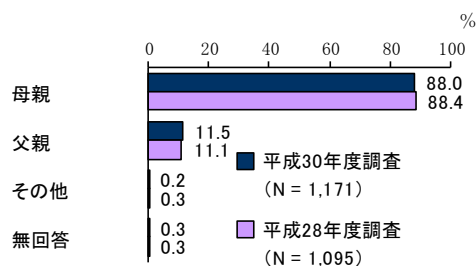
標本誤差（ δ ）について、上記表中の“％”は就学前の子どもの保護者の「問〇〇の回答者が1,171人で、選択肢の回答比率が70%であったとき、誤差の範囲は、大きくとも±2.51%である。」という意味です。

Ⅱ 「就学前の子どもの保護者」調査結果

問1 宛名のお子さんからみて、回答する方はどなたですか。（1つに○）

「母親」の割合が 88.0%、「父親」の割合が 11.5%となっています。

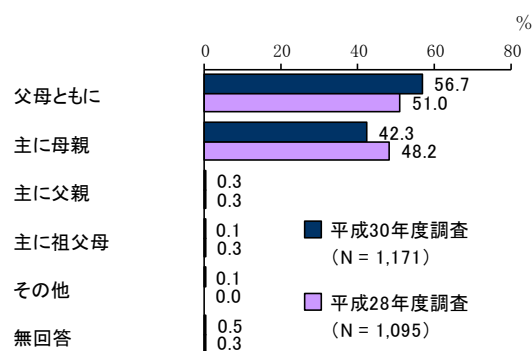
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 宛名のお子さんの子育てや教育を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。（1つに○）

「父母ともに」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 42.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加し、「主に母親」の割合が減少しています。

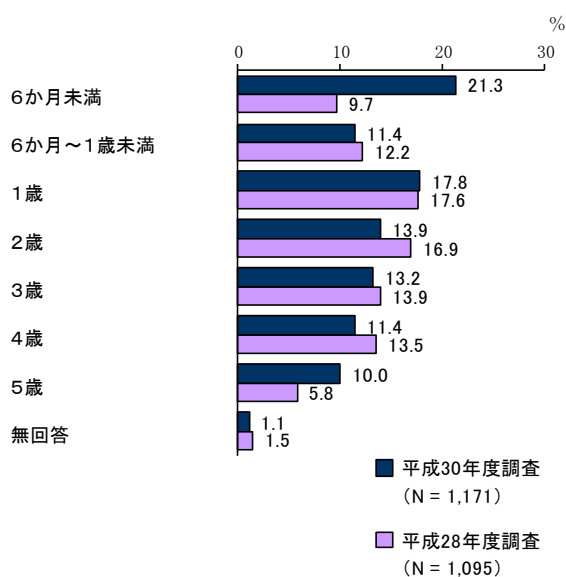


問3 宛名のお子さんの ①生年月 ②きょうだい数 ③末子の満年齢をご記入ください。

（1）子どもの年齢

「0歳」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 17.8%、「2歳」の割合が 13.9%となっています。

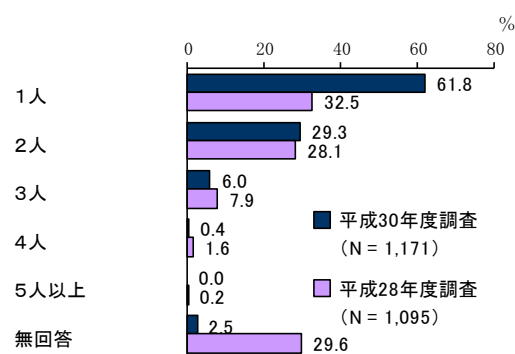
平成 28 年度調査と比較すると、「6か月未満」の割合が増加しています。



（２）きょうだい数

「１人」の割合が61.8%と最も高く、次いで「２人」の割合が29.3%となっています。

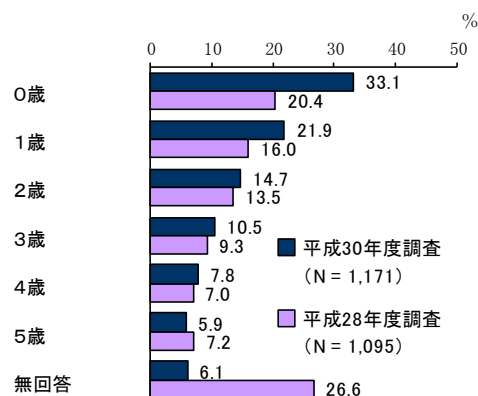
平成 28 年度調査と比較すると、「１人」の割合が大きく増加しています。



（３）末子の満年齢

「０歳」の割合が34.9%と最も高く、次いで「１歳」の割合が23.2%、「２歳」の割合が13.5%となっています。

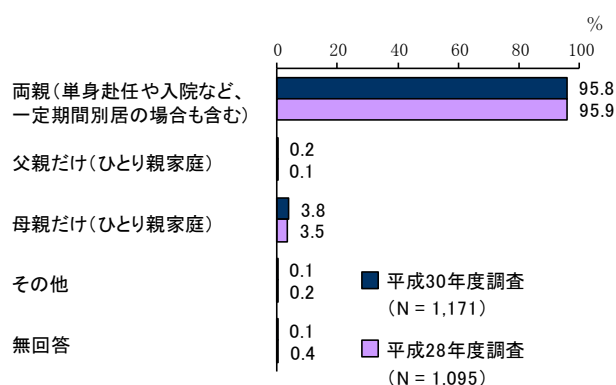
平成 28 年度調査と比較すると、「０歳」「１歳」の割合が増加しています。



問４ 宛名のお子さんの主な保護者はどなたですか（１つに○）。

「両親（単身赴任や入院など、一定期間別居の場合も含む）」の割合が95.8%と最も高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

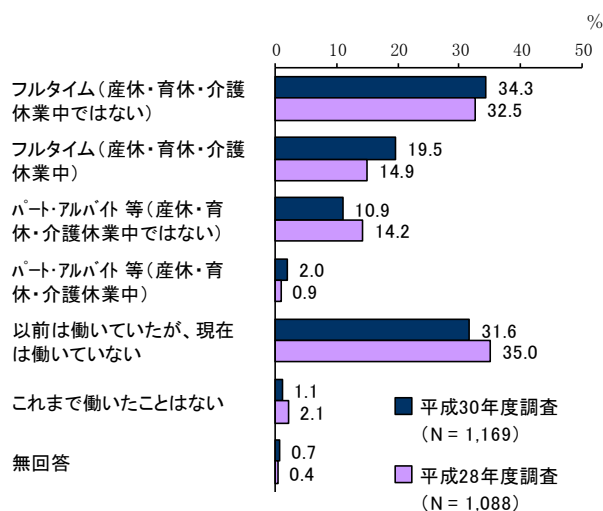


問5 保護者の現在の就労状況（自営業やそのお手伝い（家族従事者）含む）をお答えください。

（１）母親

「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が 31.6%、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」の割合が 19.5%となっています。

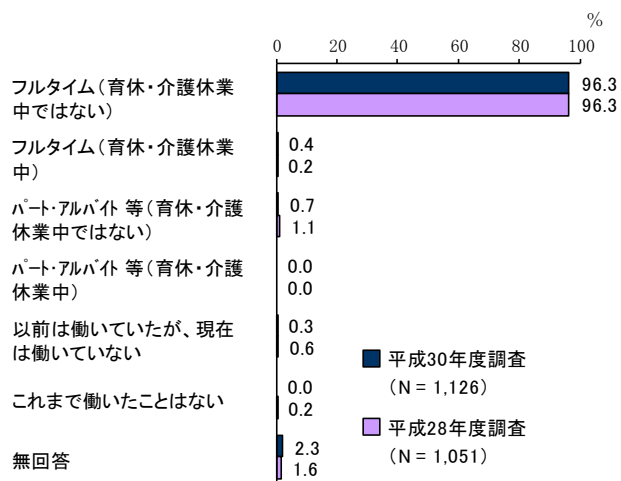
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）父親

「フルタイム（育休・介護休業中ではない）」の割合が 96.3%と最も高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

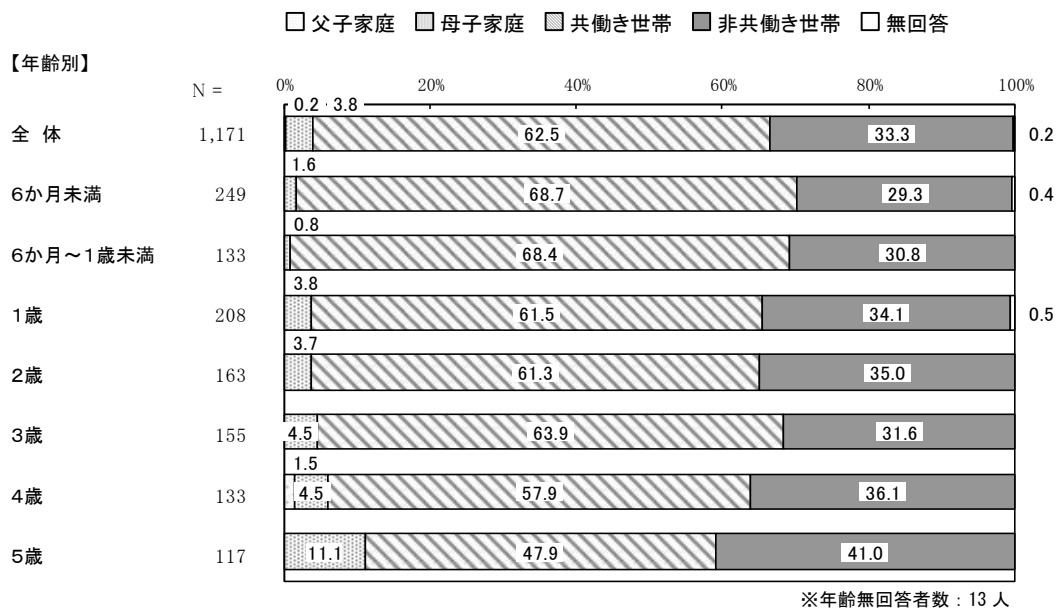
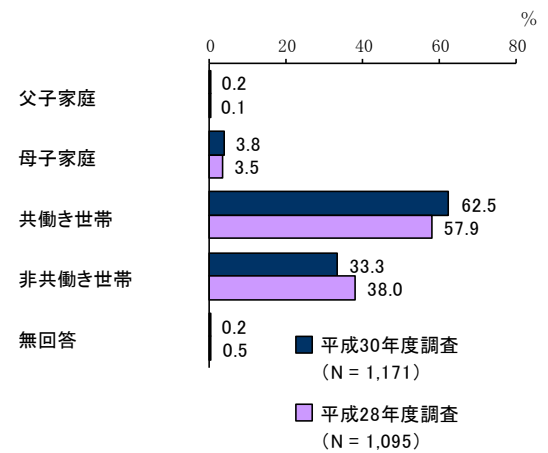


家庭類型

問 4、問 5 から家庭類型を集計すると、「共働き世帯」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「非共働き世帯」の割合が 33.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、5 歳で「非共働き世帯」の割合が高く、約 4 割となっています。



問5で「3. パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」「4. パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にうかがいます。

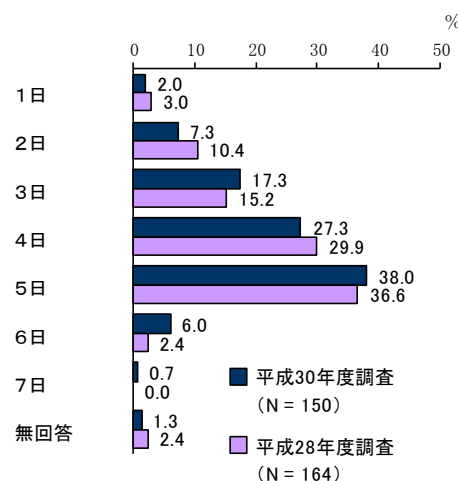
問6 就労日数や就労時間等（残業時間を含む）をお答えください。

（１）母親

①就労日数（１週あたり）

「５日」の割合が38.0%と最も高く、次いで「４日」の割合が27.3%、「３日」の割合が17.3%となっています。

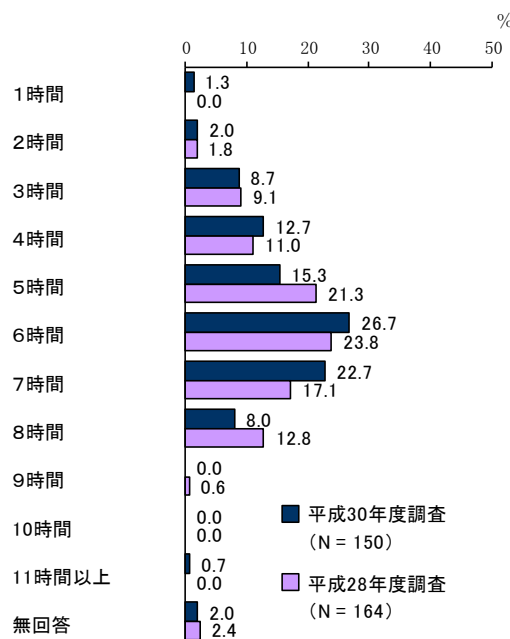
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②平均就労時間（１日あたり）

「６時間」の割合が26.7%と最も高く、次いで「７時間」の割合が22.7%、「５時間」の割合が15.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「５時間」の割合が減少し、「７時間」の割合が増加しています。



（２）父親

①就労日数（１週あたり）

「５日」が５件、「６日」が２件、「３日」が１件となっています。

②平均就労時間（１日あたり）

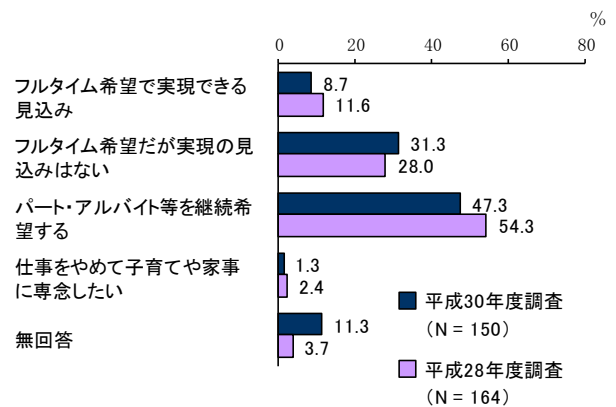
「８時間」が３件、「４時間」、「５時間」、「７時間」が１件となっています。

問7 フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。

（1）母親

「パート・アルバイト等を継続希望する」の割合が47.3%と最も高く、次いで「フルタイム希望だが実現の見込みはない」の割合が31.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等を継続希望する」の割合が減少しています。



（2）父親

「フルタイム希望で実現できる見込み」が3件、「フルタイム希望だが実現の見込みはない」が2件となっています。

問5で「3. 以前は働いていたが、現在は働いていない」「4. これまで働いたことはない」に○をつけた方（現在は働いていない方）にうかがいます。

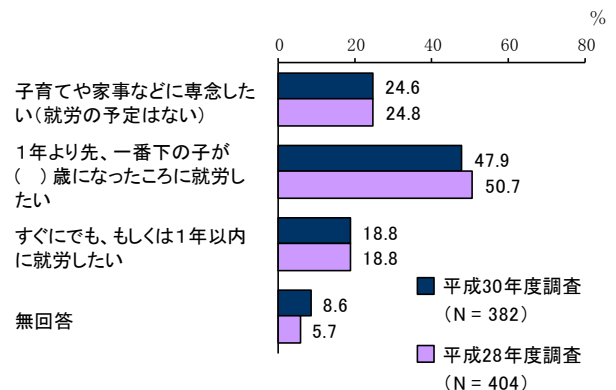
問8 就労したいという希望はありますか。

（1）母親

①就労希望

「1年より先、一番下の子が（ ）歳になったところに就労したい」の割合が47.9%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が24.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が18.8%となっています。

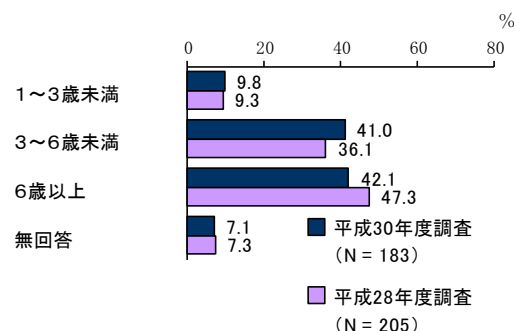
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②就労したい時期（「1年より先、一番下の子が（ ）歳になったところに就労したい」と回答した人）

「6歳以上」の割合が42.1%と最も高く、次いで「3～6歳未満」の割合が41.0%となっています。

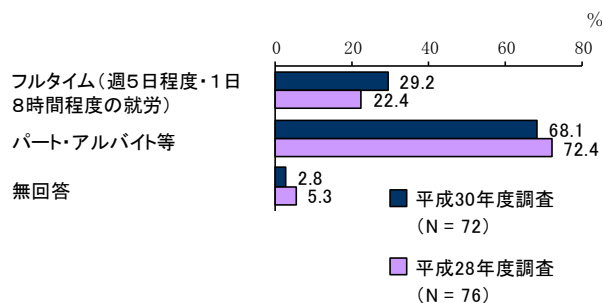
平成28年度調査と比較すると、「6歳以上」の割合が減少しています。



③就労希望形態（「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人）

「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が29.2%、「パート・アルバイト等」の割合が68.1%となっています。

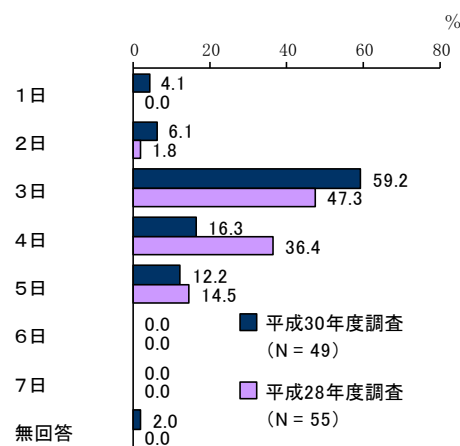
平成28年度調査と比較すると、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が増加しています。



④希望就労日数（「パート・アルバイト等」と回答した人）

「3日」の割合が59.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が16.3%、「5日」の割合が12.2%となっています。

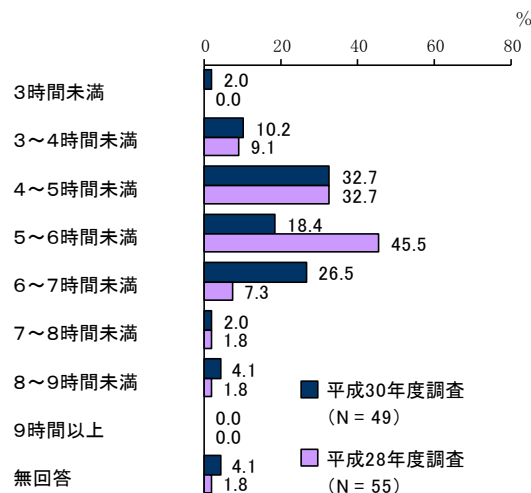
平成28年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加し、「4日」の割合が減少しています。



⑤就労希望時間（「パート・アルバイト等」と回答した人）

「4～5時間未満」の割合が32.7%と最も高く、次いで「6～7時間未満」の割合が26.5%、「5～6時間未満」の割合が18.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「5～6時間未満」の割合が減少し、「6～7時間未満」の割合が増加しています。



(2) 父親 (N=3)

①就労希望

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が1件となっています。

②就労したい時期(「1年より先、一番下の子が()歳になったところに就労したい」と回答した人)

有効回答はありません。

③就労希望形態(「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人)

「パート・アルバイト等」が1件となっています。

④希望就労日数(「パート・アルバイト等」と回答した人)

「3日」が1件となっています。

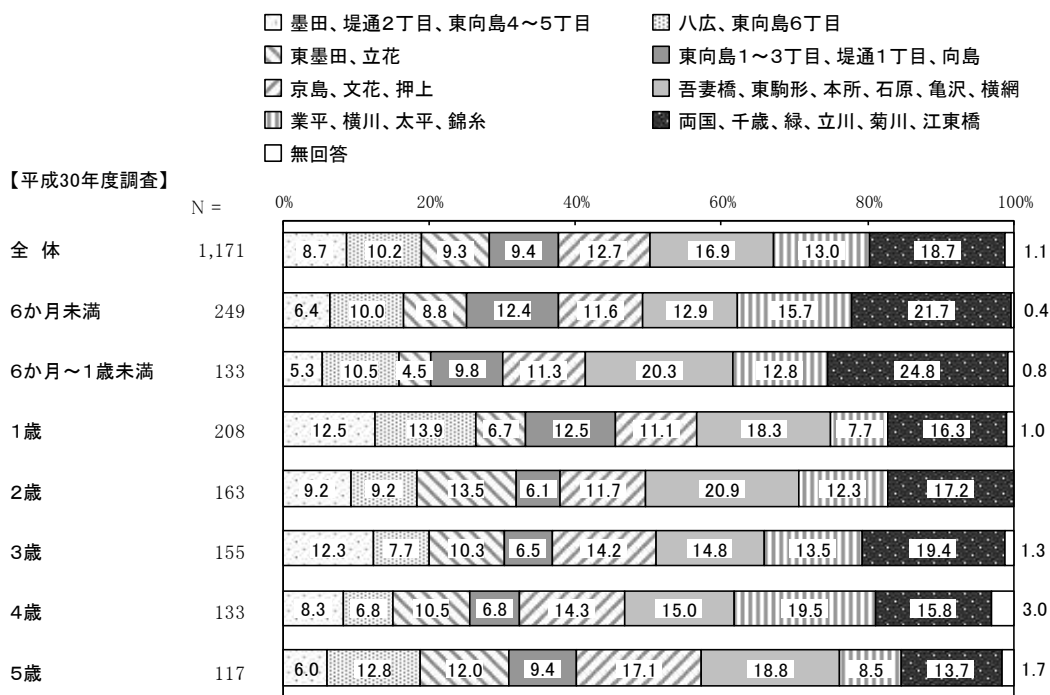
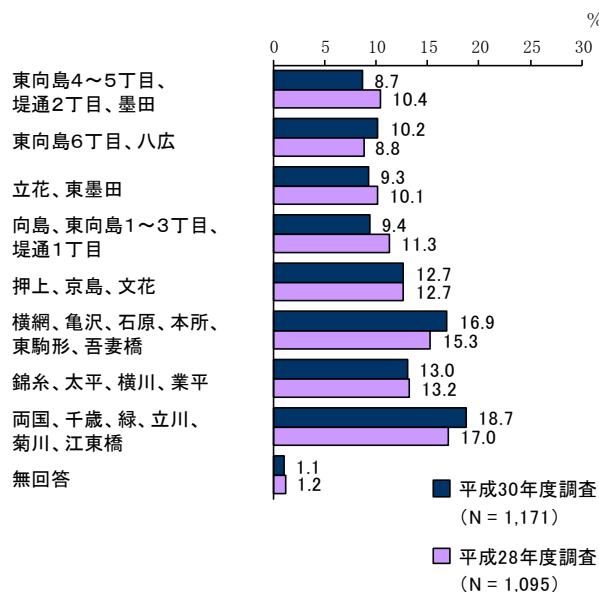
⑤就労希望時間(「パート・アルバイト等」と回答した人)

「3～4時間未満」が1件となっています。

問9 お住まいの住所をご記入ください。

「両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋」の割合が18.7%と最も高く、次いで「吾妻橋、東駒形、本所、石原、亀沢、横網」の割合が16.9%、「業平、横川、太平、錦糸」の割合が13.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



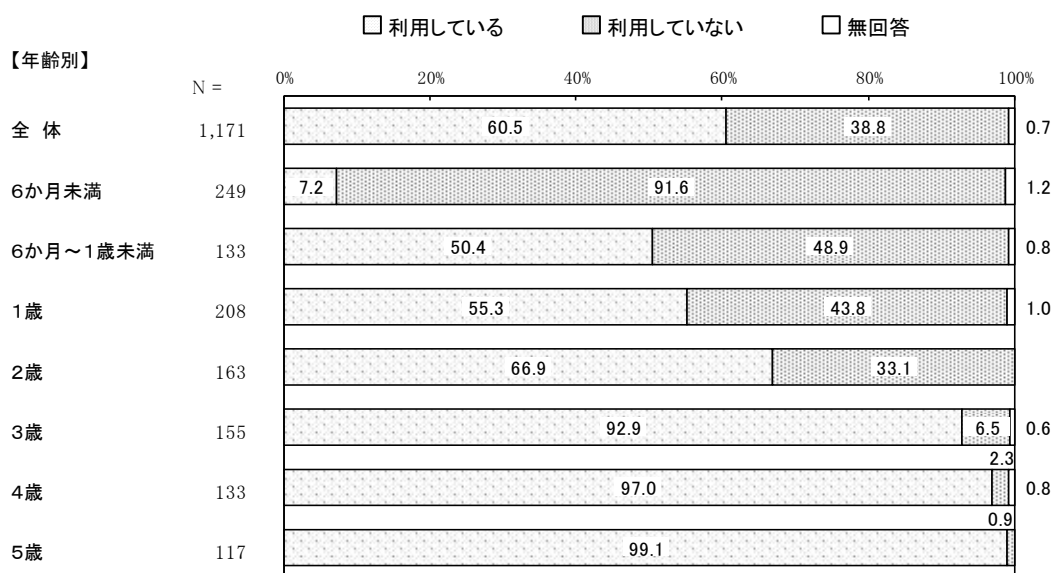
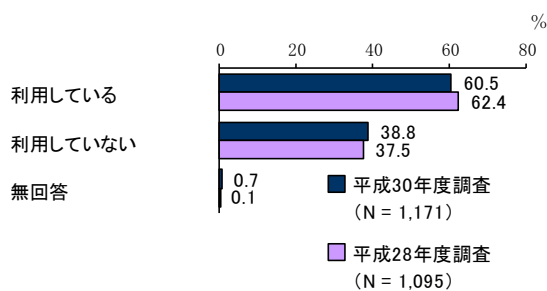
※年齢無回答者数：13人

問 10 現在、宛名のお子さんは幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業等」を利用していますか。(1つに○)

「利用している」の割合が 60.5%、「利用していない」の割合が 38.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「利用している」の割合が高くなっており、4 歳、5 歳ではほぼ全員が利用しています。



※年齢無回答者数：13人

問 10 で「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

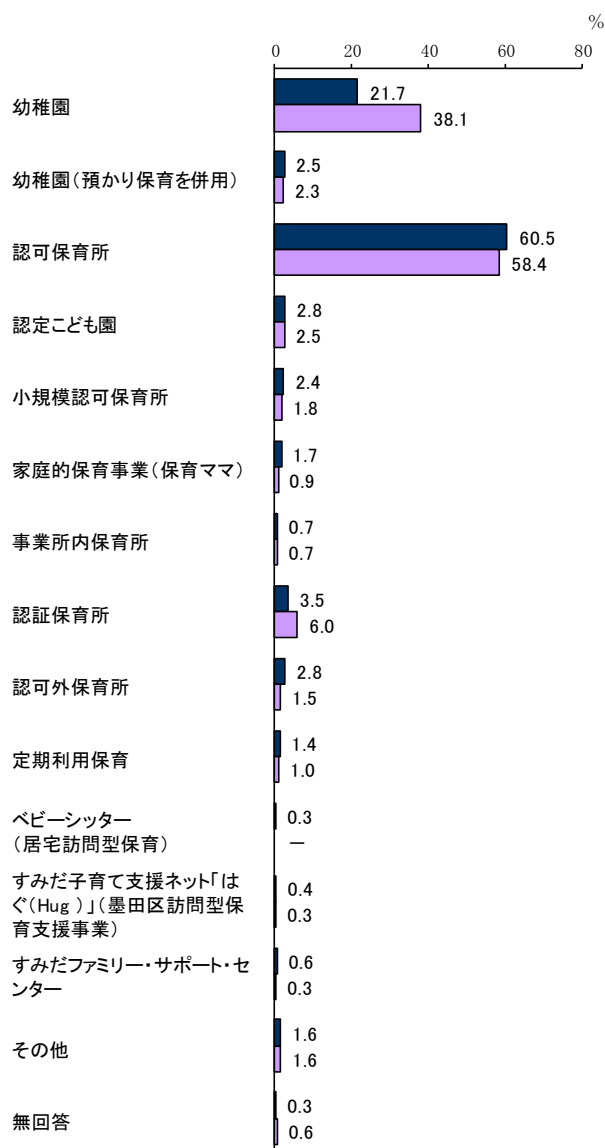
問 11 宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育事業等を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）また、下の欄に利用している事業の番号と、利用日数・利用時間・開始時刻と終了時刻（24 時間制）について、(1)現在と(2)希望をご記入ください。特に希望がない場合は、現在の利用状況だけで構いません

（１）利用している事業

「認可保育所」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 21.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少しています。

家庭類型別でみると、母子家庭で「認可保育所」の割合が高く、8 割台半ばとなっています。また、非共働き世帯で「幼稚園」の割合が高く、約 8 割となっています。



※平成 28 年度調査には「ベビーシッター」の選択肢はありませんでした。

【家庭類型別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園 (預かり保育を併用)	認可保育所	認定こども園	小規模認可保育所	家庭的保育事業 (保育ママ)	事業所内保育所
全 体	709	21.7	2.5	60.5	2.8	2.4	1.7	0.7
父子家庭	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—
母子家庭	35	8.6	—	85.7	—	—	—	—
共働き世帯	523	5.5	1.0	74.0	3.4	3.1	2.3	1.0
非共働き世帯	149	81.2	8.7	7.4	1.3	0.7	—	—

区分	認証保育所	認可外保育所	定期利用保育	ベビーシッター	すみだ子育て支援ネット 「はぐ(はぐ)」(墨田区 訪問型保育支援事業)	すみだファミリー・ サポート・センター	その他	無回答
全 体	3.5	2.8	1.4	0.3	0.4	0.6	1.6	0.3
父子家庭	—	—	—	—	—	—	—	—
母子家庭	2.9	—	—	2.9	—	—	2.9	—
共働き世帯	4.4	3.8	1.9	0.2	0.6	0.6	1.0	0.2
非共働き世帯	0.7	—	—	—	—	0.7	3.4	0.7

【２事業以上利用している場合の利用先】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園 (預かり保育を併用)	認可保育所	認定こども園	小規模認可保育所	家庭的保育事業 (保育ママ)	事業所内保育所
全 体	709	21.7	2.5	60.5	2.8	2.4	1.7	0.7
幼稚園	154		3.9	0.6	—	—	—	—
幼稚園(預かり保育を併用)	18	33.3		—	—	—	—	—
認可保育所	429	0.2	—		—	—	—	—
認定こども園	20	—	—	—		—	—	—
小規模認可保育所	17	—	—	—	—		—	—
家庭的保育事業(保育ママ)	12	—	—	—	—	—		—
事業所内保育所	5	—	—	—	—	—	—	
認証保育所	25	—	—	—	—	—	—	—
認可外保育所	20	—	—	5.0	—	—	—	—
定期利用保育	10	—	—	—	—	10.0	—	—
ベビーシッター	2	—	—	100.0	—	—	—	—
すみだ子育て支援ネット 「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型 保育支援事業)	3	—	—	100.0	—	—	—	—
すみだファミリー・サポート・センタ ー	4	25.0	—	75.0	—	—	—	—
その他	11	18.2	—	27.3	—	—	—	—

【2事業以上利用している場合の利用先（つづき）】

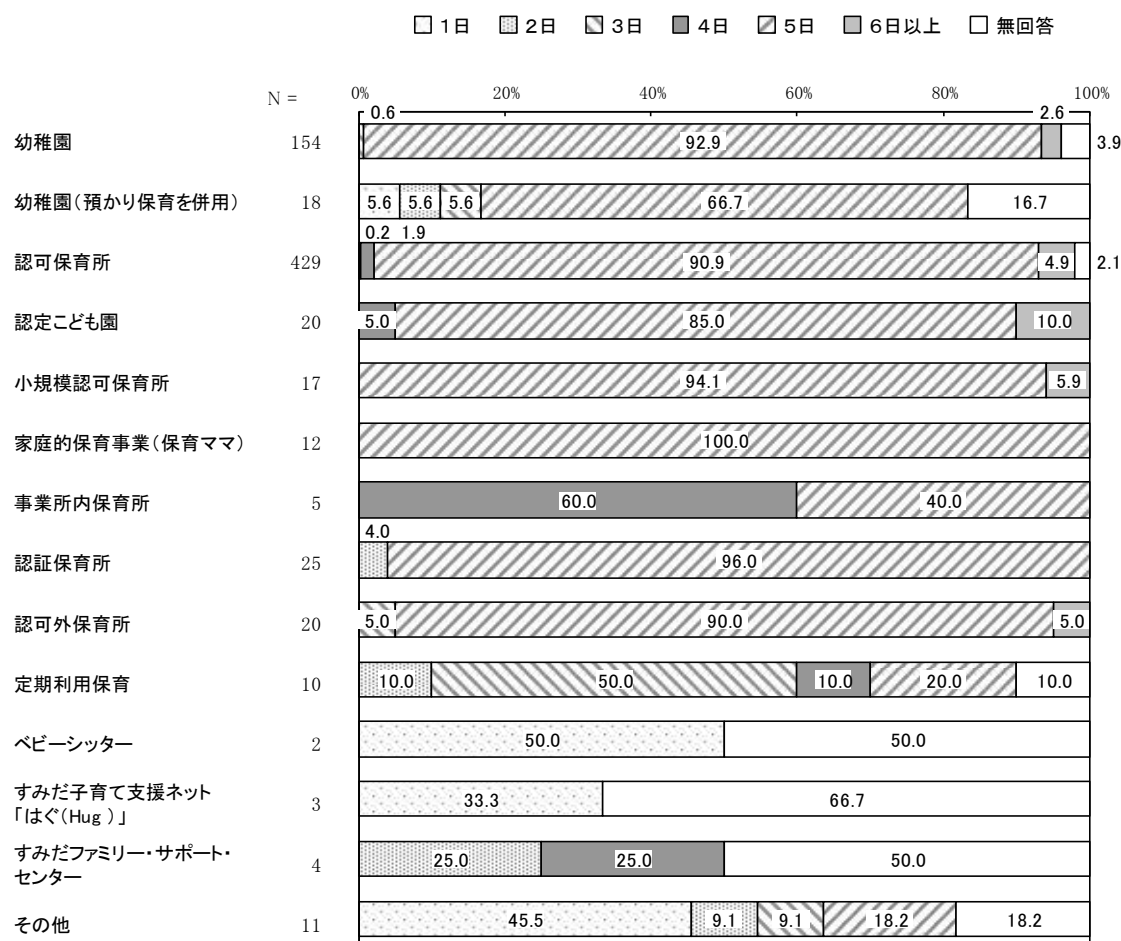
単位：％

区分	認証保育所	認可外保育所	定期利用保育	ベビーシッター	すみだ子育て支援ネット 「はぐ(Hug)」 (墨田区訪問型保育支援事業)	すみだファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	3.5	2.8	1.4	0.3	0.4	0.6	1.6	0.3
幼稚園	—	—	—	—	—	0.6	1.3	—
幼稚園(預かり保育を併用)	—	—	—	—	—	—	—	—
認可保育所	—	0.2	—	0.5	0.7	0.7	0.7	—
認定こども園	—	—	—	—	—	—	—	—
小規模認可保育所	—	—	5.9	—	—	—	—	—
家庭的保育事業(保育ママ)	—	—	—	—	—	—	—	—
事業所内保育所	—	—	—	—	—	—	—	—
認証保育所		—	—	—	—	—	—	—
認可外保育所		—	—	—	—	—	—	—
定期利用保育		—	—	—	—	—	—	—
ベビーシッター		—	—	—	—	—	—	—
すみだ子育て支援ネット 「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型 保育支援事業)		—	—	—	—	—	—	—
すみだファミリー・サポート・センタ ー		—	—	—	—	—	—	—
その他		—	—	—	—	—	—	—

（２）現在の利用状況

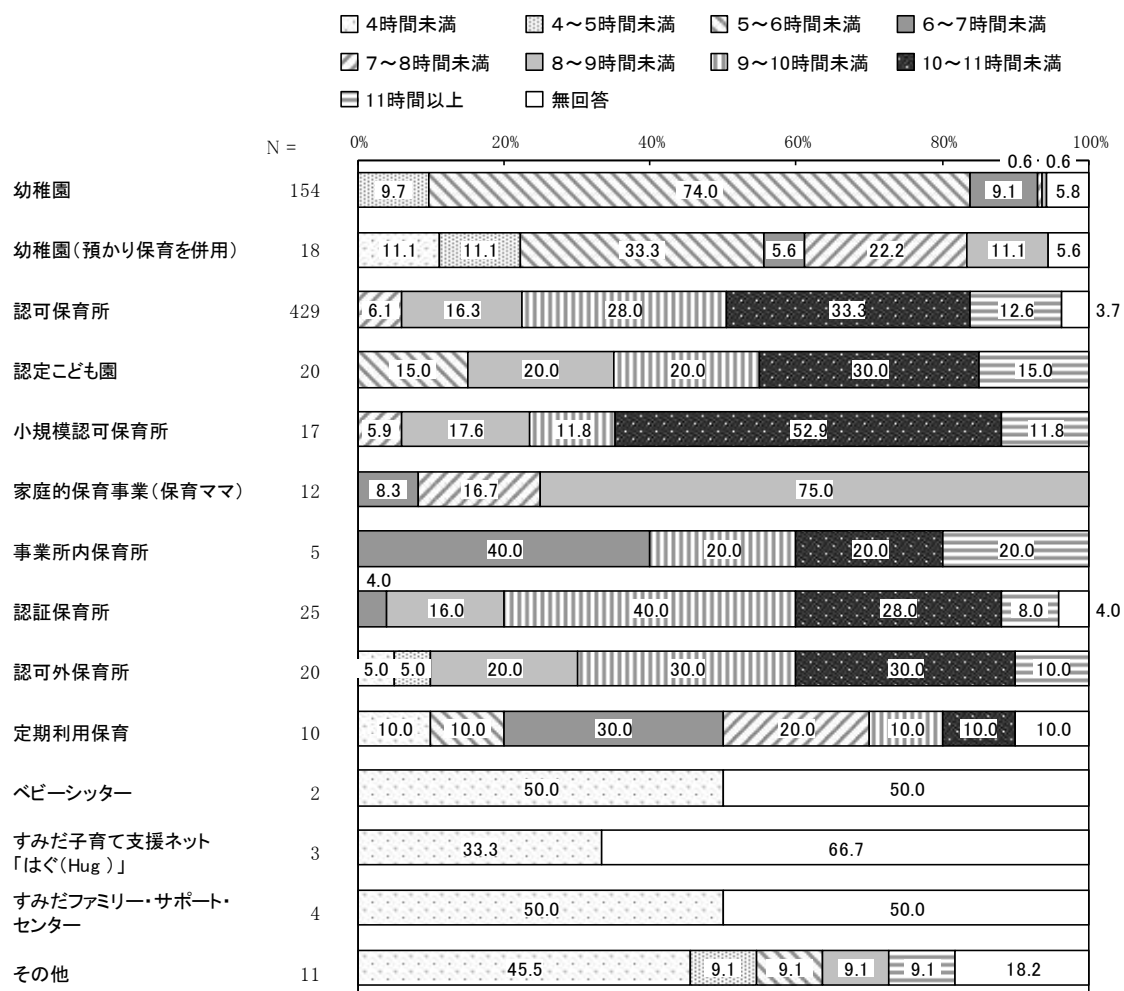
①週あたりの利用日数

幼稚園、認可保育所、小規模認可保育所、家庭的保育事業（保育ママ）、認証保育所、認可外保育所で「５日」の割合が高く、９割を超えています。



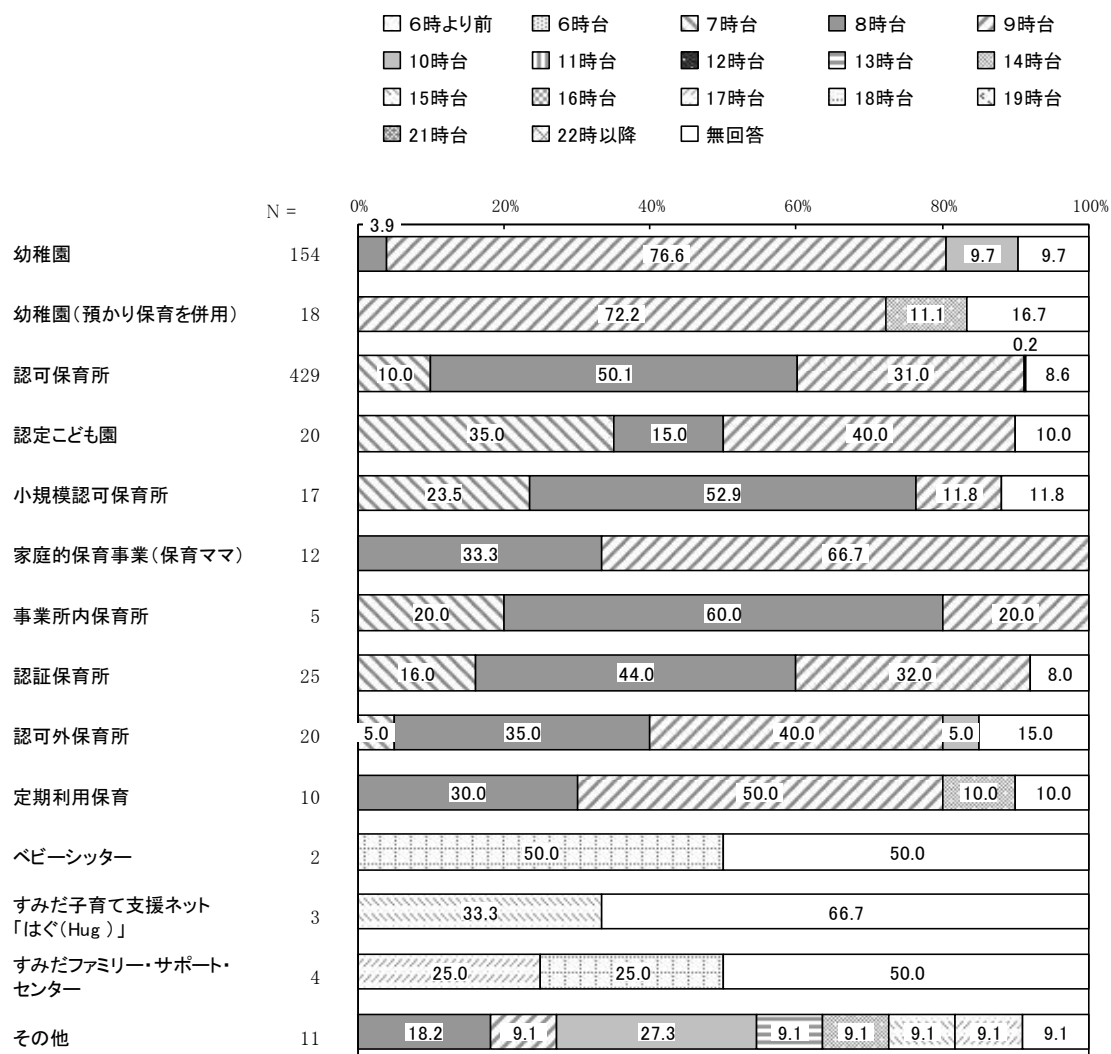
② 1日あたりの利用時間

幼稚園で「5～6時間未満」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、小規模認可保育所で「10～11時間未満」の割合が高く、約5割となっています。



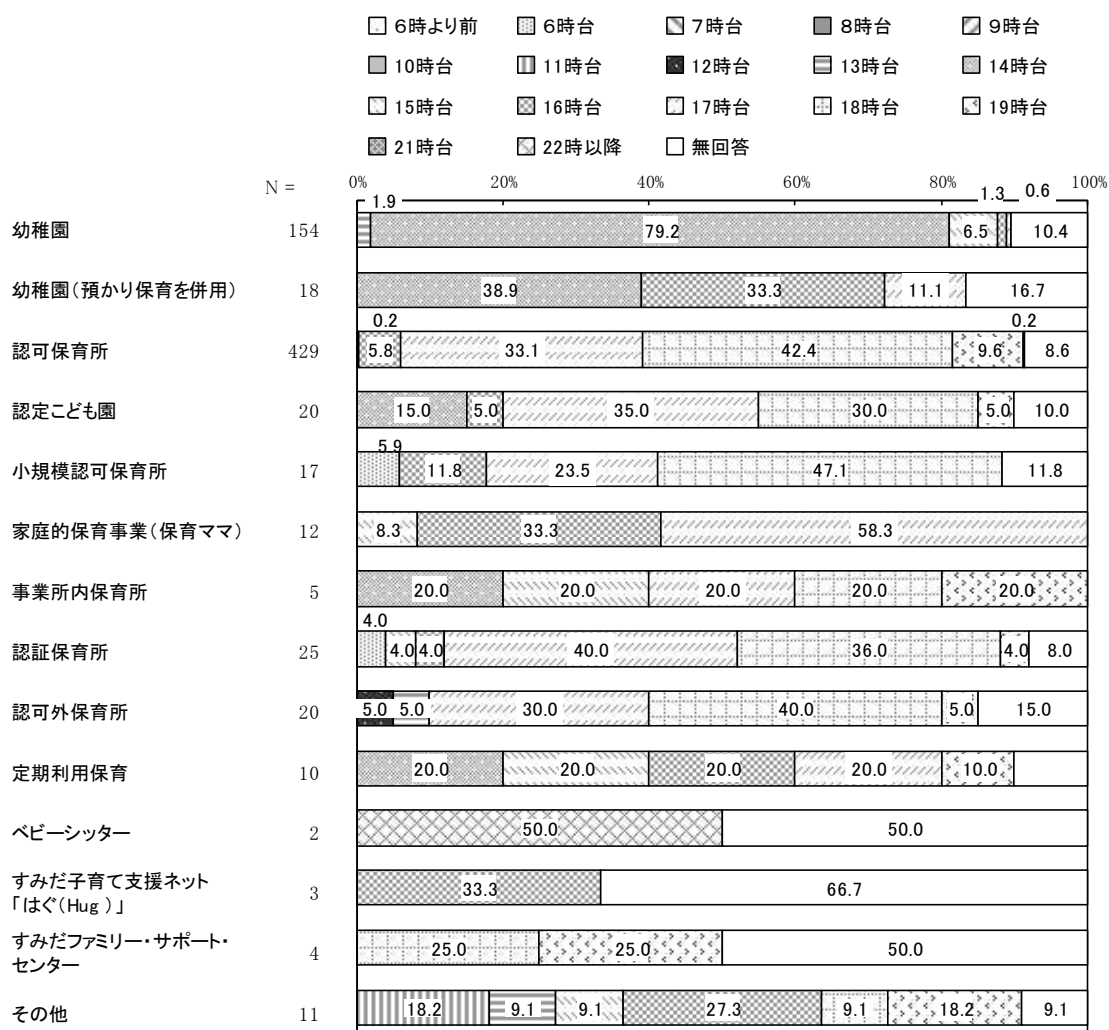
③利用開始時間

幼稚園で「9時台」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、認可保育所、小規模認可保育所で「8時台」の割合が高く、約5割となっています。



④利用終了時間

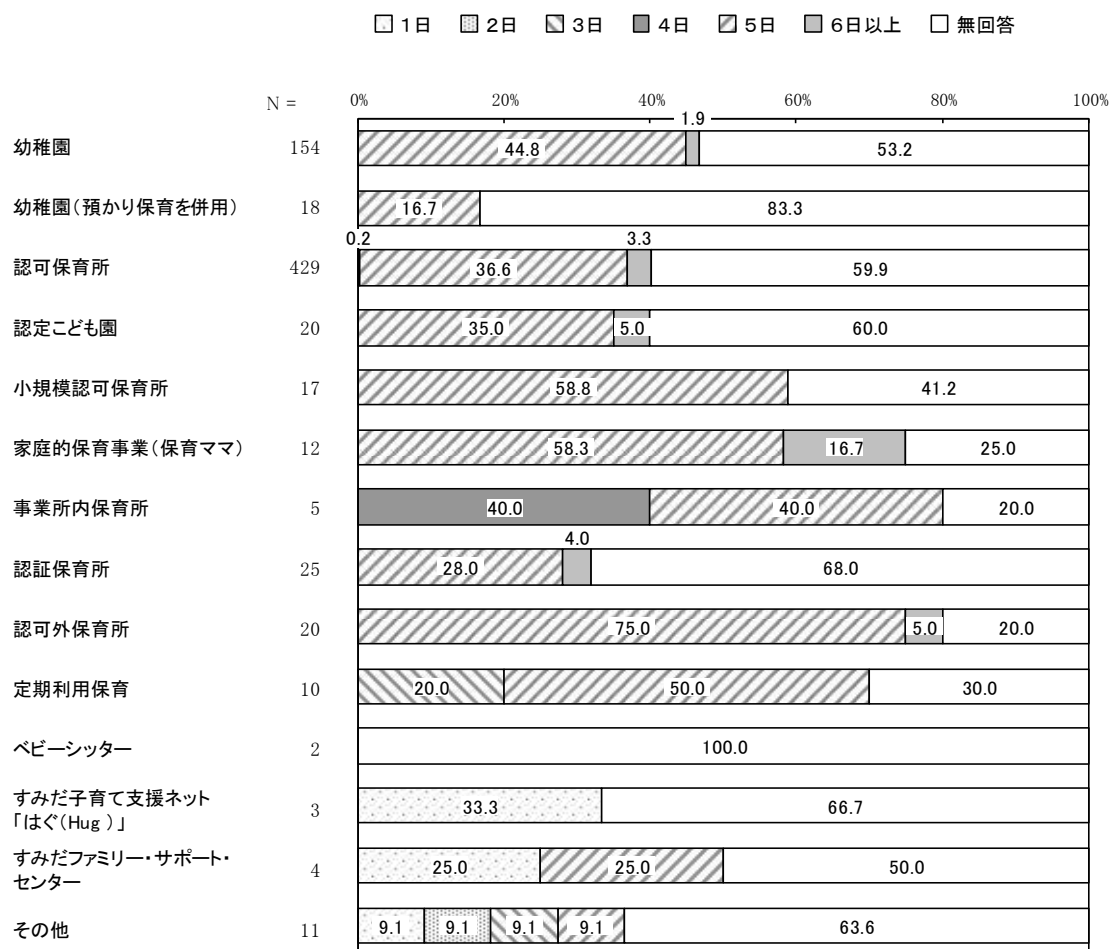
幼稚園で「14 時台」の割合が高く、約 8 割となっています。また、家庭的保育事業（保育ママ）で「17 時台」の割合が高く、約 6 割となっています。



(3) 希望

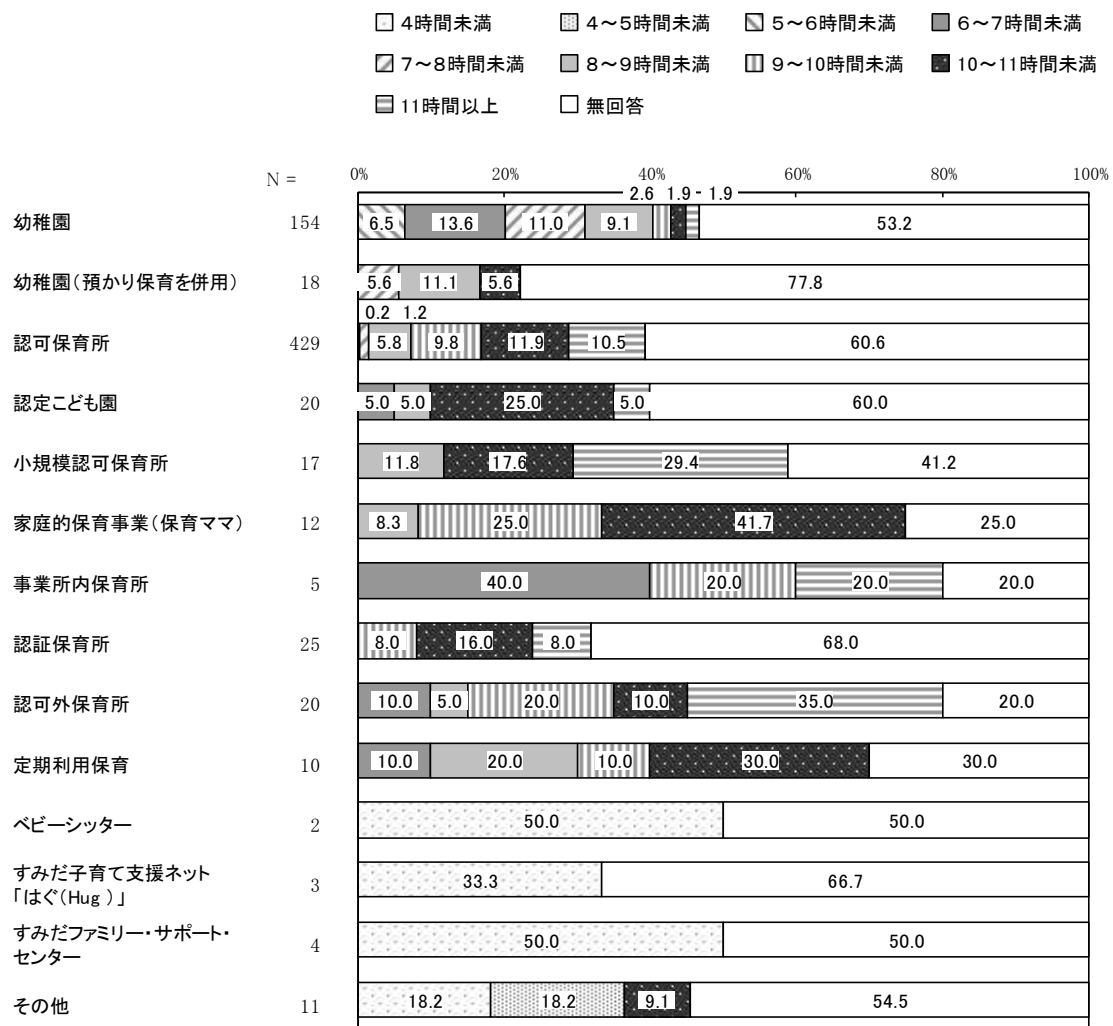
①週あたりの利用日数

「5日」の割合が33.8%と最も高くなっています。



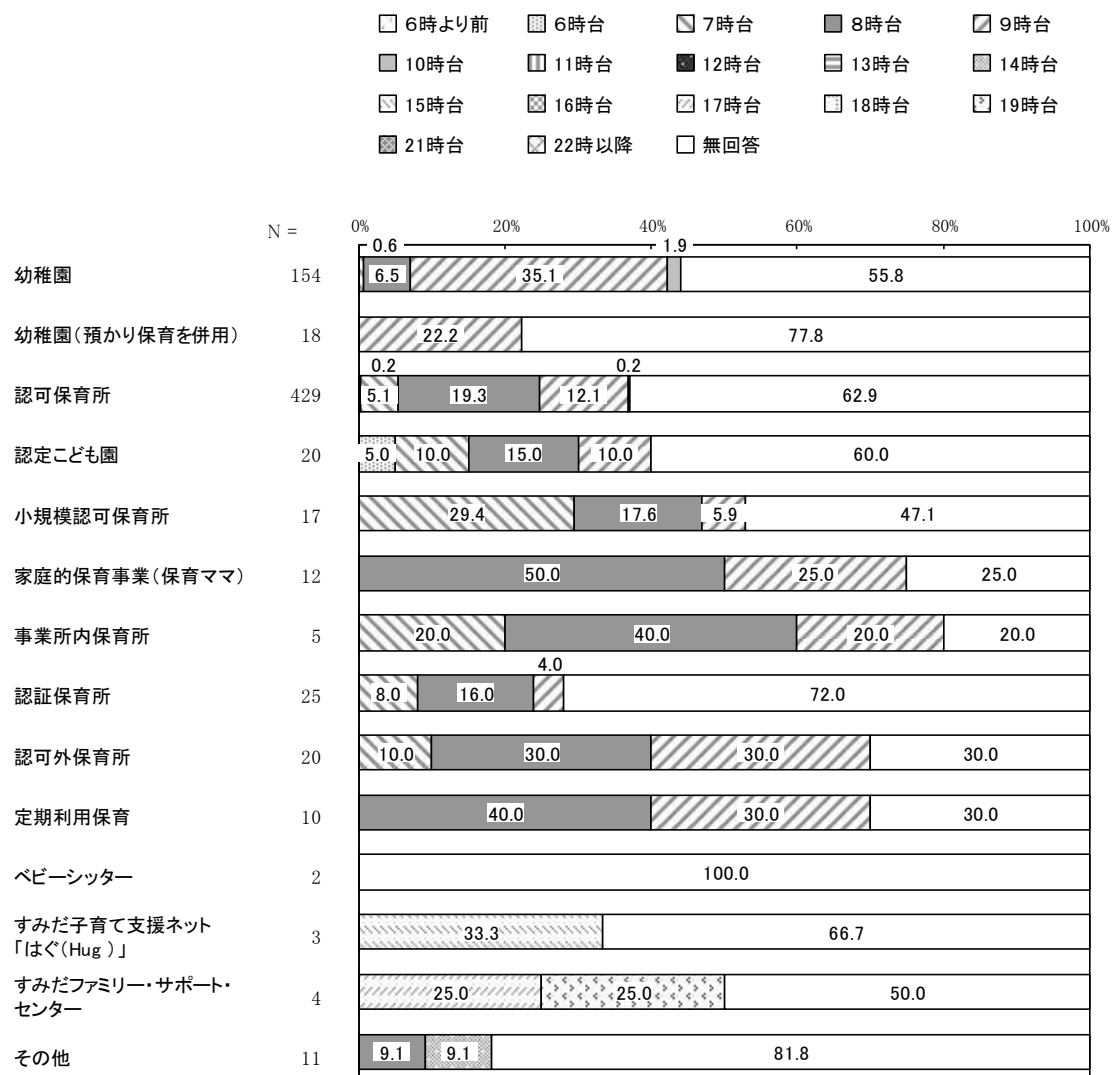
② 1日あたりの利用時間

家庭的保育事業（保育ママ）で「10～11 時間未満」の割合が高く、約 4 割となっています。



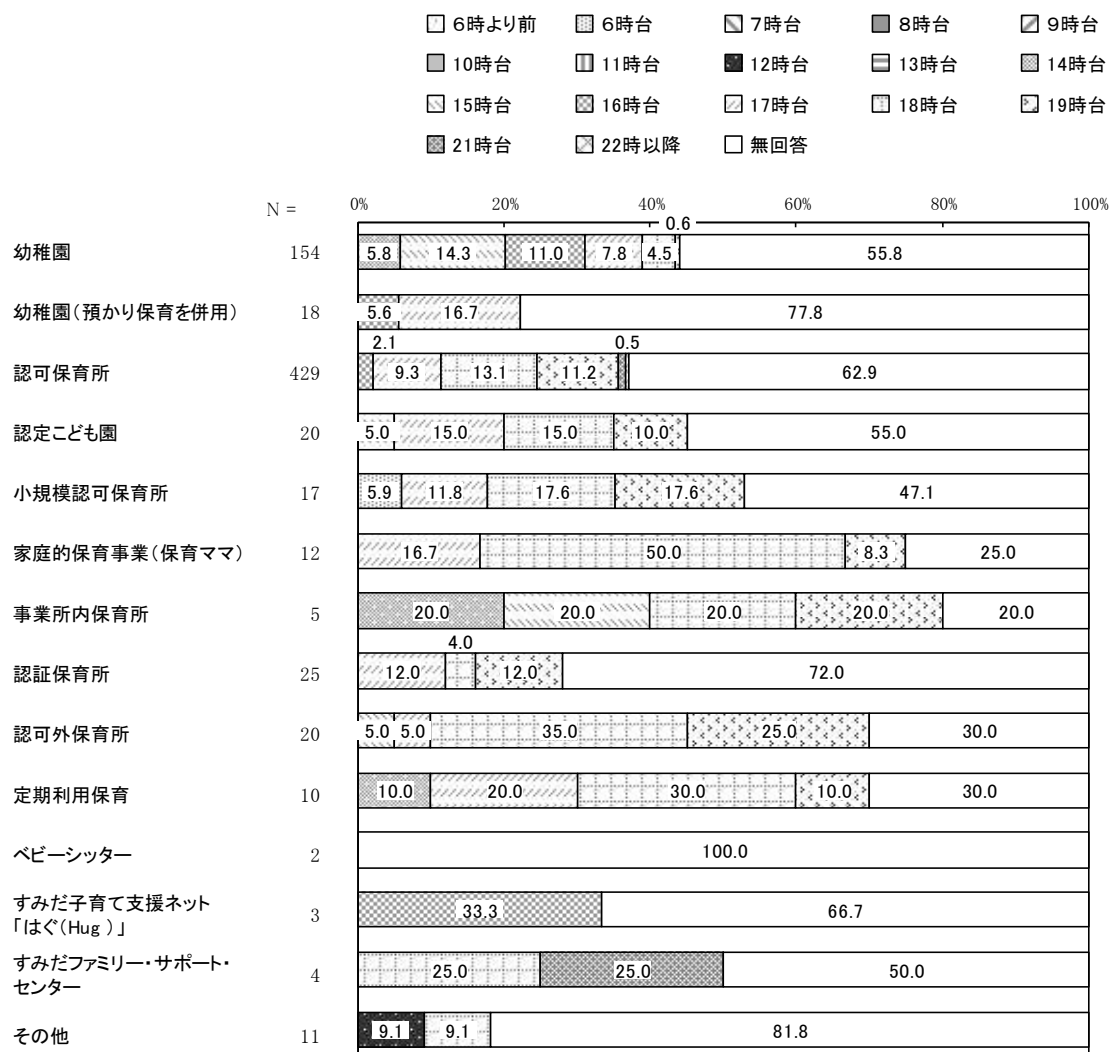
③希望利用開始時間

家庭的保育事業（保育ママ）で「8時台」の割合が高く、5割となっています。



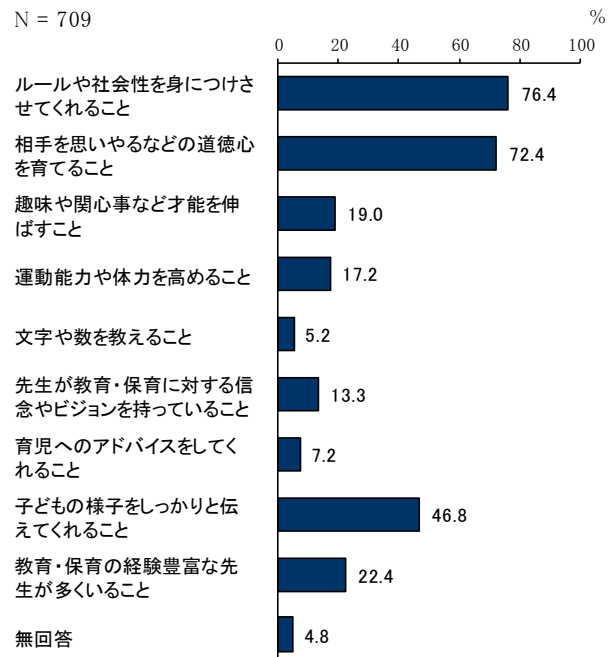
④希望利用終了時間

家庭的保育事業（保育ママ）で「18 時台」の割合が高く、5 割となっています。



問 12 幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業等に求めることはどのようなことですか。
(〇は3つまで)

「ルールや社会性を身につけさせてくれること」の割合が 76.4%と最も高く、次いで「相手を思いやるなどの道德心を育てること」の割合が 72.4%、「子どもの様子をしっかりと伝えてくれること」の割合が 46.8%となっています。

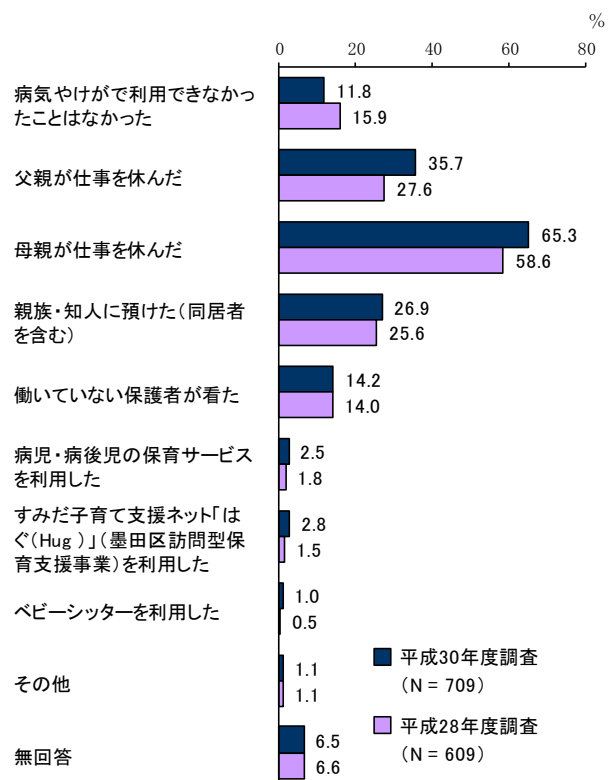


問 13 この1年間、宛名のお子さんが病気やケガで、教育・保育事業等を利用できなかったことがありますか。そのときの対処法などをお答えください。
(半日程度も1日とします。)

「母親が仕事を休んだ」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」の割合が 35.7%、「親族・知人に預けた(同居者を含む)」の割合が 26.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。

全体的に「母親が仕事を休んだ」の割合が高く、年齢別でみると、6 か月～1 歳で約 9 割となっています。



※主なその他意見

- ・親族に来てもらった (2 件)
- ・年の離れた兄がみた (1 件) など

【年齢別】

単位：％

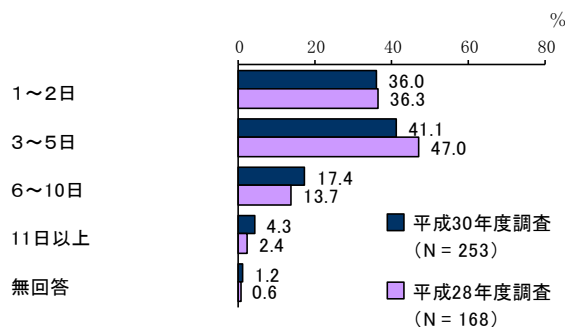
区分	有効回答数（件）	病気やけがで利用できなかったことはなかった	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	親族・知人に預けた（同居者を含む）	働いていない保護者が見た	病児・病後児の保育サービスを利用した	すみだ子育て支援ネット「はぐ（はぐ）」（墨田区訪問型保育支援事業）を利用した	ベビーシッターを利用した	その他	無回答
全 体	709	11.8	35.7	65.3	26.9	14.2	2.5	2.8	1.0	1.1	6.5
6か月未満	18	11.1	33.3	66.7	27.8	—	11.1	11.1	—	—	22.2
6か月～1歳未満	67	3.0	44.8	94.0	37.3	3.0	4.5	7.5	3.0	—	—
1歳	115	5.2	53.9	89.6	32.2	2.6	2.6	1.7	—	2.6	3.5
2歳	109	7.3	47.7	80.7	39.4	8.3	3.7	2.8	—	1.8	0.9
3歳	144	13.9	31.3	56.9	20.8	20.1	2.1	2.1	1.4	—	6.9
4歳	129	23.3	20.9	45.0	18.6	20.9	1.6	2.3	1.6	1.6	9.3
5歳	116	12.9	22.4	43.1	20.7	25.9	0.9	1.7	0.9	0.9	12.1

※年齢無回答者数：11人

①父親が休んだ日数

「3～5日」の割合が41.1%と最も高く、次いで「1～2日」の割合が36.0%、「6～10日」の割合が17.4%となっています。

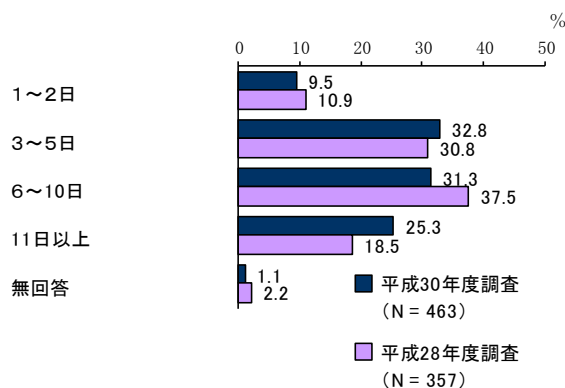
平成28年度調査と比較すると、「3～5日」の割合が減少しています。



②母親が仕事を休んだ日数

「3～5日」の割合が32.8%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が31.3%、「11日以上」の割合が25.3%となっています。

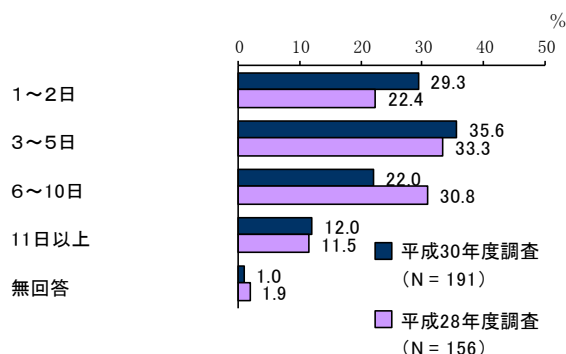
平成28年度調査と比較すると、「6～10日」の割合が減少し、「11日以上」の割合が増加しています。



③親族・知人に預けた（同居者を含む）日数

「3～5日」の割合が35.6%と最も高く、次いで「1～2日」の割合が29.3%、「6～10日」の割合が22.0%となっています。

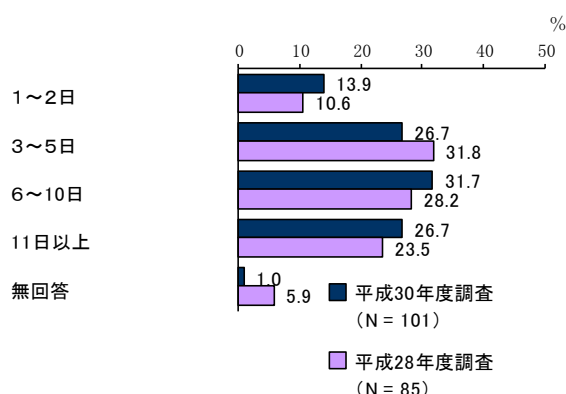
平成28年度調査と比較すると、「6～10日」の割合が減少し、「1～2日」の割合が増加しています。



④働いていない保護者が見た日数

「6～10日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「3～5日」、「11日以上」の割合が26.7%となっています。

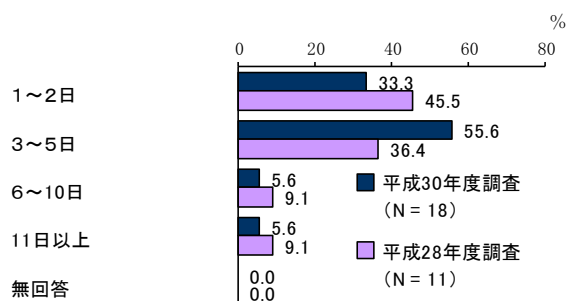
平成28年度調査と比較すると、「3～5日」の割合が減少しています。



⑤病児・病後児の保育サービスを利用した日数

「3～5日」の割合が55.6%と最も高く、次いで「1～2日」の割合が33.3%となっています。

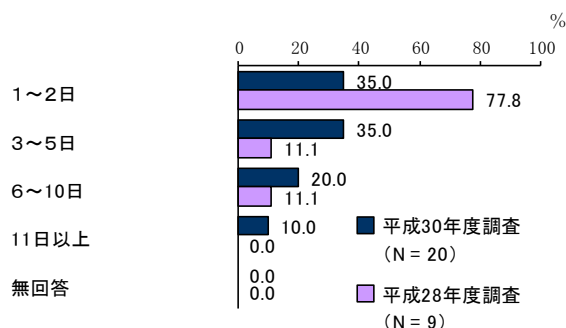
平成28年度調査と比較すると、「1～2日」の割合が減少し、「3～5日」の割合が増加しています。



⑥すみだ子育て支援ネット「はぐ (Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業) を利用した日数

「1～2日」、「3～5日」の割合が35.0%と最も高く、次いで、「6～10日」の割合が20.0%となっています。

平成28年度調査との比較は、有効回答数が少ないため参考とします。



⑦ベビーシッターを利用した日数

「1～2日」が4件、「3～5日」が2件、「6～10日」が1件となっています。

⑧その他

「6～10日」が3件、「3～5日」、「11日以上」が2件となっています。

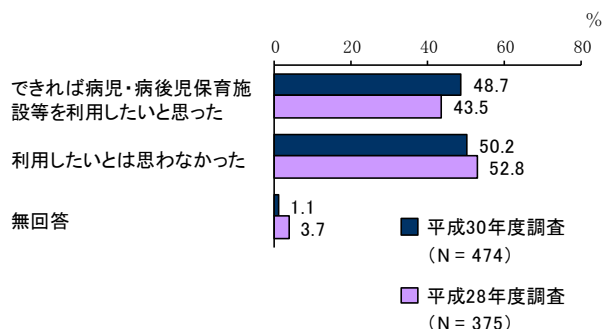
前問で「2. 父親が仕事を休んだ」「3. 母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

問 14 仕事を休んだとき、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。
 ((1) 1つに○。利用したいと思った方は、(2)に利用希望日数・(3)保育施設等にあてはまるものすべてに○。)

(1) 利用希望

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」の割合が 48.7%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 50.2%となっています。

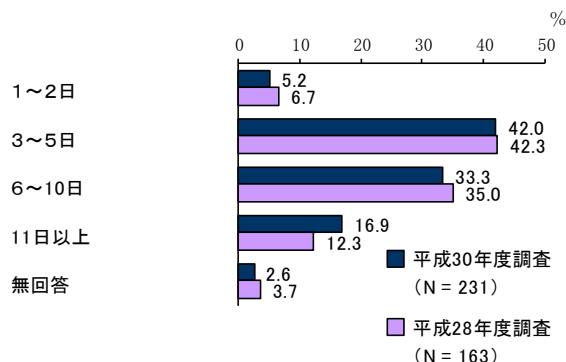
平成 28 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」の割合が増加しています。



(2) 利用希望日数

「3～5日」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が 33.3%、「11日以上」の割合が 16.9%となっています。

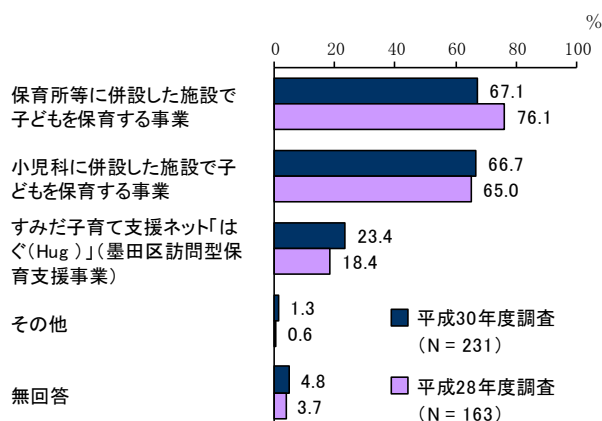
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 希望する病児・病後児のための保育施設等 (あてはまるものすべてに○)

「保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 66.7%、「すみだ子育て支援ネット「はぐ (Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)」の割合が 23.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少し、「すみだ子育て支援ネット「はぐ (Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)」の割合が増加しています。



※主なその他意見

- ・ 民間 (1 件)
- ・ 急きょ気軽に、預けられるところ (1 件)
- ・ 通っている園での病児保育。(1 件)

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数（件）	保育所等に併設した施設で 子どもを保育する事業	小児科に併設した施設で 子どもを保育する事業	すみだ子育て支援ネット 「はぐ（hug）」 （墨田区訪問型保育支援事業）	その他	無回答
全 体	231	67.1	66.7	23.4	1.3	4.8
6か月未満	6	33.3	83.3	33.3	—	—
6か月～1歳未満	42	69.0	71.4	26.2	2.4	2.4
1歳	48	72.9	64.6	22.9	—	2.1
2歳	41	68.3	68.3	14.6	—	9.8
3歳	43	62.8	65.1	27.9	—	4.7
4歳	31	64.5	61.3	22.6	3.2	9.7
5歳	18	72.2	61.1	27.8	5.6	—

※年齢無回答者数：2人

問 15 政府は、消費税率引上げの時期に合わせて、認可・認可外を問わず、3歳から5歳までのすべての子どもと、0歳から2歳までの住民非課税世帯の子どもについて、来年10月から幼児教育・保育に無償化を実施することとしています。
 そのような中で、現在利用している・利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業等として、利用したいと思う事業を希望順にご記入ください。

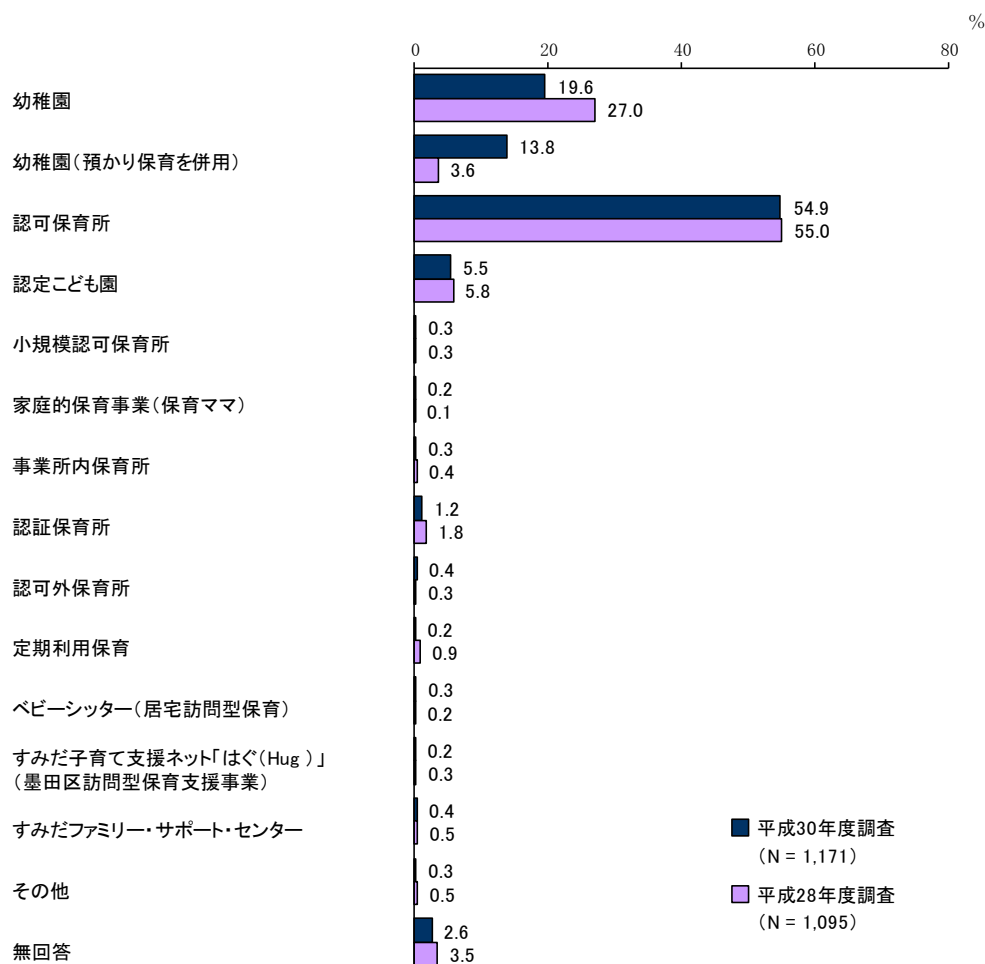
(1) 第1希望

「認可保育所」の割合が54.9%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が19.6%、「幼稚園（預かり保育を併用）」の割合が13.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少し、「幼稚園（預かり保育を併用）」の割合が増加しています。

年齢別でみると、6か月未満、6か月～1歳未満、1歳で「認可保育所」の割合が高く、6割を超えています。また、3歳以上で「幼稚園」の割合が高くなっています。

母親の就労状況別でみると、就労していない人に比べ、就労している人で「認可保育所」の割合が高く、特にフルタイムで就労している人で約8割となっています。また、就労していない人で「幼稚園」の割合が高くなっています。



※主なその他意見

- ・一時保育（4件）

【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園 (預かり保育を併用)	認可保育所	認定こども園	小規模認可保育所	家庭的保育事業 (保育ママ)	事業所内保育所
全 体	1171	19.6	13.8	54.9	5.5	0.3	0.2	0.3
6か月未満	249	14.9	8.0	66.7	3.6	0.8	0.4	0.4
6か月～1歳未満	133	15.0	10.5	63.2	7.5	—	0.8	—
1歳	208	17.3	14.4	53.4	8.2	—	—	1.0
2歳	163	19.6	17.8	52.8	3.1	0.6	—	—
3歳	155	23.9	15.5	47.7	6.5	—	—	—
4歳	133	28.6	16.5	46.6	2.3	—	—	—
5歳	117	22.2	18.8	45.3	7.7	—	—	—

区分	認証保育所	認可外保育所	定期利用保育	ベビーシッター	すみだ子育て支援ネット「はぐ (HUG)」(墨田区訪問型保育 支援事業)	すみだファミリー・サポート・ センター	その他	無回答
全 体	1.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	2.6
6か月未満	0.8	0.8	—	0.4	0.4	—	0.8	2.0
6か月～1歳未満	0.8	—	—	0.8	—	—	—	1.5
1歳	2.4	—	0.5	—	0.5	0.5	0.5	1.4
2歳	1.2	0.6	0.6	0.6	—	—	—	3.1
3歳	1.3	0.6	—	—	—	0.6	—	3.9
4歳	1.5	—	—	0.8	—	0.8	—	3.0
5歳	—	0.9	—	—	—	1.7	—	3.4

※年齢無回答者数：13人

【母親の就労状況別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園 (預かり保育を併用)	認可保育所	認定こども園	小規模認可保育所	家庭的保育事業 (保育ママ)	事業所内保育所
全 体	1169	19.5	13.9	54.9	5.5	0.3	0.2	0.3
フルタイム (産休・育休・介護休業中ではない)	401	2.2	7.5	78.8	6.0	—	0.2	—
フルタイム(産休・育休・介護休業中)	228	4.4	6.6	79.4	4.4	—	—	0.4
パート・アルバイト 等 (産休・育休・介護休業中ではない)	127	11.8	20.5	51.2	6.3	0.8	—	0.8
パート・アルバイト 等 (産休・育休・介護休業中)	23	4.3	17.4	60.9	8.7	—	—	—
以前は働いていたが、現在は働いていない	369	50.1	22.8	16.0	5.4	0.5	0.3	0.3
これまで働いたことはない	13	46.2	15.4	23.1	—	—	—	—

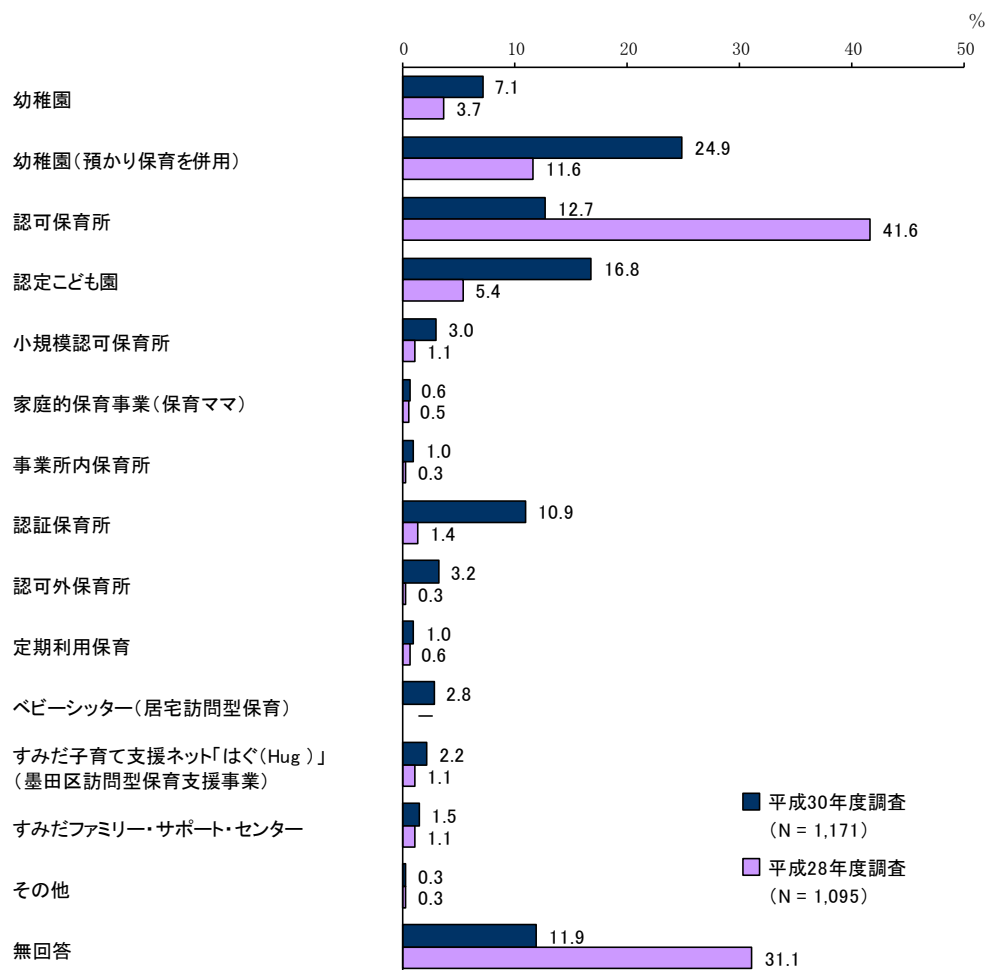
区分	認証保育所	認可外保育所	定期利用保育	ベビーシッター	すみだ子育て支援ネット「はぐ(めぐ)」 (墨田区訪問型保育 支援事業)	すみだファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体	1.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	2.6
フルタイム (産休・育休・介護休業中ではない)	1.5	0.7	0.2	0.5	—	—	—	2.2
フルタイム(産休・育休・介護休業中)	1.8	—	—	—	0.4	0.4	—	2.2
パート・アルバイト 等 (産休・育休・介護休業中ではない)	2.4	—	0.8	—	—	2.4	0.8	2.4
パート・アルバイト 等 (産休・育休・介護休業中)	4.3	—	—	—	—	—	—	4.3
以前は働いていたが、現在は働いていない	—	0.5	—	0.5	0.3	0.3	0.5	2.4
これまで働いたことはない	—	—	—	—	—	—	—	15.4

※母親の就労状況無回答者数：8人

(2) 第2希望

「幼稚園（預かり保育を併用）」の割合が24.9%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が16.8%、「認可保育所」の割合が12.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「幼稚園（預かり保育を併用）」「認定こども園」「認証保育所」の割合が増加し、「認可保育所」の割合が減少しています。



問 16 現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

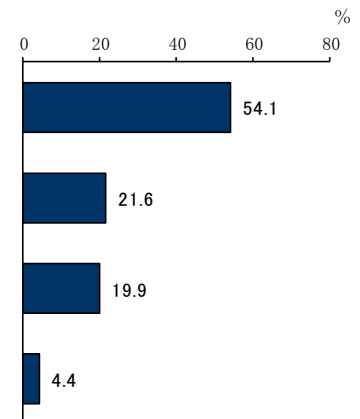
【対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。】

「育児休業制度が整っていれば、1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が54.1%と最も高く、次いで「一時預かりなど、不定期な教育・保育事業等を利用できれば、1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が21.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、教育・保育事業等を利用したい」の割合が19.9%となっています。

N = 1,171

育児休業制度が整っていれば、1年以上は在宅で子育てをしたい
一時預かりなど、不定期な教育・保育事業等を利用できれば、1年以上は在宅で子育てをしたい
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、教育・保育事業等を利用したい

無回答



母親の育休取得時の子どもの年齢別でみると、他と年齢と比べ、1歳未満で「育児休業制度が整っていれば、1年以上は在宅で子育てをしたい」、1歳から3歳未満で「一時預かりなど、不定期な教育・保育事業等を利用できれば、1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が高くなっています。

母親の育休取得から復帰のきっかけ別でみると、年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用するで「一時預かりなど、不定期な教育・保育事業等を利用できれば、1年以上は在宅で子育てをしたい」、祖父母等に預けるで「育児休業制度が整っていれば、1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が高くなっています。

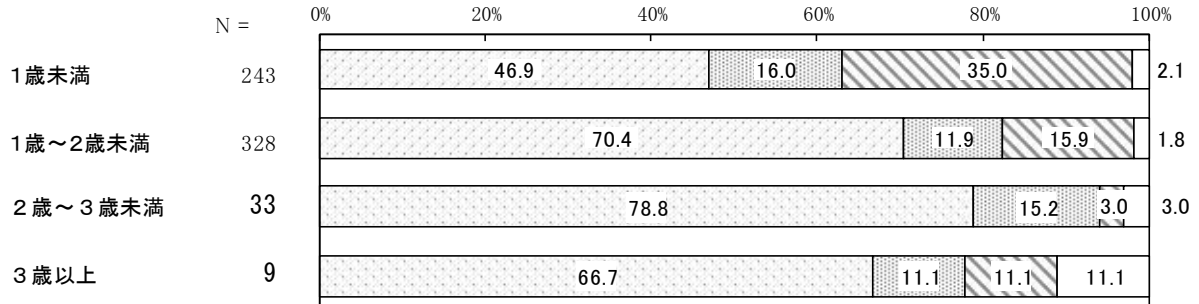
【母親の育休取得時の子どもの年齢別】

☐ 育児休業制度が整っていれば、1年以上は在宅で子育てをしたい

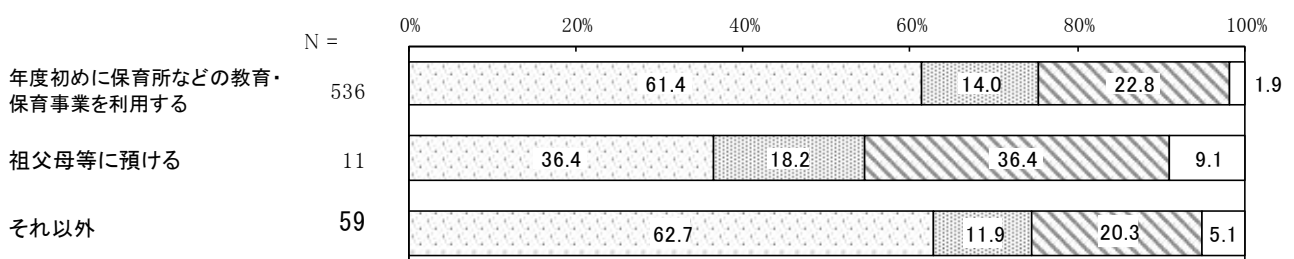
☐ 一時預かりなど、不定期な教育・保育事業等を利用できれば、1年以上は在宅で子育てをしたい

☐ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、教育・保育事業を利用したい

☐ 無回答



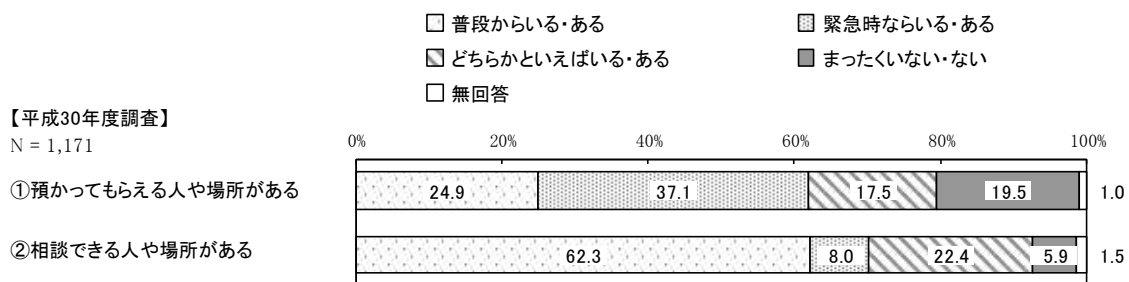
【母親の育休取得から復帰のきっかけ別】



問 17 日ごろ、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。また、相談できる親族や知人、専門機関等がありますか。(それぞれにあてはまるもの1つに○)

①預かってもらえる人や場所については、「緊急時ならいる・ある」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「普段からいる・ある」の割合が 24.9%、「まったくいない・ない」の割合が 19.5%となっています。

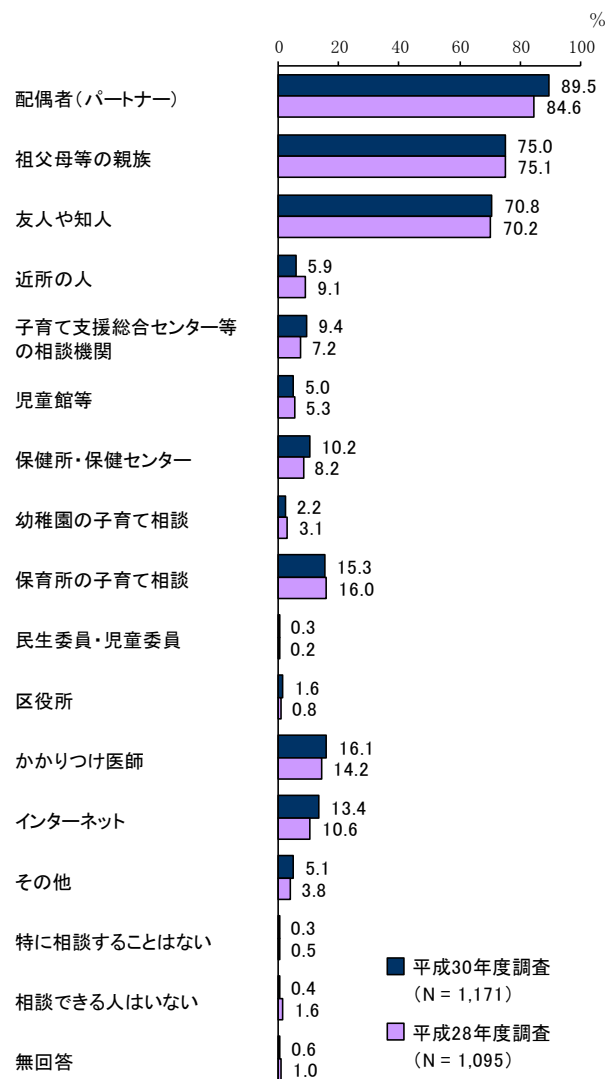
②相談できる人や場所については、「普段からいる・ある」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばいる・ある」の割合が 22.4%となっています。



問 18 宛名のお子さんの子育てや教育について、誰に(どのようなところに)相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者(パートナー)」の割合が 89.5%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 75.0%、「友人や知人」の割合が 70.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※主なその他意見

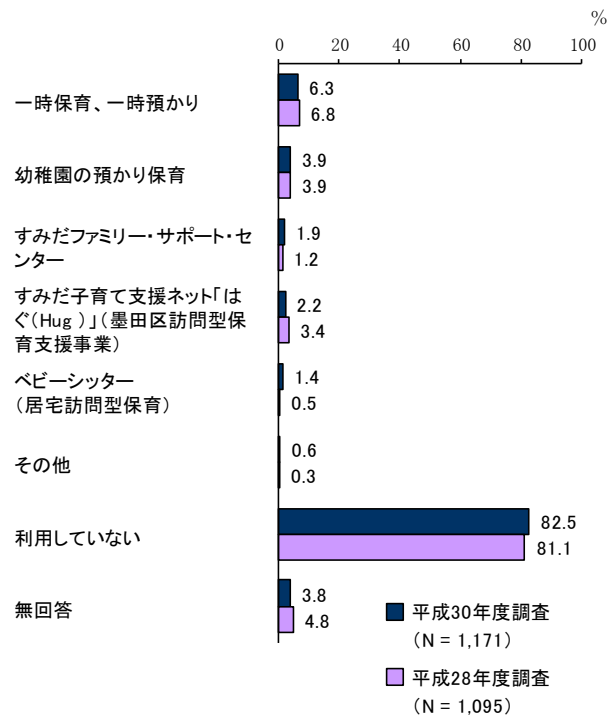
- ・ 保育所の先生 (25 件)
- ・ 職場の同僚、上司 (8 件)
- ・ 姉 (5 件)

問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育や病気のため以外に、私用、親の通院 不特定の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。
 (1) あてはまるものにすべてに○。利用している事業については(2)におおよその日数を記入。

(1) 利用している事業

「利用していない」の割合が 82.5%と最も高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※主なその他意見

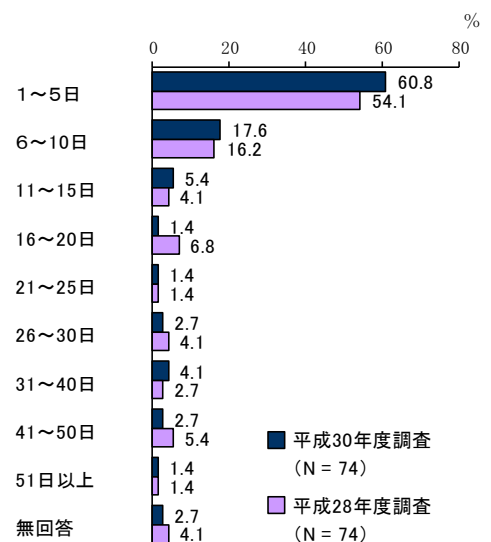
乳児園 (1 件) 認可外保育所 (1 件) 産後ヘルパー (1 件)
 祖母 (1 件) 児童館の乳幼児一時預かり。(1 件)
 トリフォニーホールの託児 (1 件) 友人 (1 件)

(2) 利用日数

①一時保育、一時預かり

「1～5 日」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「6～10 日」の割合が 17.6%となっています。

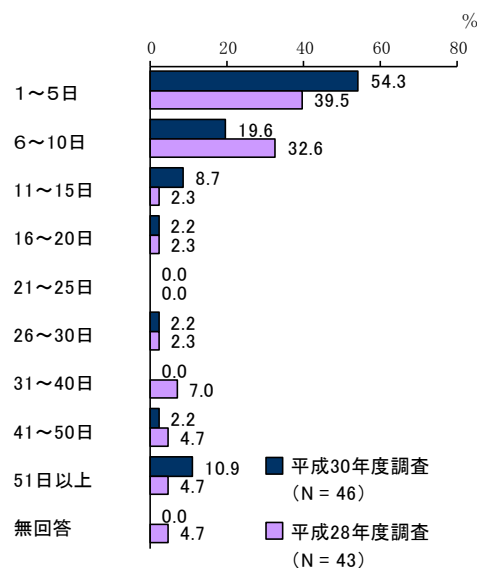
平成 28 年度調査と比較すると、「1～5 日」の割合が増加し、「16～20 日」の割合が減少しています。



②幼稚園の預かり保育

「1～5日」の割合が54.3%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が19.6%、「51日以上」の割合が10.9%となっています。

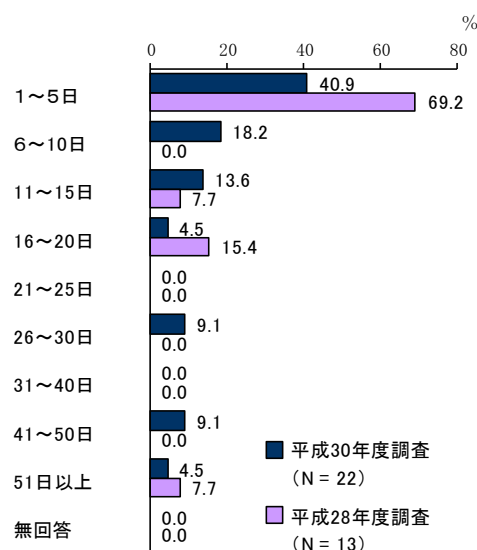
平成28年度調査と比較すると、「1～5日」「11～15日」「51日以上」の割合が増加し、「6～10日」「31～40日」の割合が減少しています。



③すみだファミリー・サポート・センター

「1～5日」の割合が40.9%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が18.2%、「11～15日」の割合が13.6%となっています。

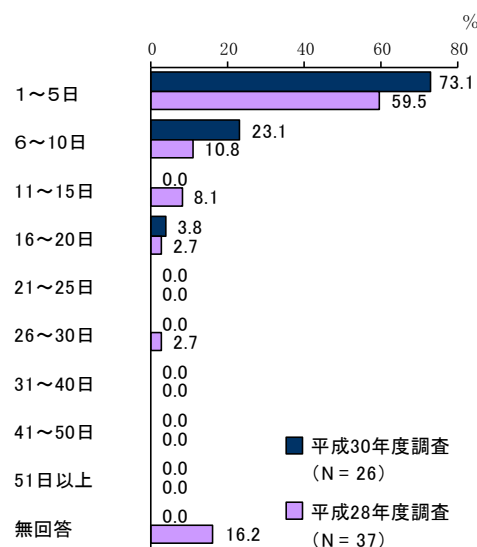
平成28年度調査と比較すると、「6～10日」「11～15日」「26～30日」「41～50日」の割合が増加し、「1～5日」「16～20日」の割合が減少しています。



④すみだ子育て支援ネット「はぐ (Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)

「1～5日」の割合が73.1%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が23.1%となっています。

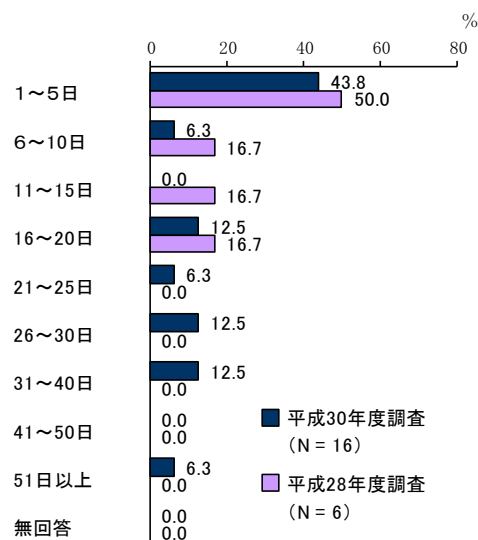
平成28年度調査と比較すると、「1～5日」「6～10日」の割合が増加し、「11～15日」の割合が減少しています。



⑤ベビーシッター（居宅訪問型保育）

「1～5日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「16～20日」、「26～30日」、「31～40日」の割合が12.5%となっています。

平成28年度調査との比較は、有効回答数が少ないため、参考とします。



⑥その他

「1～5日」が3件、「51日以上」が2件、「6～10日」、「31～40日」が1件となっています。

問20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で一時的預かりを利用する必要があると思いますか。

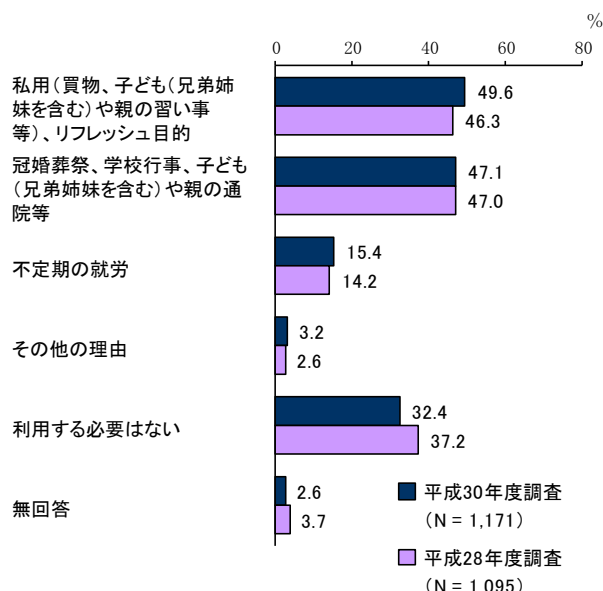
（1）あてはまるものすべてに○。利用したい方は（2）に必要な日数、（3）に望ましい事業形態を記入。）

（1）利用したい理由

（あてはまるものすべてに○）

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が49.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が47.1%、「利用する必要はない」の割合が32.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※主なその他意見

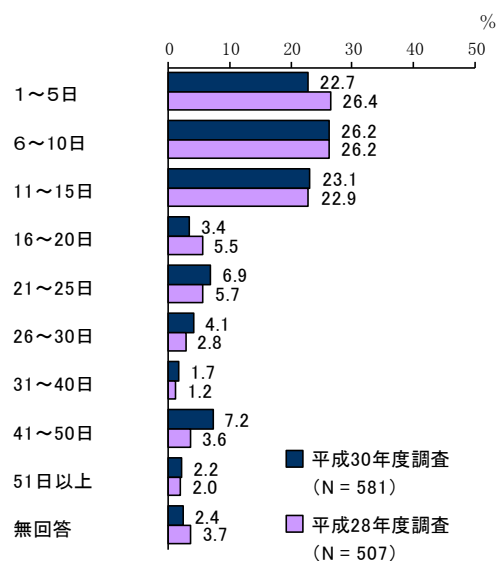
- ・親の通院、病気（10件）
- ・幼稚園の休日（2件）

（２）必要な日数

①私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的

「６～１０日」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「11～15日」の割合が 23.1%、「１～５日」の割合が 22.7%となっています。

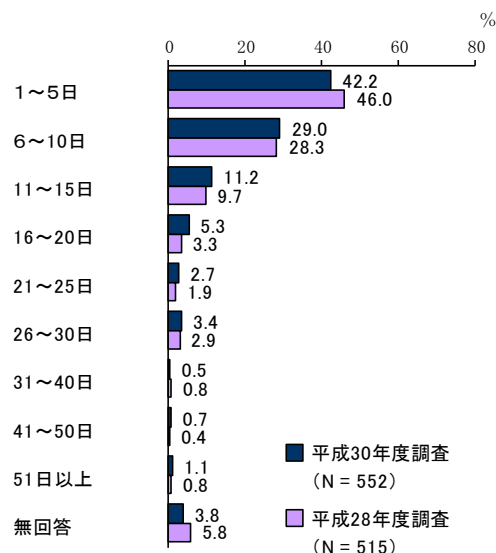
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「１～５日」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「６～10日」の割合が 29.0%、「11～15日」の割合が 11.2%となっています。

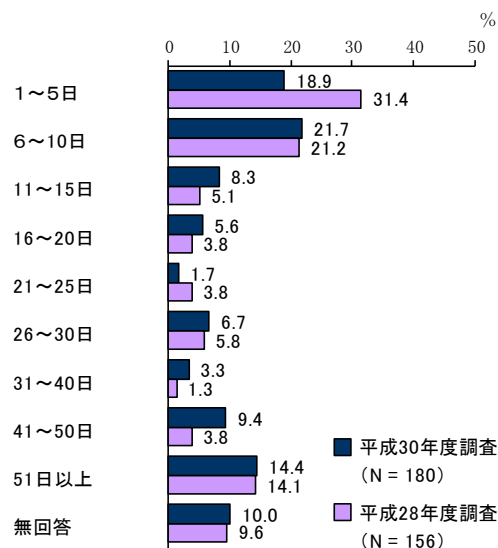
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③不定期の就労

「６～10日」の割合が 21.7%と最も高く、次いで「１～５日」の割合が 18.9%、「51 日以上」の割合が 14.4%となっています。

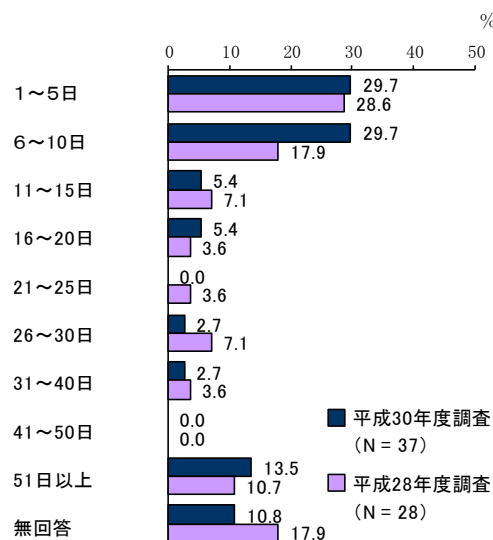
平成 28 年度調査と比較すると、「１～５日」の割合が減少し、「41～50 日」の割合が増加しています。



④その他の理由

「1～5日」、「6～10日」の割合が29.7%と最も高く、次いで、「51日以上」の割合が13.5%となっています。

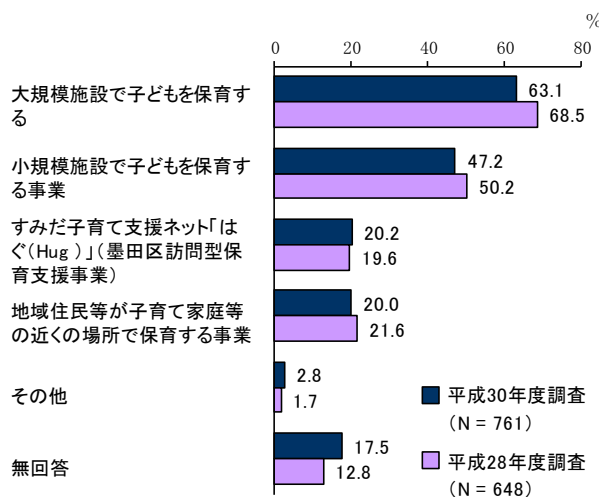
平成28年度調査と比較すると、「6～10日」の割合が増加しています。



(3) 利用する際の望ましい形態 (あてはまるものすべてに○)

「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が63.1%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が47.2%、「すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)」の割合が20.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



※主なその他意見

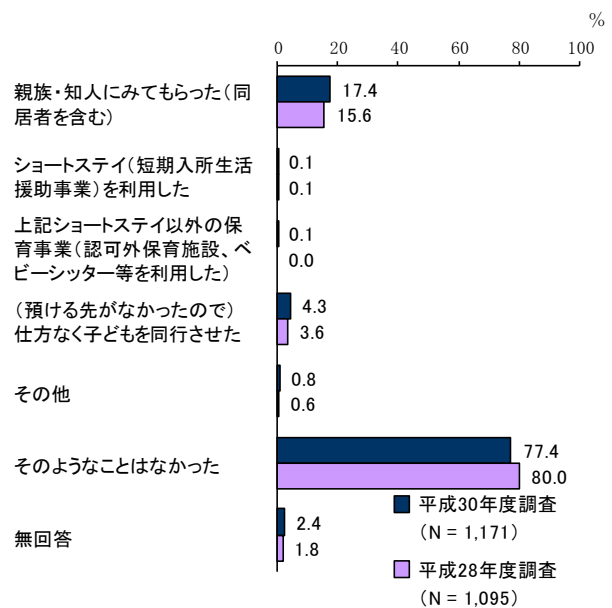
- ・ベビーシッター (7件)
- ・親族 (4件)
- ・一時保育 (2件)

問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）
 そのときの(1)対処法と(2)それぞれの泊数をお答えください。「1 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方は、(3)にもお答えください。（1つに○）

（1）対処法（あてはまるものすべてに○）

「そのようなことはなかった」の割合が77.4%と最も高く、次いで「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」の割合が17.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※主なその他意見

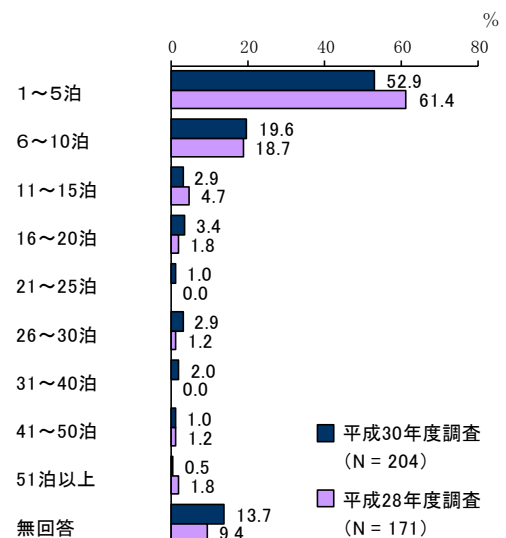
- ・ 預け先が見つからずあきらめた（3件）
- ・ 医療機関（1件）
- ・ 乳児園（1件）
- ・ 母の父親の葬儀（1件）

（2）泊数

①親族・知人にみてもらった（同居者を含む）

「1～5泊」の割合が52.9%と最も高く、次いで「6～10泊」の割合が19.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「1～5泊」の割合が減少しています。



②ショートステイ（短期入所生活援助事業）を利用した

有効回答はありません。

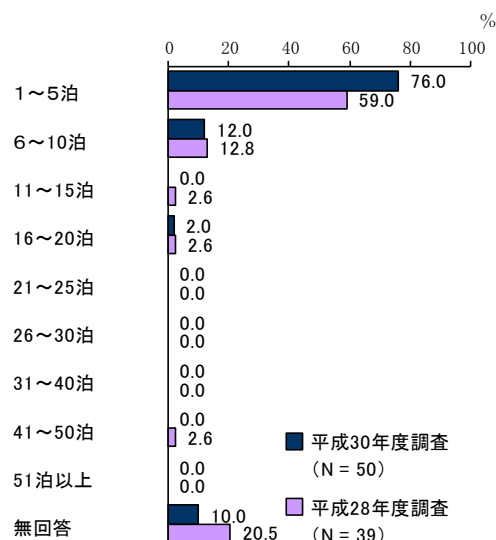
③上記ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した）

「1～5泊」が1件となっています。

④（預ける先がなかったので）仕方なく子どもを同行させた

「1～5泊」の割合が76.0%と最も高く、次いで「6～10泊」の割合が12.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「1～5泊」の割合が増加しています。



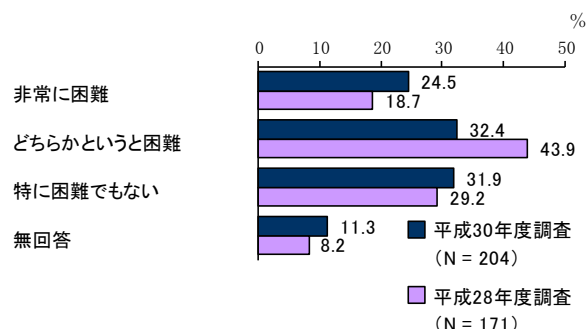
⑤その他

「1～5泊」が3件となっています。

（3）親族・知人にみてもらった時の困難度

「どちらかという困難」の割合が32.4%と最も高く、次いで「特に困難でもない」の割合が31.9%、「非常に困難」の割合が24.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「非常に困難」の割合が増加し、「どちらかという困難」の割合が現象しています。



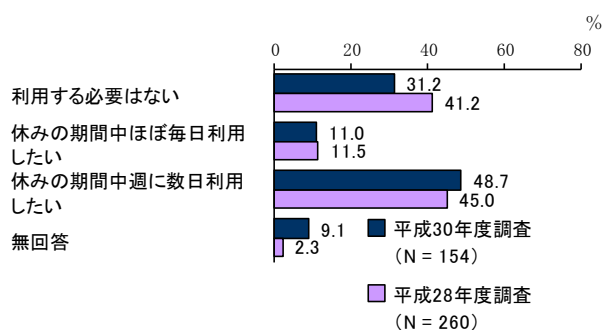
幼稚園を利用されている方にうかがいます。

問22 宛名のお子さんが、長期休暇中（夏休みなど）のときに、教育・保育事業等の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。

（1）利用希望

「休みの期間中週に数日利用したい」の割合が48.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が31.2%、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」の割合が11.0%となっています。

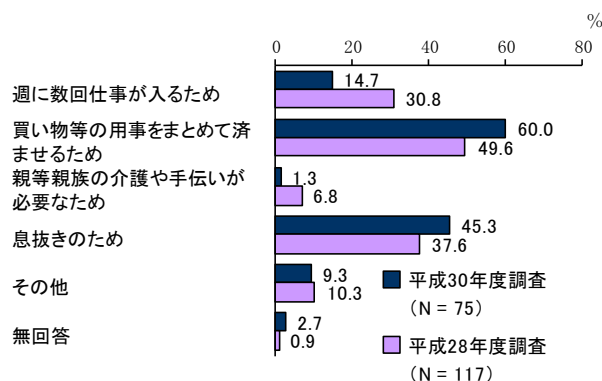
平成28年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。



（２）週に数日利用したい（毎日ではなく、たまに利用したい）理由

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 45.3%、「週に数回仕事が入るため」の割合が 14.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「週に数回仕事が入るため」「親等親族の介護や手伝いが必要なため」の割合が減少し、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」の割合が増加しています。



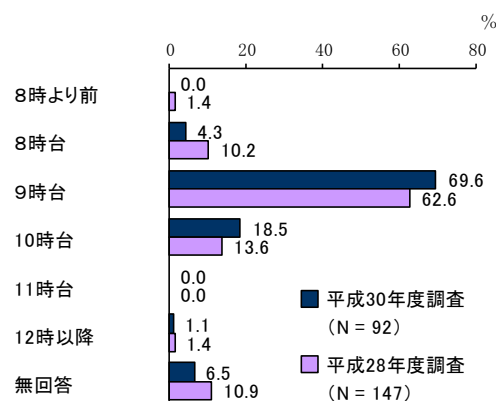
※主なその他意見

- ・通院（２件）
- ・就労したいため（２件）

（３）希望利用開始時間

「９時台」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「10 時台」の割合が 18.5%となっています。

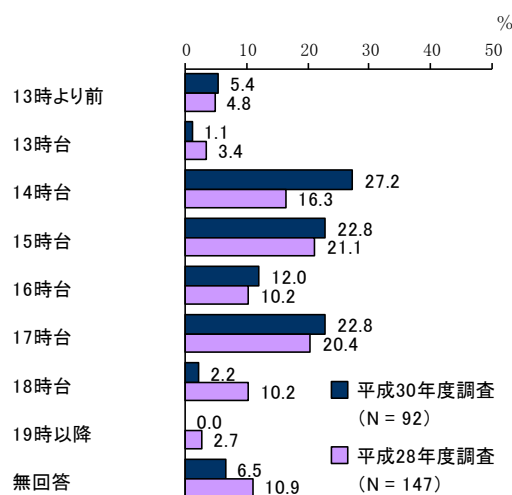
平成 28 年度調査と比較すると、「8 時台」の割合が減少し、「9 時台」の割合が増加しています。



（４）希望利用終了時間

「14 時台」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「15 時台」、「17 時台」の割合が 22.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「14 時台」の割合が増加し、「18 時台」の割合が減少しています。



問 23 “土曜”と“日曜・祝日”の定期的な教育・保育事業等の利用希望について、利用したい回数と時間帯、特に利用したい事業をお答えください。（一時的な利用は除きます。また、現在の利用や実際に利用可能な時間帯などに関係なく、お答えください。）

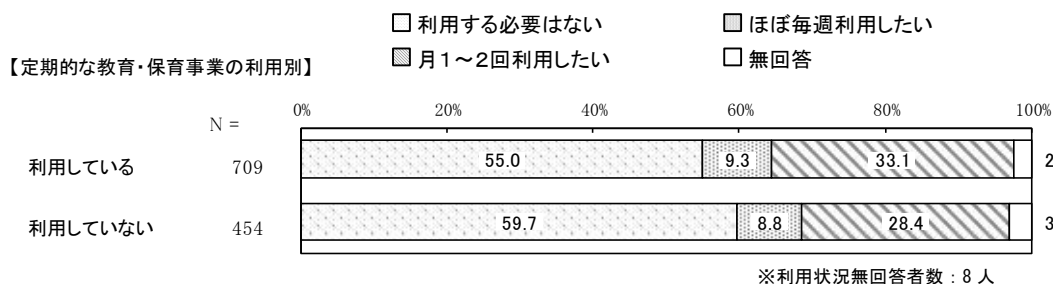
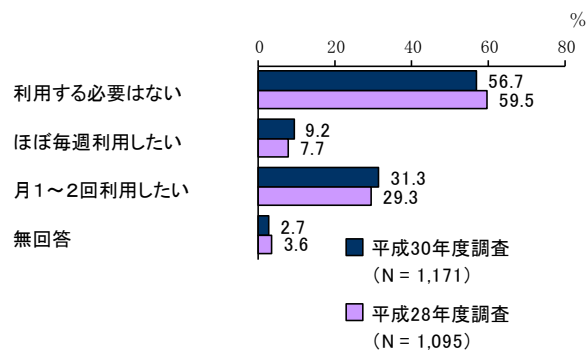
（１）利用希望

①土曜日

「利用する必要はない」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「月１～２回利用したい」の割合が 31.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

定期的な教育・保育事業の利用別でみると、利用しているで利用していないに比べ「月１～２回利用したい」の割合が高くなっています。

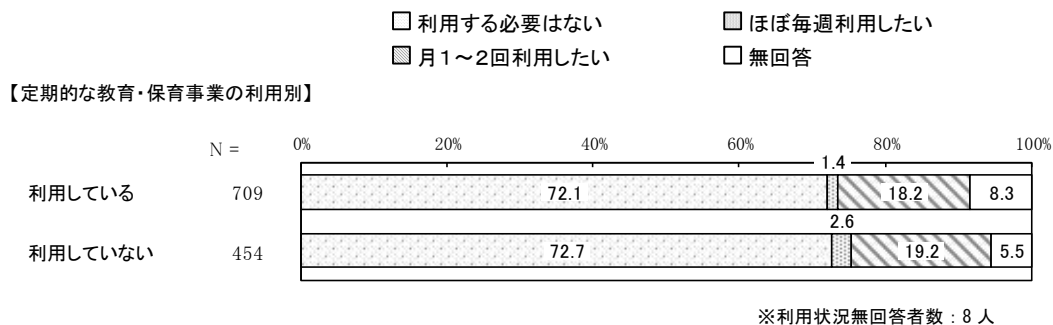
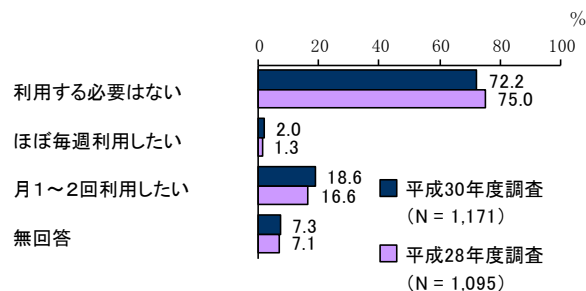


②日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「月１～２回利用したい」の割合が 18.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

定期的な教育・保育事業の利用別でみると、大きな差異はみられません。

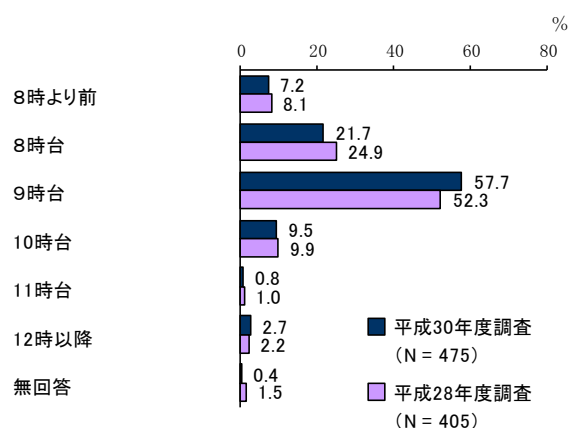


（２）希望利用時間

①土曜日開始時間

「9時台」の割合が57.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.7%となっています。

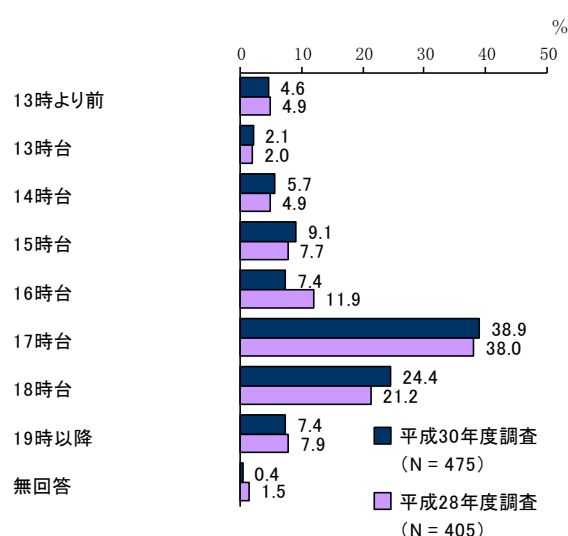
平成28年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。



②土曜日終了時間

「17時台」の割合が38.9%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.4%となっています。

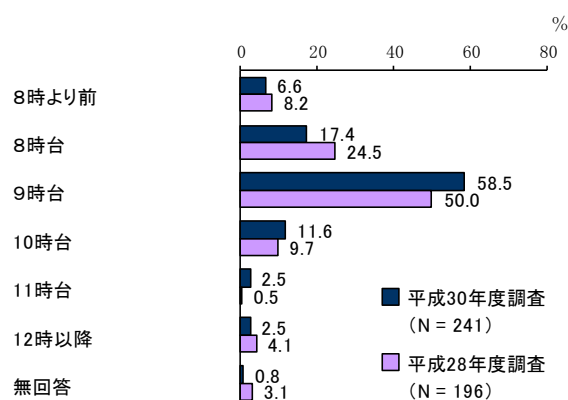
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③日曜・祝日開始時間

「9時台」の割合が58.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が17.4%、「10時台」の割合が11.6%となっています。

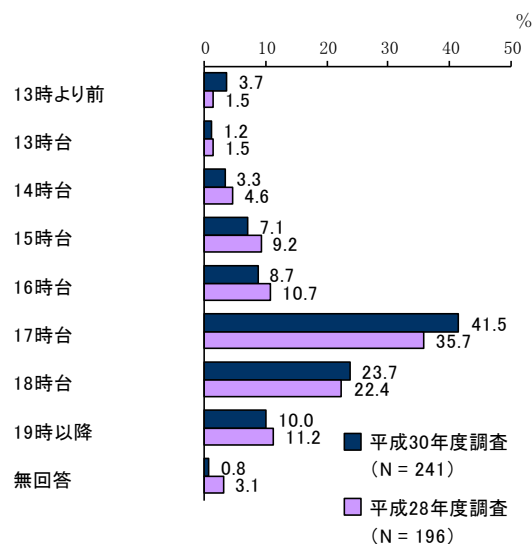
平成28年度調査と比較すると、「8時台」の割合が減少し、「9時台」の割合が増加しています。



④日曜・祝日終了時間

「17 時台」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 23.7%、「19 時以降」の割合が 10.0%となっています。

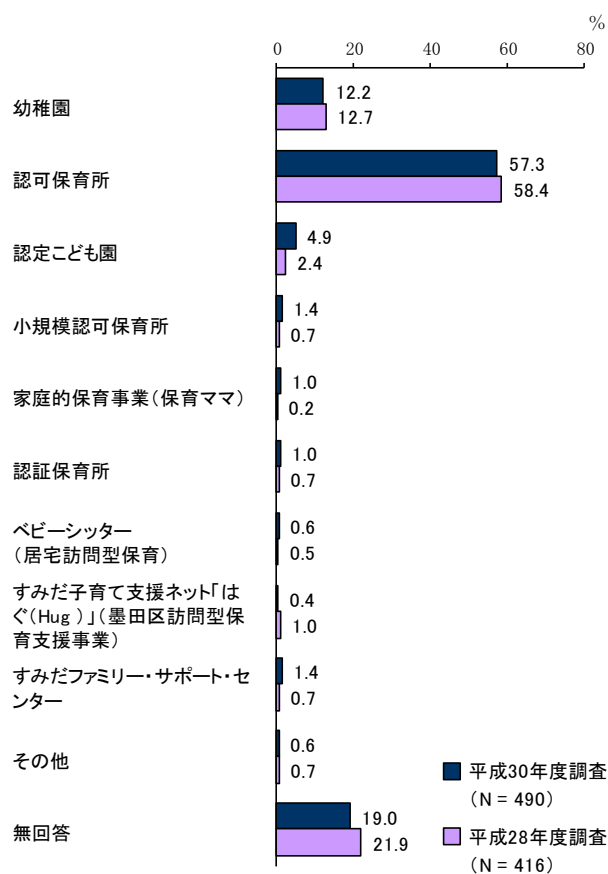
平成 28 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。



(3) 特に利用したい事業

「認可保育所」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 12.2%となっています。

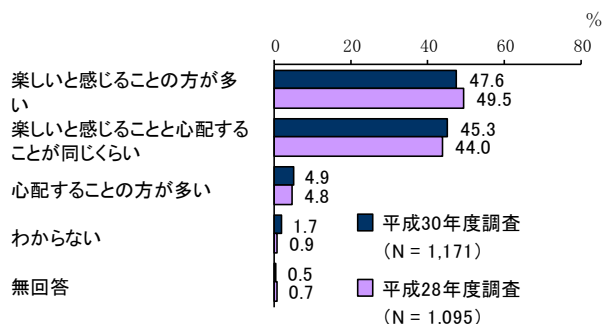
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24 子育てをどのように感じていますか（1つに○）。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が47.6%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」の割合が45.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



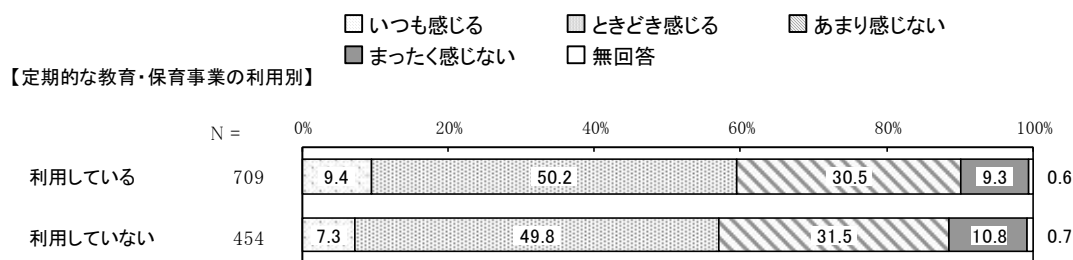
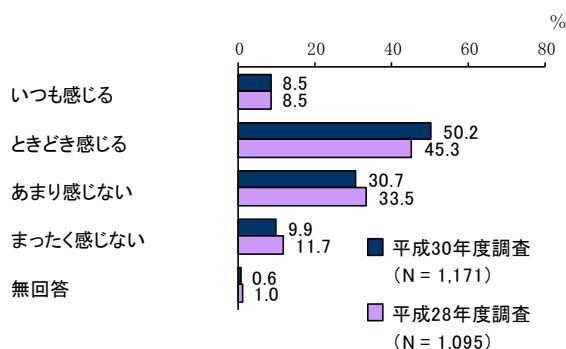
問 25 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか。
(①と②のそれぞれについて、1～4の1つに○)

①子育てに自信が持てないと感じることがある

「いつも感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じることもある”の割合が58.7%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じることはない”の割合が40.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

定期的な教育・保育事業の利用別でみると、大きな差異はみられません。



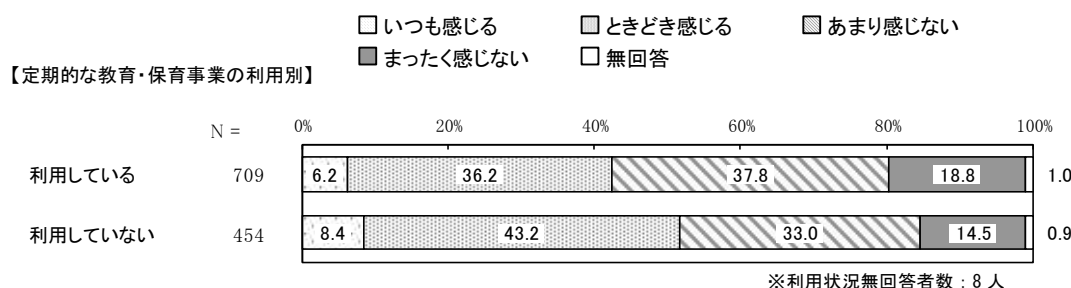
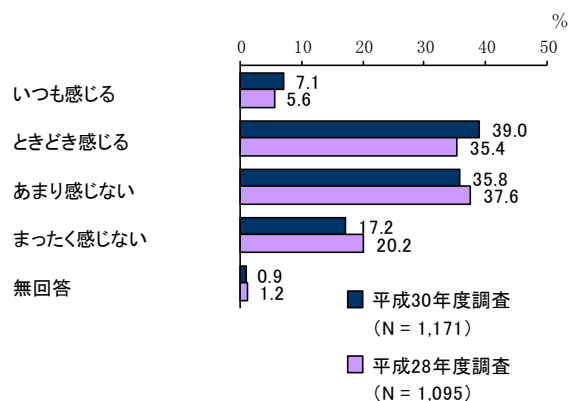
※利用状況無回答者数：8人

②子育てに不安や孤独を感じることがある

“感じることもある”の割合が46.1%、“感じることはない”の割合が53.0%となっています。

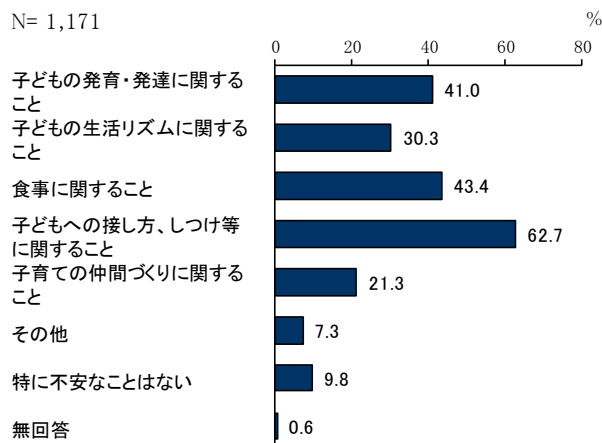
平成28年度調査と比較すると、“感じることもある”の割合が増加しています。

定期的な教育・保育事業の利用別でみると、利用しているに比べ、利用していないで“感じることもある”の割合が高く、約5割となっています。



問 26 日ごろ感じる不安なことについて、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「子どもへの接し方、しつけ等に関すること」の割合が62.7%と最も高く、次いで「食事に関すること」の割合が43.4%、「子どもの発達に関すること」の割合が41.0%となっています。

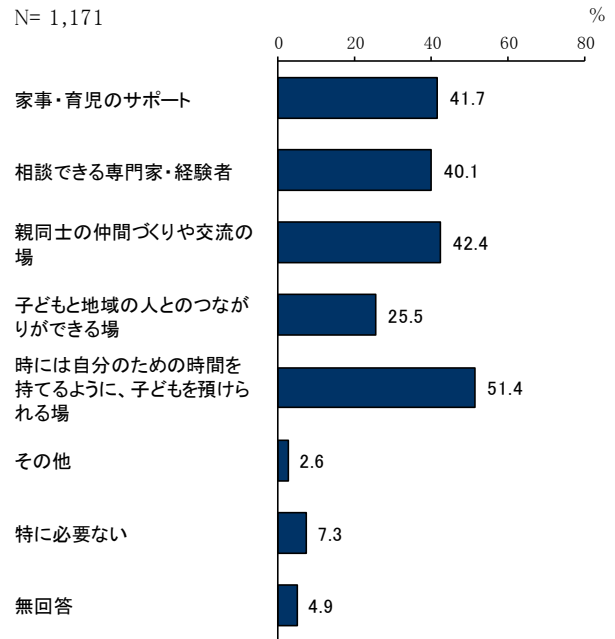


※主なその他意見

- ・子どもの病気、ケガ（10件）
- ・経済的な不安（5件）
- ・子どもの教育面（4件）

問 27 不安感や孤立感を和らげるためにどんなことが必要ですか。(あてはまるもの3つに○)

「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「親同士の仲間づくりや交流の場」の割合が 42.4%、「家事・育児のサポート」の割合が 41.7%となっています。

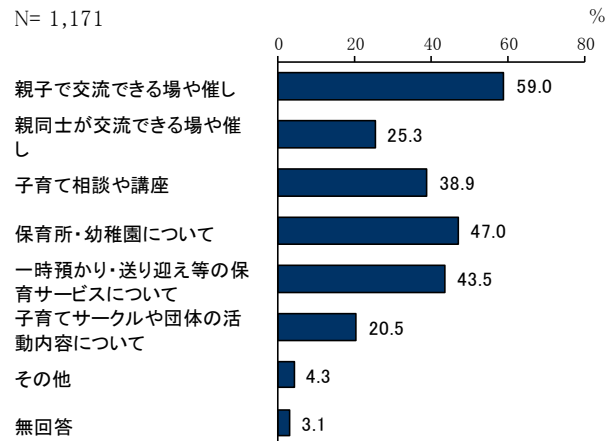


※主なその他意見

- ・父親の育児参加 (10 件)
- ・経済的なゆとり (3 件)
- ・自分一人の時間 (2 件)

問 28 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「親子で交流できる場や催し」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園について」の割合が 47.0%、「一時預かり・送り迎え等の保育サービスについて」の割合が 43.5%となっています。



※主なその他意見

- ・習い事 (7 件)
- ・学童保育 (4 件)
- ・子ども連れで入れる飲食店 (4 件)

問 29 宛名のお子さんは、地域子育て支援拠点を利用していますか。

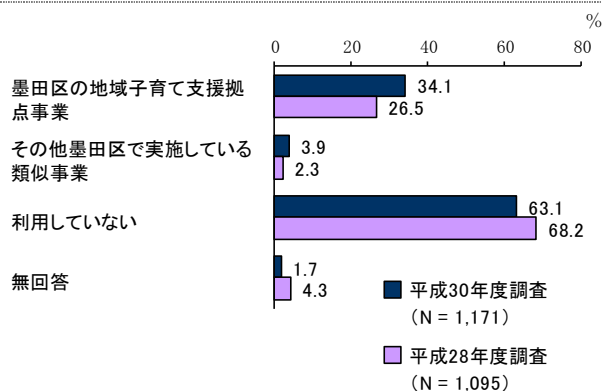
(1)にあてはまるものすべてに○)

利用している方は、(2)におおよその利用回数、(4)に満足度、(5)に今後の利用希望、利用回数を増やしたい方は(6)に回数をお答えください。利用していない方は、(3)に今後の利用希望(1つに○)、(6)に利用希望回数をお答えください。

(1) 利用状況

「利用していない」の割合が63.1%と最も高く、次いで「墨田区の地域子育て支援拠点事業」の割合が34.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少し、「墨田区の地域子育て支援拠点事業」の割合が増加しています。



【相談相手の有無別】

相談相手の有無別でみると、相談相手がいなくて「利用していない」の割合が高く、約7割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	墨田区の地域子育て支援拠点事業	その他墨田区で実施している類似事業	利用していない	無回答
相談相手がいる	1085	34.7	3.5	62.8	1.6
相談相手がいらない	69	24.6	11.6	71.0	1.4

※相談相手の有無無回答数：17人

※“相談相手がいる”人は、問17②で「普段からいる・ある」「どちらかといえばいる・ある」「緊急時ならいる・ある」と回答した人

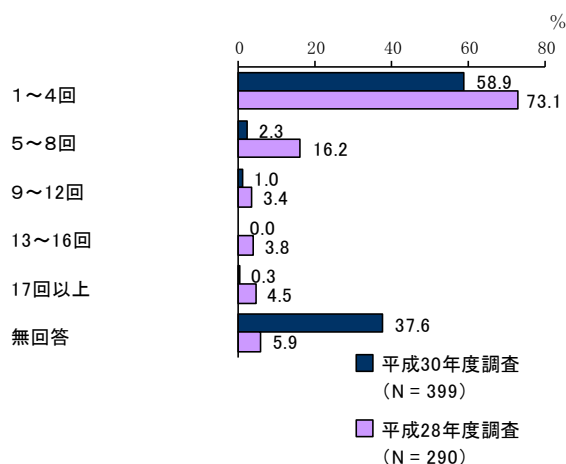
“相談相手がいらない”人は、問17②で「まったくいない・ない」と回答した人

(2) 利用回数

① 墨田区の地域子育て支援拠点事業

「1回」の割合が58.9%と最も高くなっています。

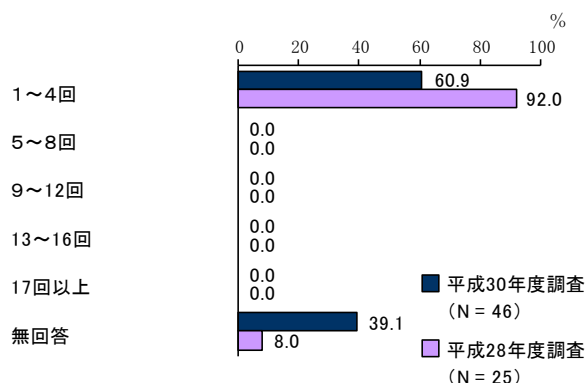
平成28年度調査と比較すると、「1～4回」「5～8回」の割合が減少しています。



②その他墨田区で実施している類似事業

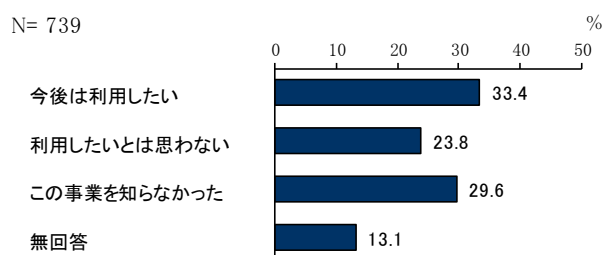
「1～4回」の割合が60.9%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、「1～4回」の割合が減少しています。



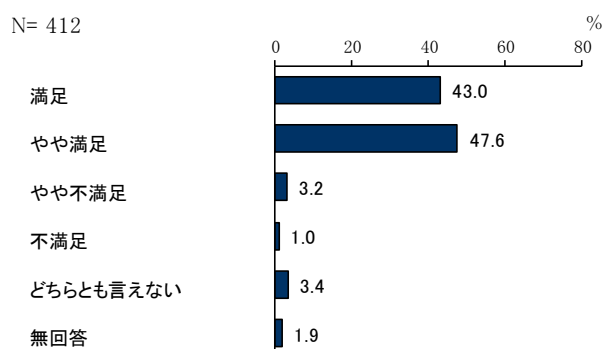
(3) 利用していない方の今後の希望

「今後は利用したい」の割合が33.4%と最も高く、次いで「この事業を知らなかった」の割合が29.6%、「利用したいとは思わない」の割合が23.8%となっています。



(4) 利用している方の満足度

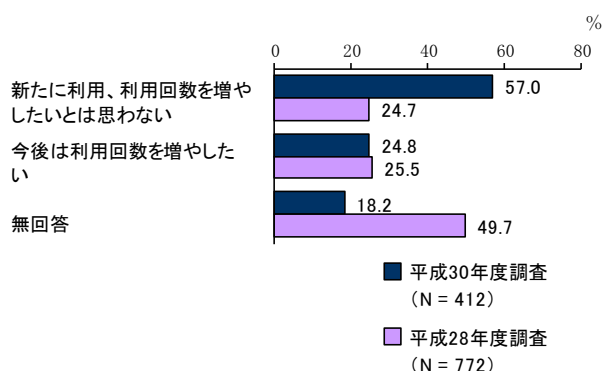
「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が90.6%、「どちらとも言えない」の割合が3.2%、「やや不満足」と「不満足」をあわせた“不満足”の割合が4.2%となっています。



(5) 今後の利用希望

「新たに利用、利用回数を増やしたいとは思わない」の割合が57.0%、「今後は利用回数を増やしたい」の割合が24.8%となっています。

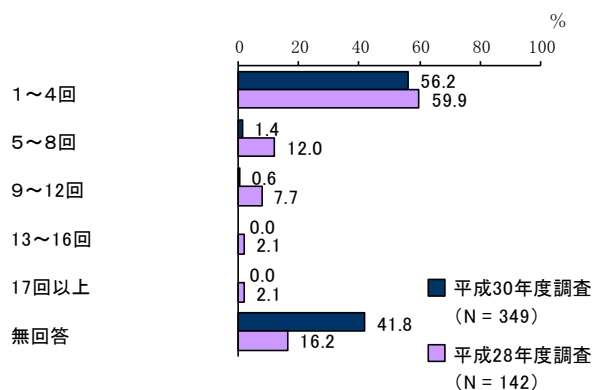
平成28年度調査と比較すると、「新たに利用、利用回数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。



(5) 利用希望回数

「1～4回」の割合が56.2%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、「5～8回」「9～12回」の割合が減少しています。



問 30 墨田区で行っている次の子育て支援事業等について、(1)認知度、(2)利用状況、利用したことがある方は、(3)満足度にお答えください。

(1) 認知度

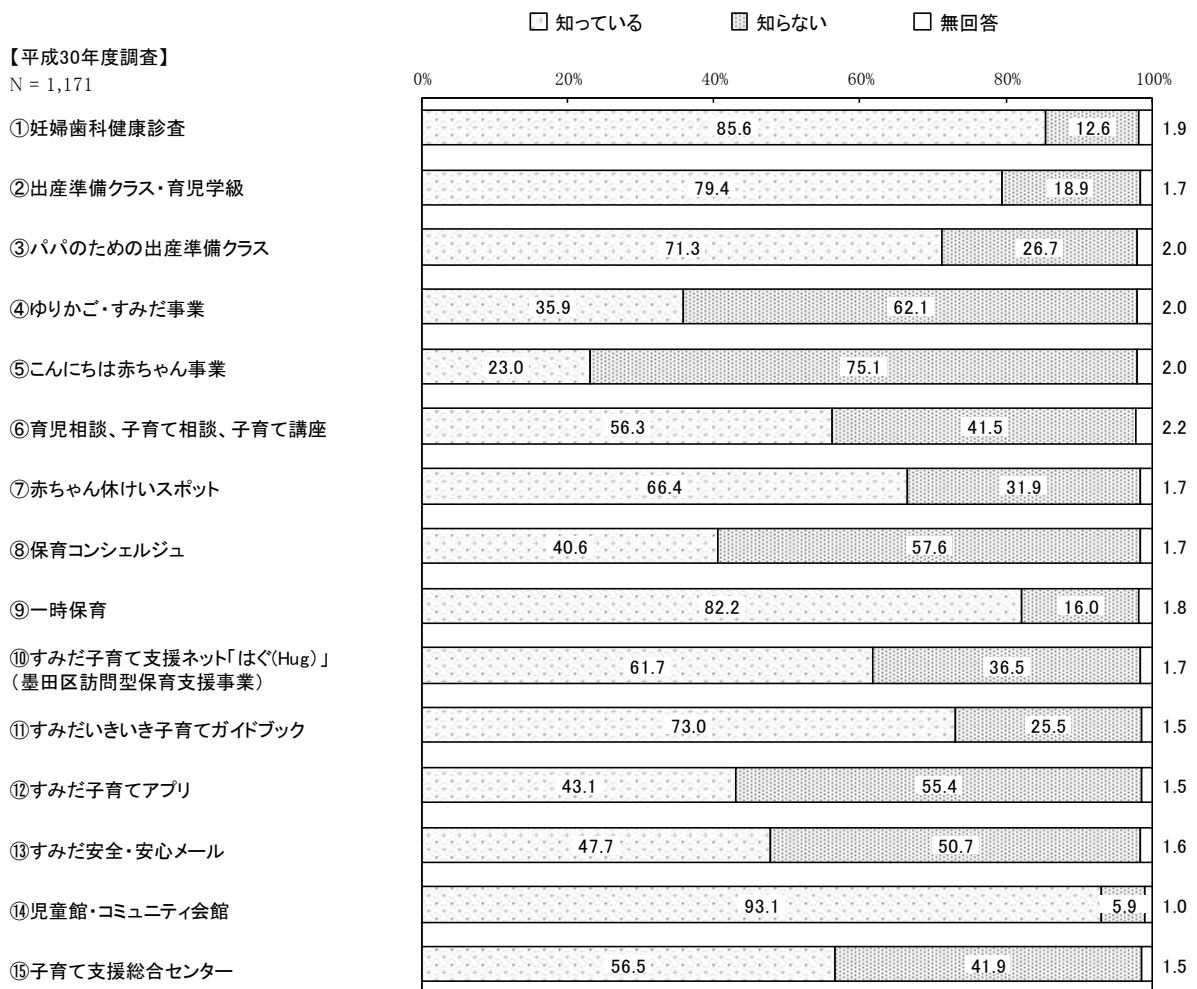
⑭児童館・コミュニティ会館で「知っている」の割合が高く、約9割となっています。

一方、⑤こんにちは赤ちゃん事業で「知らない」の割合が高く、7割台半ばとなっています。

平成28年度調査と比較すると、⑫すみだ子育てアプリで「知っている」の割合が増加しています。また、⑥育児相談、子育て相談、子育て講座で「知らない」の割合が大幅に増加しています。

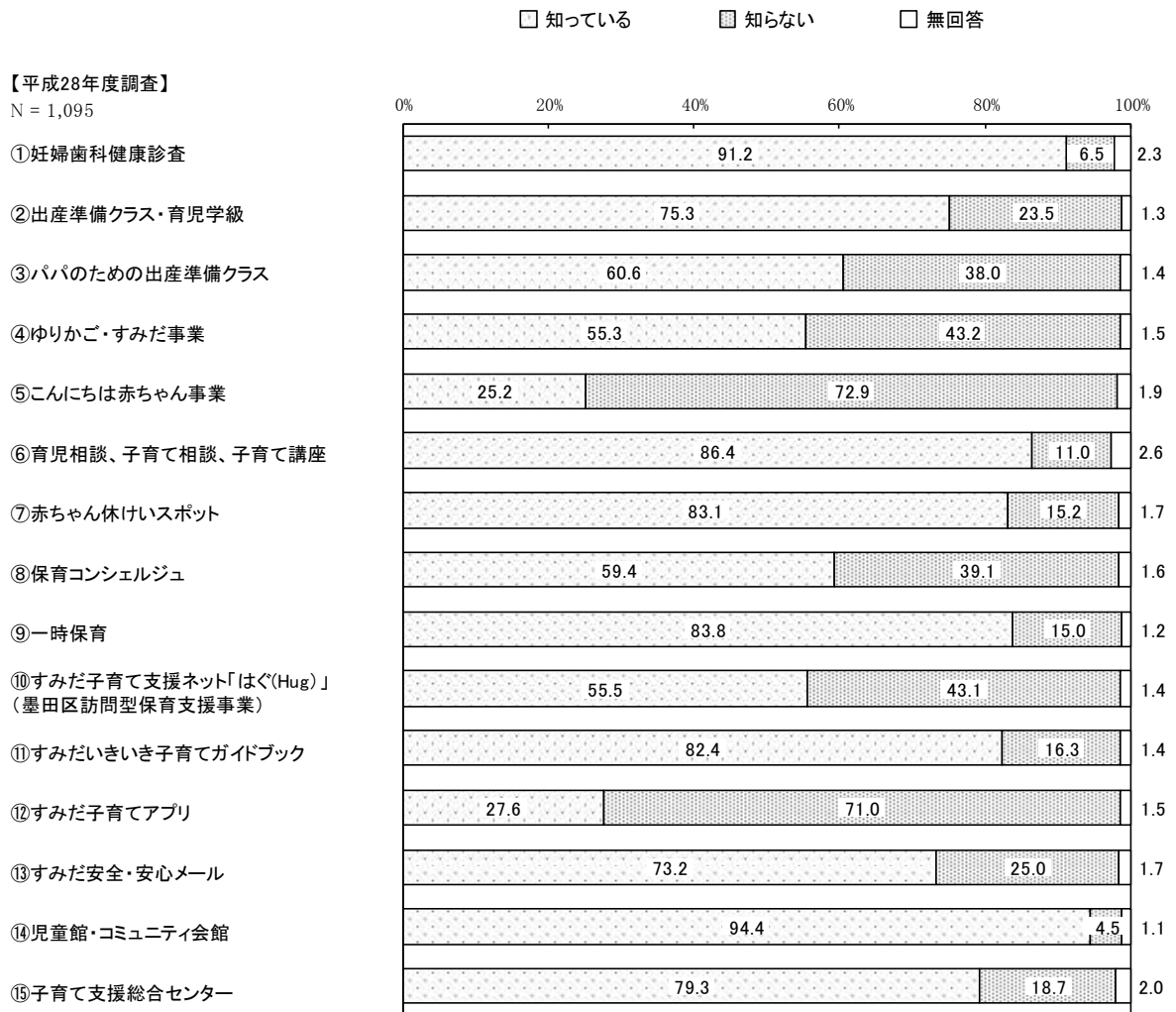
【平成30年度調査】

N = 1,171



【平成28年度調査】

N = 1,095

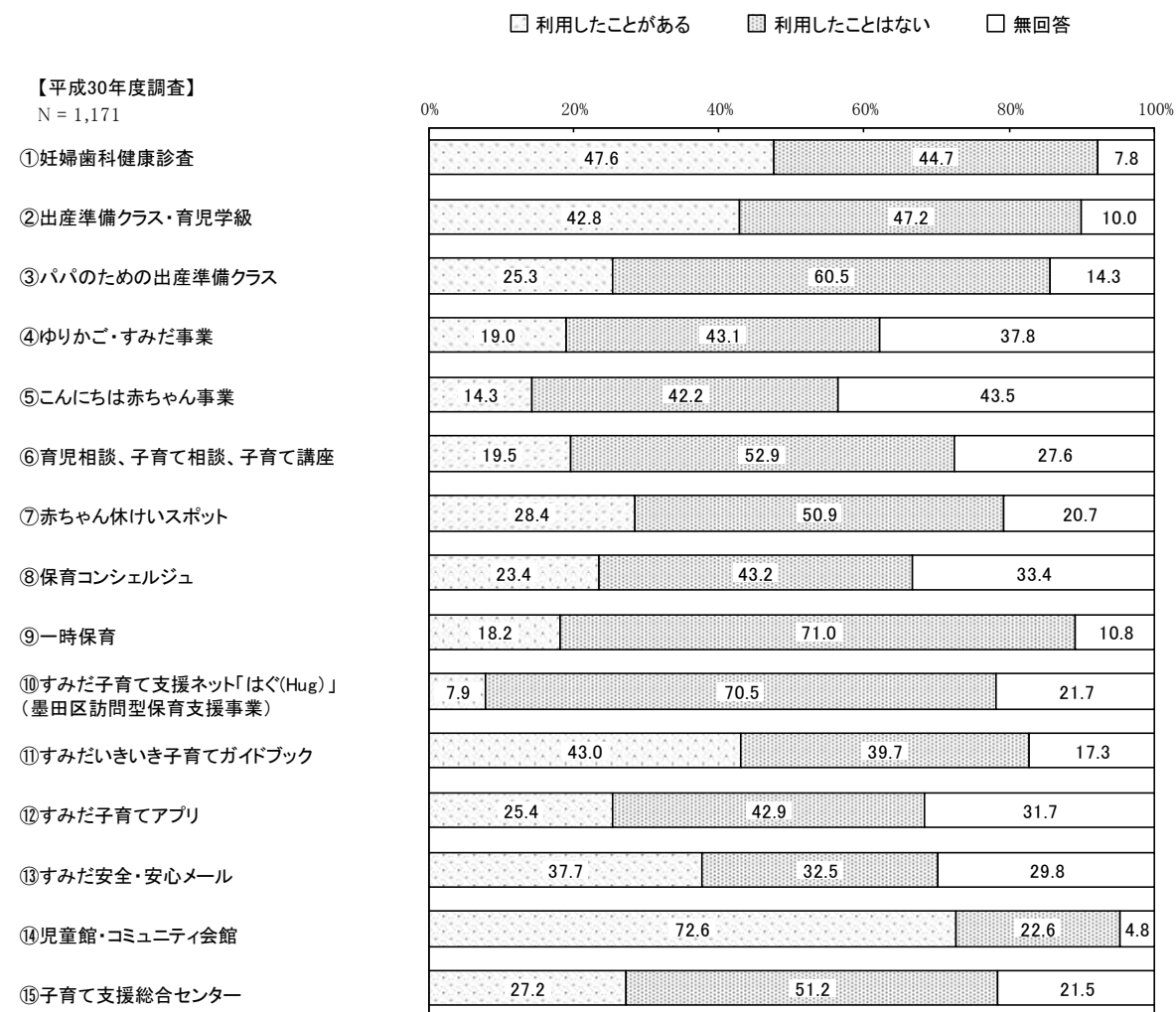


(2) 利用状況

⑭児童館・コミュニティ会館で「利用したことがある」の割合が高く、約7割となっています。

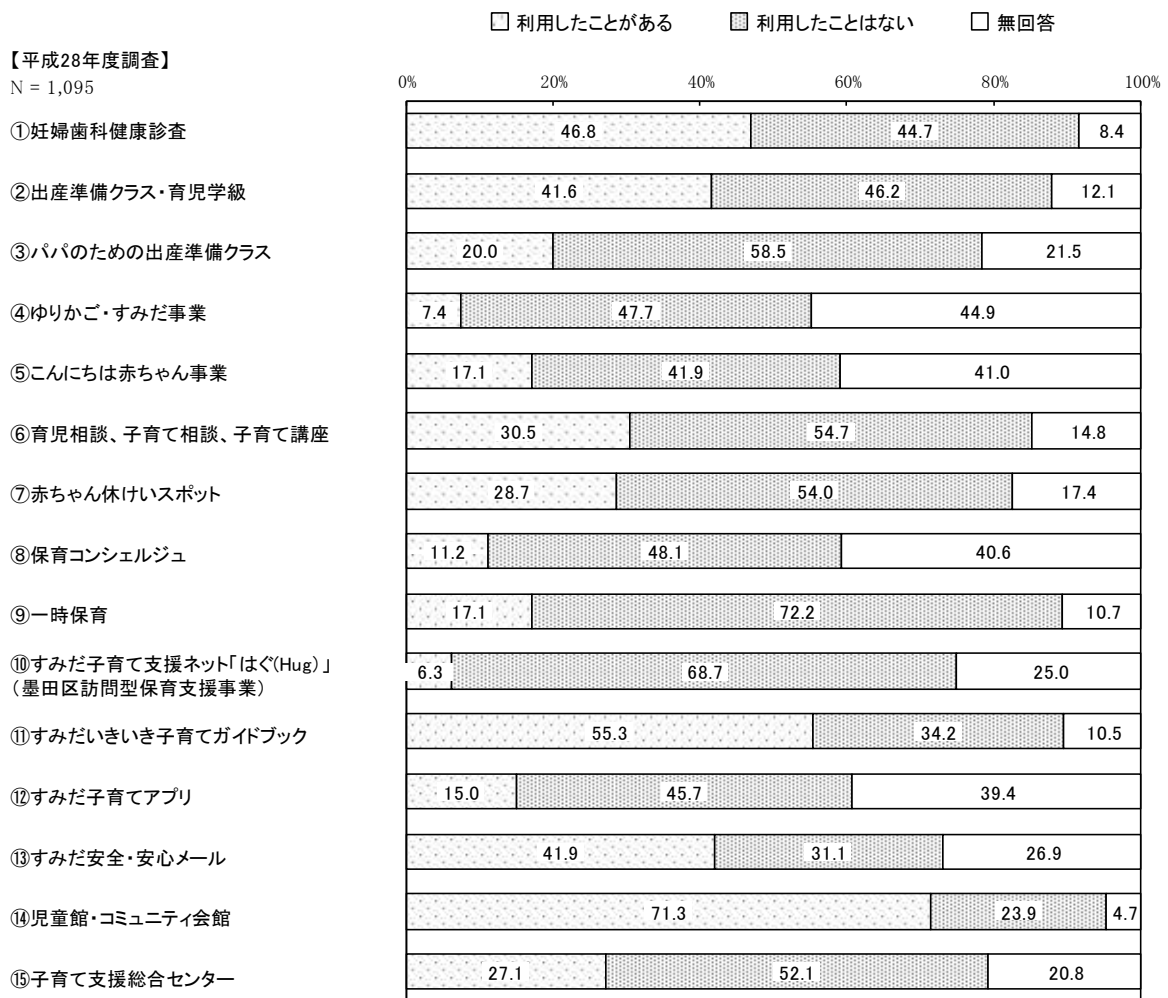
一方、⑨一時保育、⑩すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)で「利用したことはない」の割合が高く、約7割となっています。

平成28年度調査と比較すると、④ゆりかご・すみだ事業、⑧保育コンシェルジュ、⑫すみだ子育てアプリで「利用したことがある」の割合が増加しています。また、⑥育児相談、子育て相談、子育て講座、⑪すみだいきいき子育てガイドブックで「利用したことがある」の割合が減少しています。



【平成28年度調査】

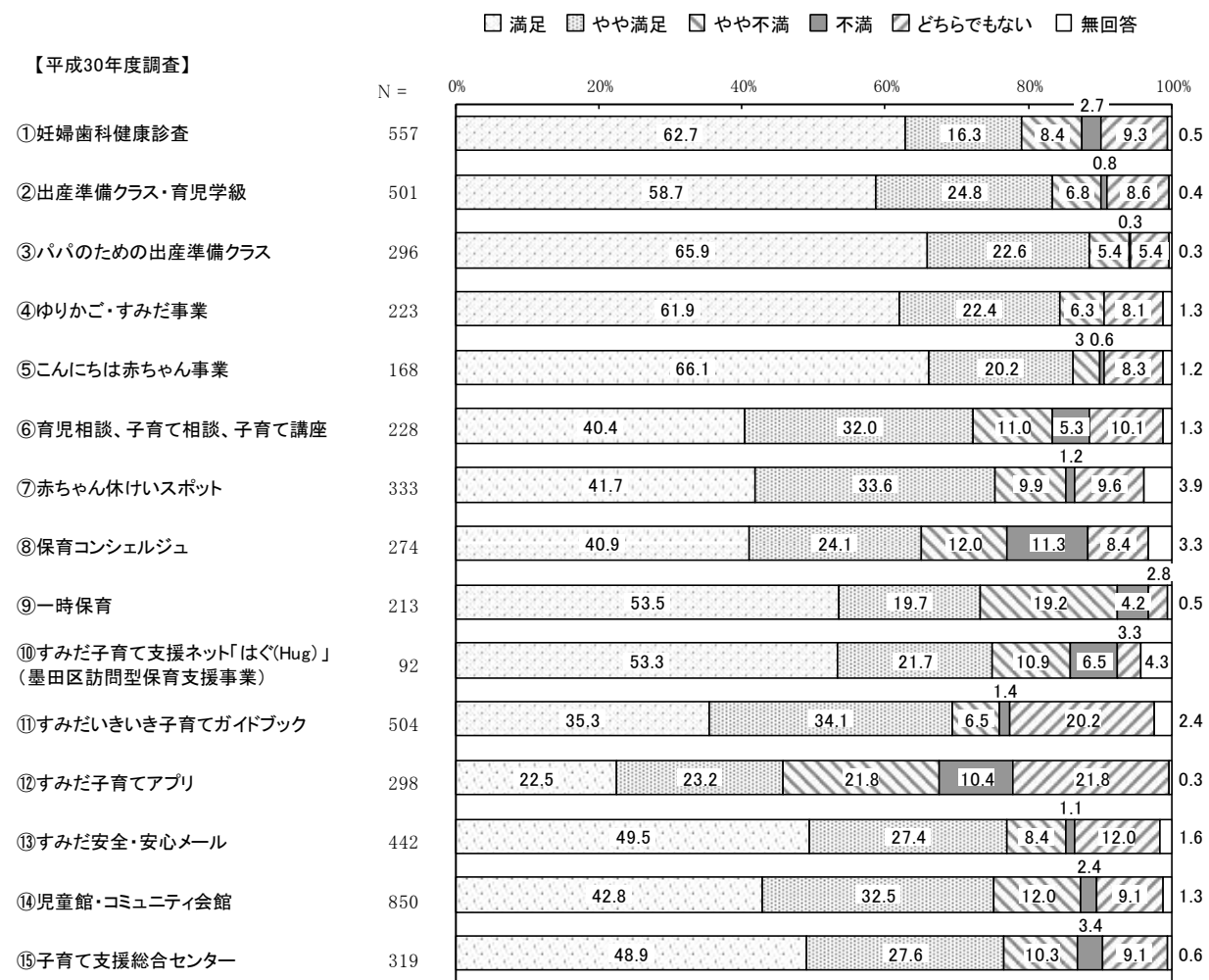
N = 1,095



(3) 満足度

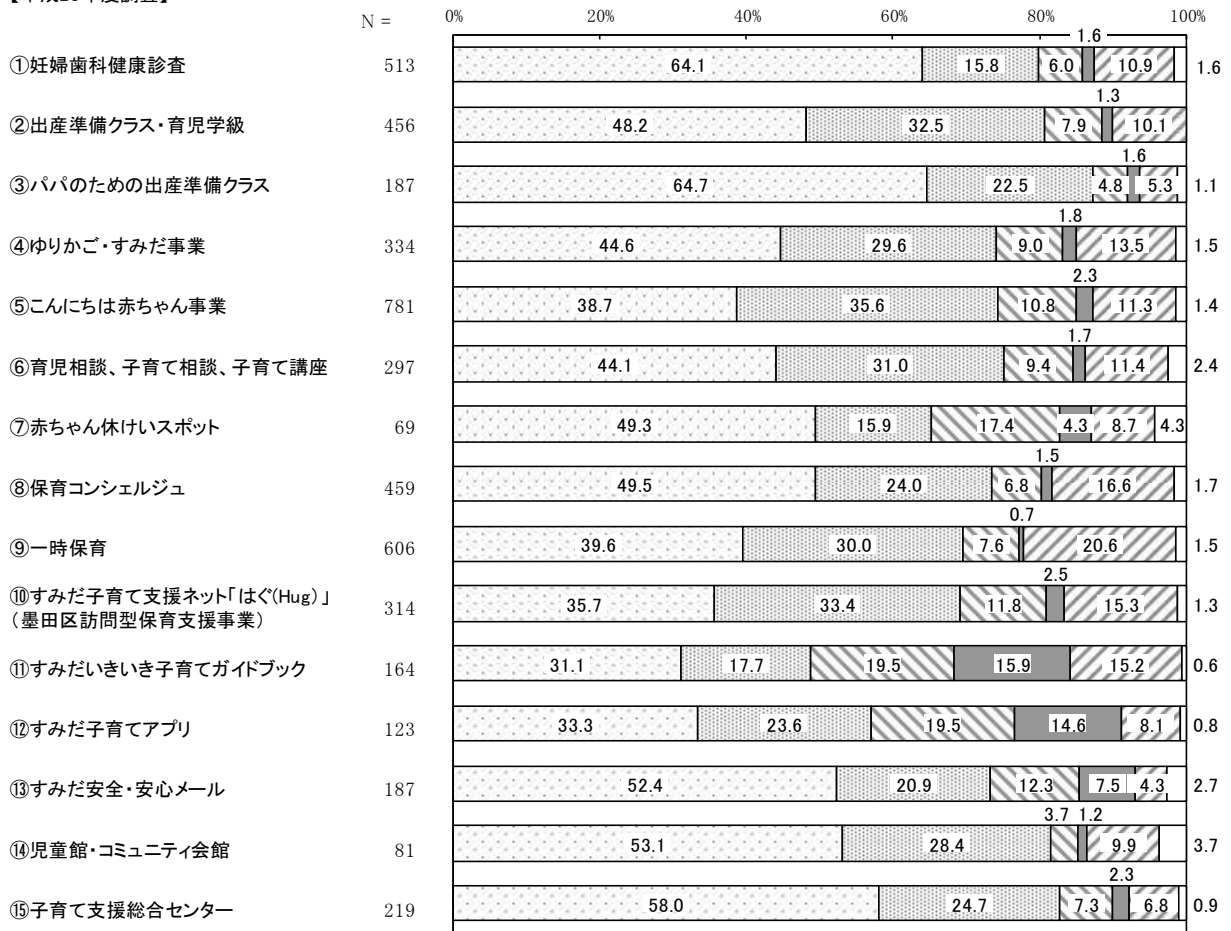
②出産準備クラス・育児学級、③パパのための出産準備クラス、④ゆりかご・すみだ事業、④ゆりかご・すみだ事業で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、8割を超えています。

平成28年度調査と比較すると、③パパのための出産準備クラス、⑦赤ちゃん休けいスポット、⑧保育コンシェルジュ、⑩すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)で満足が高くなっています。



□ 満足 □ やや満足 □ やや不満 □ 不満 □ どちらでもない □ 無回答

【平成28年度調査】

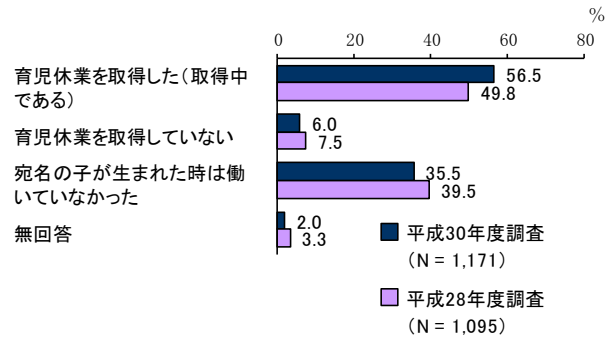


問 31 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のどちらかまたは双方が育児休業を取得しましたか。

(1) 母親

「育児休業を取得した（取得中である）」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「宛名の子が生まれた時は働いていなかった」の割合が 35.5%となっています。

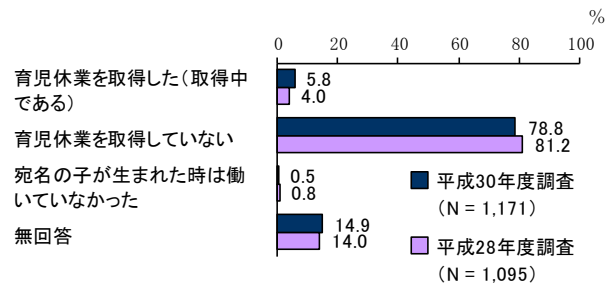
平成 28 年度調査と比較すると、「育児休業を取得した（取得中である）」の割合が増加しています。



(2) 父親

「育児休業を取得していない」の割合が 78.8%と最も高くなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※参考 男性の育児休業取得率 全国 : 2.65
(厚生労働省「平成 27 年度雇用均等基本調査」)

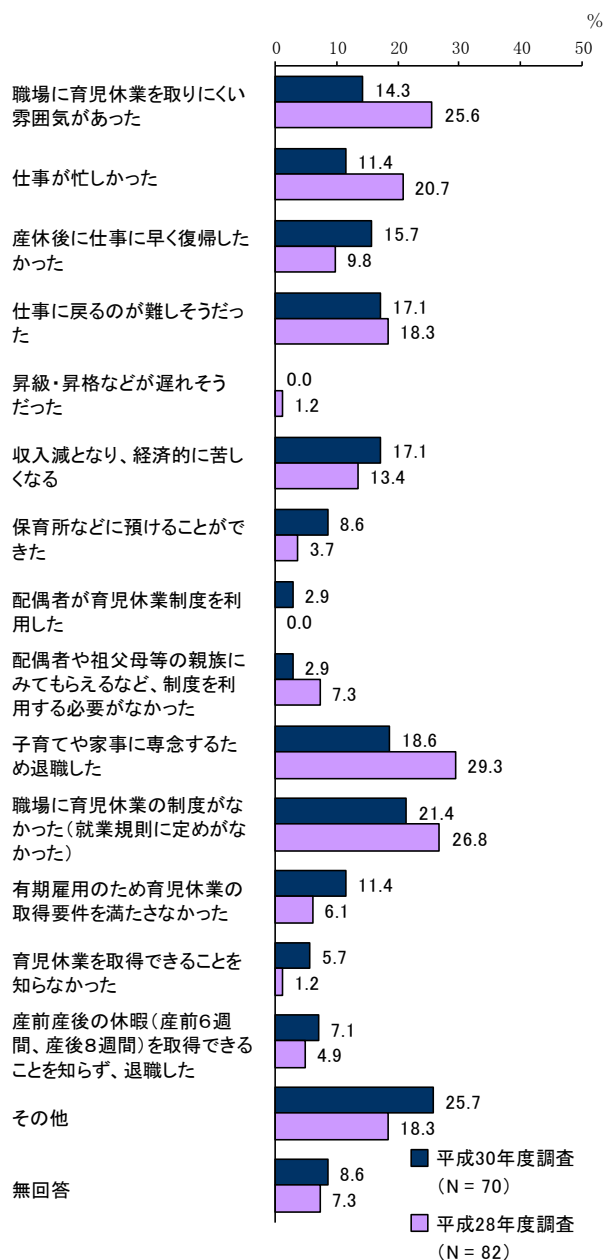
問 31 で「2. 育児休業を取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 32 育児休業を取得していない理由について、あてはまる番号すべてをご記入ください。

(1) 母親

「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 18.6%、「仕事に戻るのが難しそうだった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が 17.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少し、「産休後に仕事に早く復帰したかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。



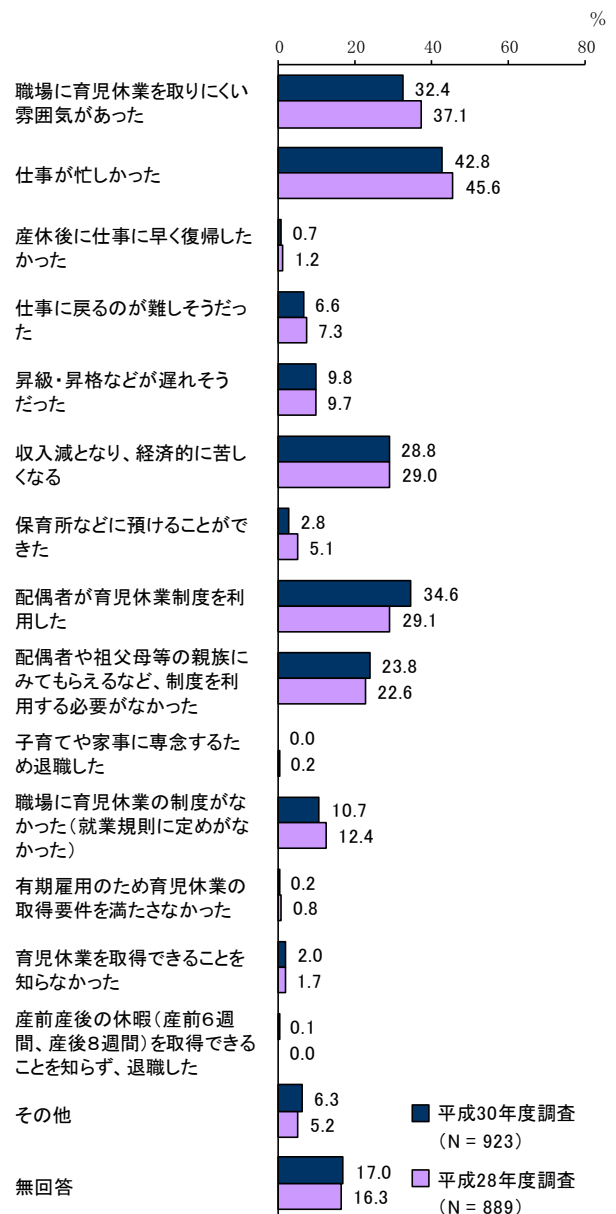
※主なその他意見

- ・自営業のため (11 件)

（２）父親

「仕事が忙しかった」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が 34.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 32.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。



※主なその他意見

- ・自営業のため（14 件）
- ・育児休業を取るという発想がなかった（13 件）
- ・有給休暇で十分だった（9 件）
- ・妻が育児に専念できるため（5 件）

問 31 で「1. 育児休業を取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます

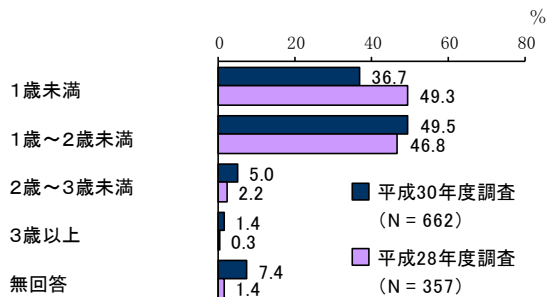
問 33 お子さんが何歳のときまで育児休業を取得（予定も含む）し、復帰するきっかけは何ですか。また、希望としては、何歳のときまで取得したいですか？

（１）母親

①取得期間

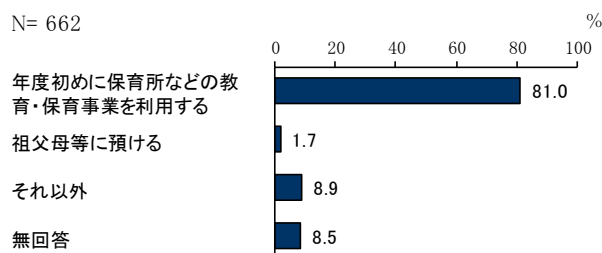
「1 歳～2 歳未満」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「1 歳未満」の割合が 36.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「1 歳未満」の割合が減少しています。



②復帰のきっかけ

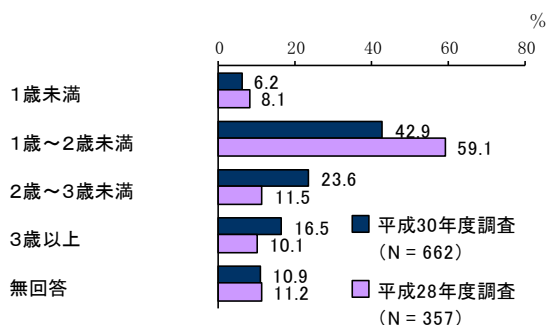
「年度初めに保育所などの教育・保育事業を利用する」の割合が 81.0%と最も高くなっています。



③希望取得期間

「1 歳～2 歳未満」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「2 歳～3 歳未満」の割合が 23.6%、「3 歳以上」の割合が 16.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「1 歳～2 歳未満」の割合が減少し、「2 歳～3 歳未満」「3 歳以上」の割合が増加しています。

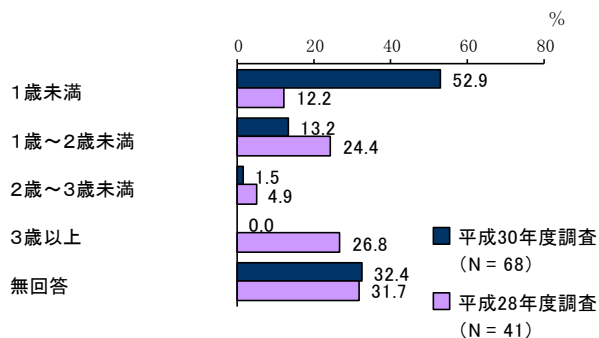


（２）父親

①取得期間

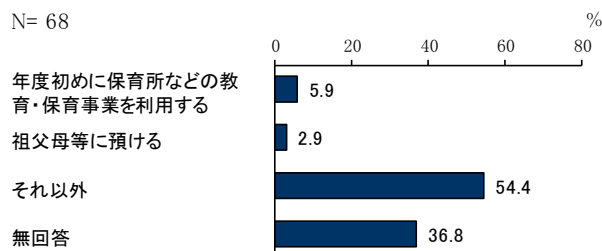
「1 歳未満」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「1 歳～2 歳未満」の割合が 13.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「1 歳未満」の割合が増加し、「1 歳～2 歳未満」「3 歳以上」の割合が減少しています。



②復帰のきっかけ

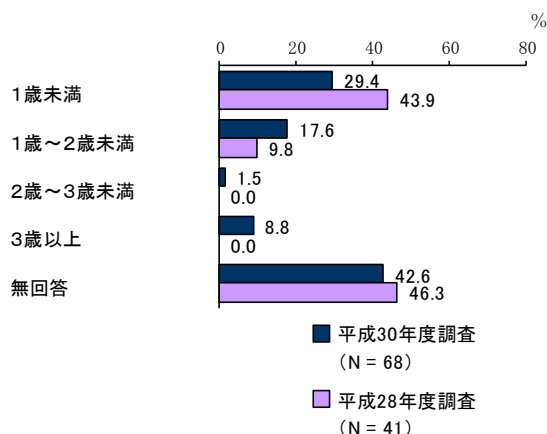
「それ以外」の割合が 54.4%と最も高くなっています。



③希望取得期間

「1歳未満」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「1歳～2歳未満」の割合が 17.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「1歳未満」の割合が減少し、「1歳～2歳未満」「3歳以上」の割合が増加しています。



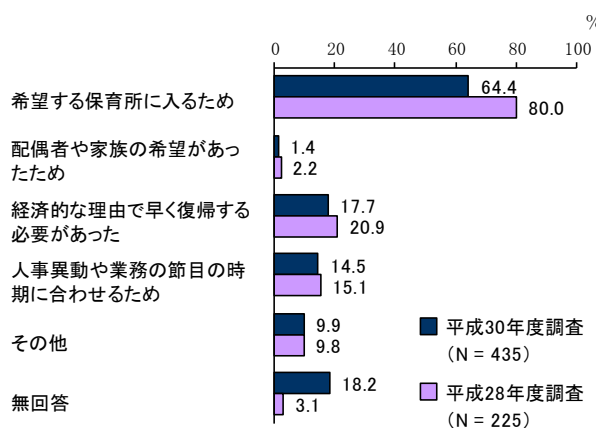
問 33 で、希望の育児休業期間よりも早く復帰する(した)方にうかがいます。

問 34 希望より早く復帰する(した)理由は何ですか。

(1) 母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 17.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 14.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「希望する保育園に入るため」の割合が減少しています。



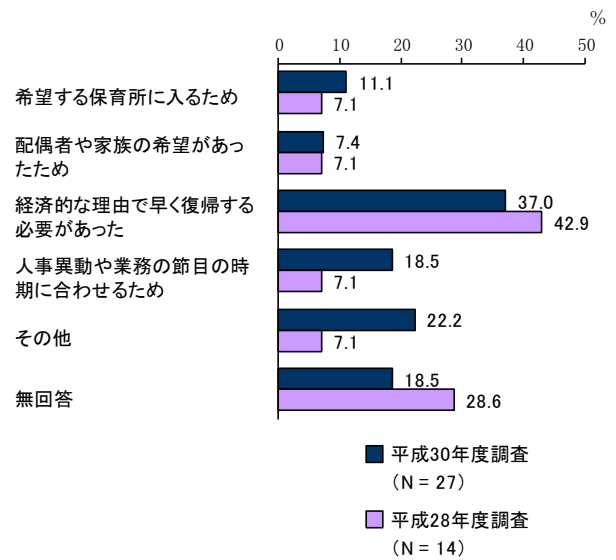
※主なその他意見

- ・会社の規定 (20 件)
- ・会社からの要望 (8 件)
- ・保育園に入園できないため (7 件)

（２）父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 18.5%、「希望する保育所に入るため」の割合が 11.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が減少し、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。



※主なその他意見

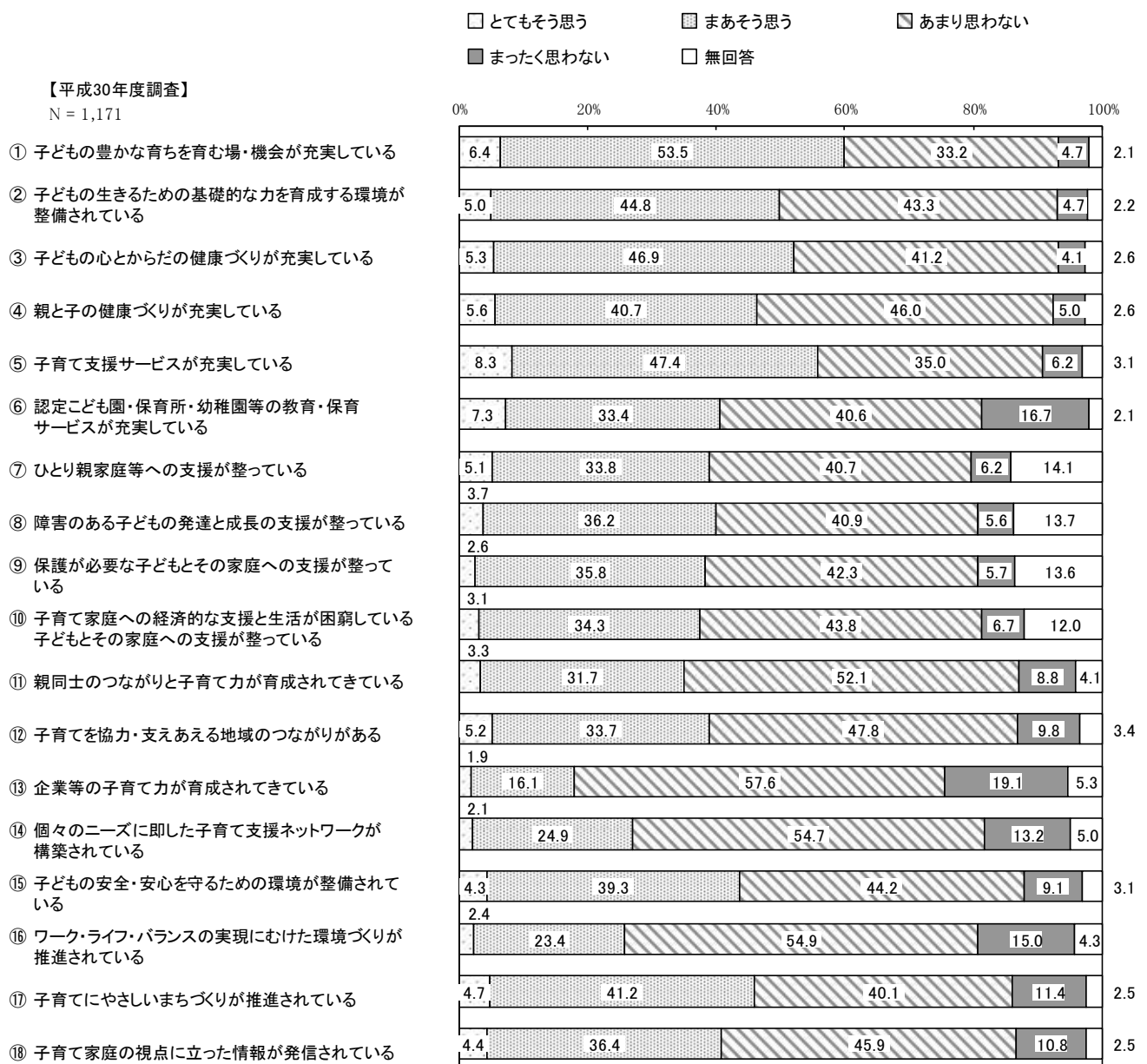
- ・会社の規定（3件）
- ・仕事に影響するため（2件）

問 35 乳幼児期のお子さんを育てていくうえで、墨田区の環境をどのように感じていますか。
(①～⑮のそれぞれについて、1～4の1つに○)

①子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している、③子どもの心とからだの健康づくりが充実している、⑤子育て支援サービスが充実しているで「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。

一方、⑬企業等の子育て力が育成されてきているで「あまり思わない」と「まったく思わない」をあわせた“思わない”の割合が高く、約8割となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、①子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している、③子どもの心とからだの健康づくりが充実している、⑥認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育事業が充実している、⑨保護が必要な子どもとその家庭への支援が整っている、⑩子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援が整っている、⑰子育てにやさしいまちづくりが推進されているで“そう思う”の割合が増加しています。

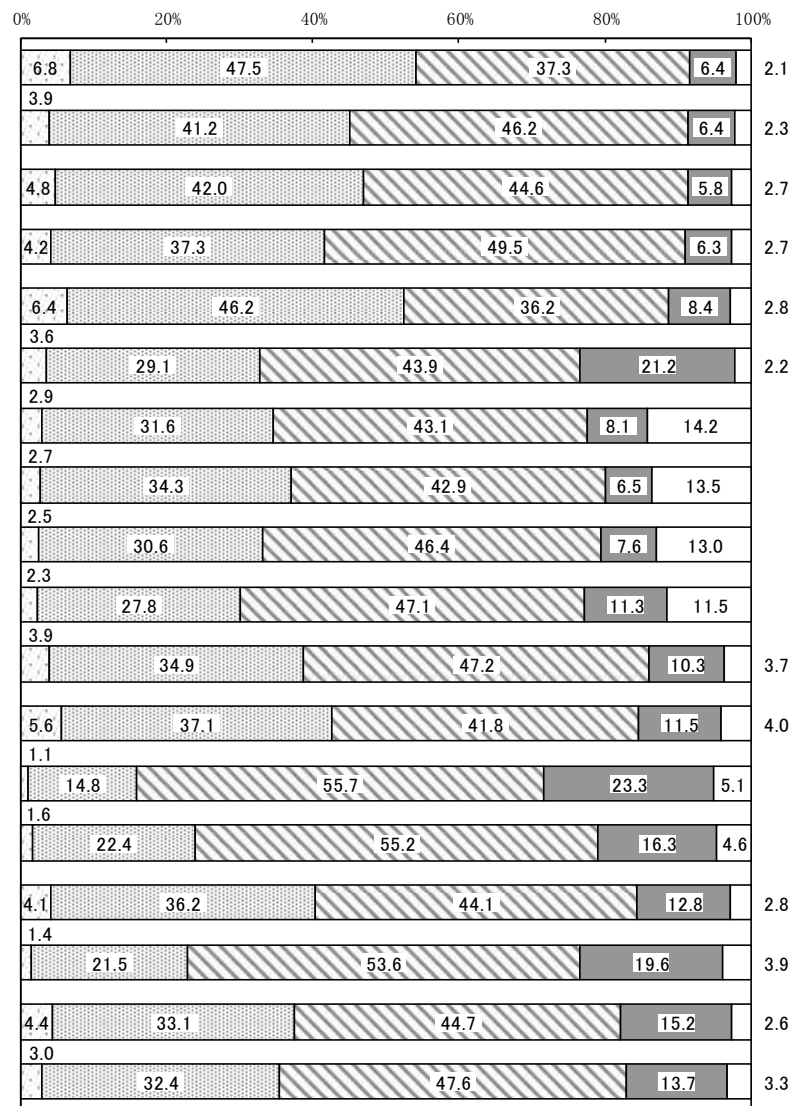


【平成28年度調査】

N = 1,095

- ① 子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している
- ② 子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されている
- ③ 子どもの心とからだの健康づくりが充実している
- ④ 親と子の健康づくりが充実している
- ⑤ 子育て支援サービスが充実している
- ⑥ 認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育サービスが充実している
- ⑦ ひとり親家庭等への支援が整っている
- ⑧ 障害のある子どもの発達と成長の支援が整っている
- ⑨ 保護が必要な子どもとその家庭への支援が整っている
- ⑩ 子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援が整っている
- ⑪ 親同士のつながりと子育て力が育成されてきている
- ⑫ 子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある
- ⑬ 企業等の子育て力が育成されてきている
- ⑭ 個々のニーズに即した子育て支援ネットワークが構築されている
- ⑮ 子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている
- ⑯ ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた環境づくりが推進されている
- ⑰ 子育てにやさしいまちづくりが推進されている
- ⑱ 子育て家庭の視点に立った情報が発信されている

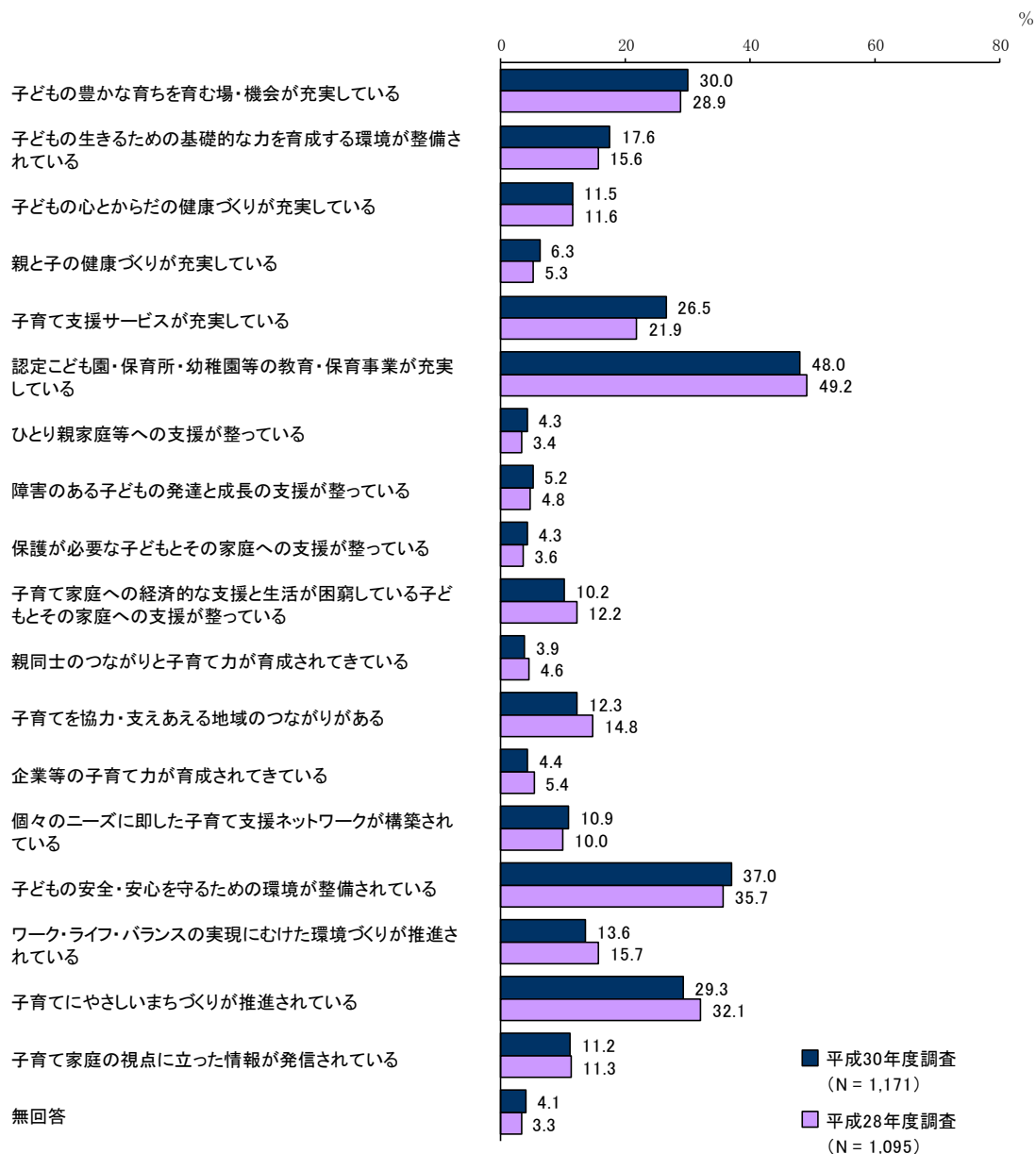
☐ とてもそう思う ☐ まあそう思う ☐ あまり思わない
☐ まったく思わない ☐ 無回答



問 36 問 35 の①～⑱の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を3つご記入ください。

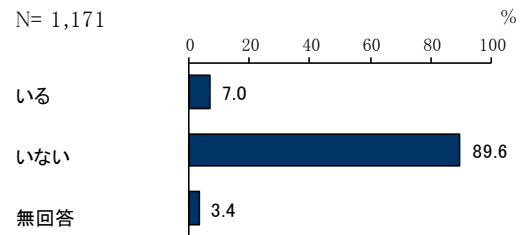
「認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育事業が充実している」の割合が48.0%と最も高く、次いで「子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている」の割合が37.0%、「子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している」の割合が30.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37 ご家族の中に、高齢・障害・病気などで、介護が必要な方はいらっしゃいますか。
(1つに○)

「いる」の割合が7.0%、「いない」の割合が89.6%となっています。

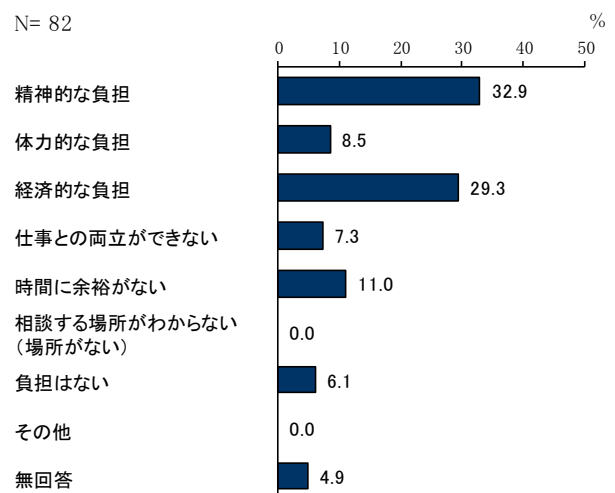


問 37 で「1. いる」に○をつけた方にうかがいます。

問 38 子育てと高齢・障害・病気などに対する介護を、同時に進行していることによる負担は何ですか。(あてはまるものから、順に3つ)

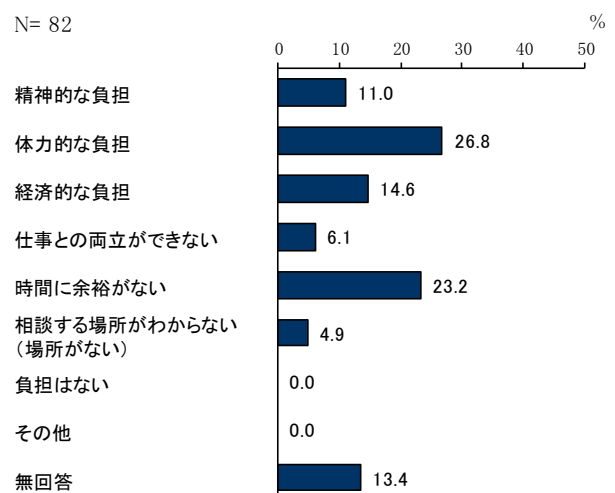
(1) 第1位

「精神的な負担」の割合が32.9%と最も高く、次いで「経済的な負担」の割合が29.3%、「時間に余裕がない」の割合が11.0%となっています。



(2) 第2位

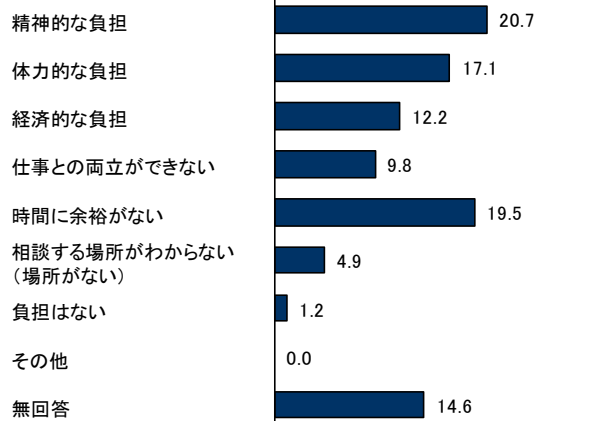
「体力的な負担」の割合が26.8%と最も高く、次いで「時間に余裕がない」の割合が23.2%、「経済的な負担」の割合が14.6%となっています。



(3) 第3位

「精神的な負担」の割合が20.7%と最も高く、次いで「時間に余裕がない」の割合が19.5%、「体力的な負担」の割合が17.1%となっています。

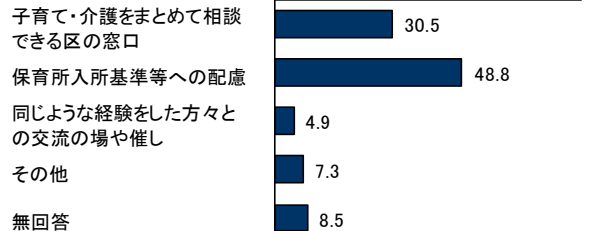
N= 82



問 39 区に配慮してほしいことは何ですか。(1 つに○)

「保育所入所基準等への配慮」の割合が48.8%と最も高く、次いで「子育て・介護をまとめて相談できる区の窓口」の割合が30.5%となっています。

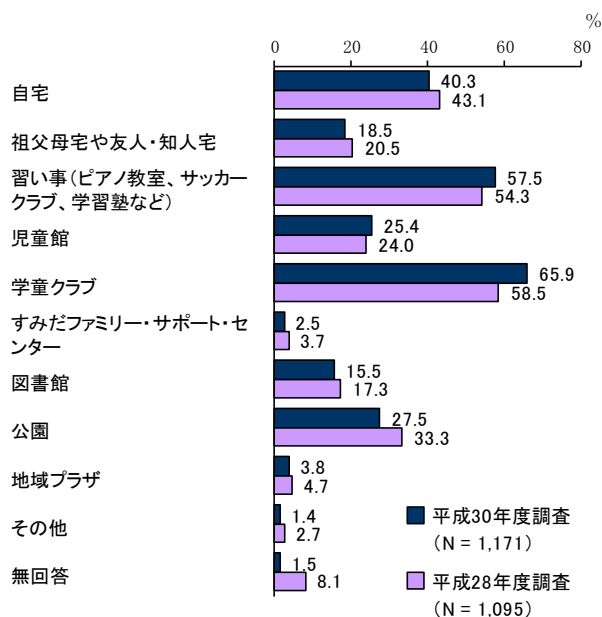
N= 82



問 40 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所等で過ごさせたいと思いますか。
(1)にあてはまるものすべてに○。(2)希望する利用日数を、「5 学童クラブ」は終了時刻を記入。

(1) 居場所

「学童クラブ」の割合が65.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が57.5%、「自宅」の割合が40.3%となっています。
平成28年度調査と比較すると、「学童クラブ」の割合が増加し、「公園」の割合が減少しています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、働いているで「学童クラブ」の割合が高くなっています。また、働いていないで「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「児童館」「図書館」「公園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館	学童クラブ	すみだファミリー・サポート・センター	図書館	公園	地域プラザ	その他	無回答
働いている	779	26.2	15.9	47.4	19.8	80.6	2.8	10.8	14.5	2.8	1.0	1.5
働いていない	382	68.6	24.3	77.5	37.2	36.4	1.8	25.7	53.9	5.8	2.1	1.3

※母親の就労状況無回答者数：10人

※“働いている”人は、問5で「フルタイム」「パート・アルバイト等」と回答した人

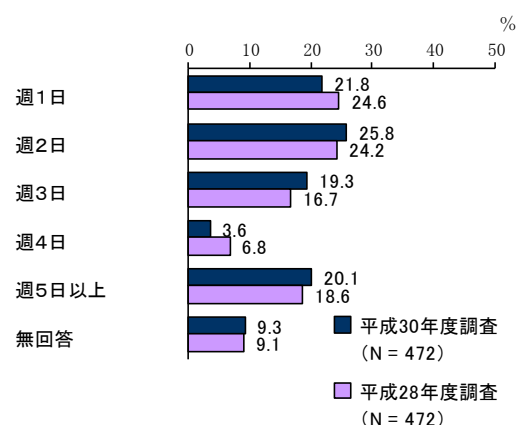
“働いていない”人は、問5で「以前は働いていたが、現在は働いていない」「これまで働いたことはない」と回答した人

（２）利用する日数

①自宅

「週 2 日」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「週 1 日」の割合が 21.8%、「週 5 日以上」の割合が 20.1%となっています。

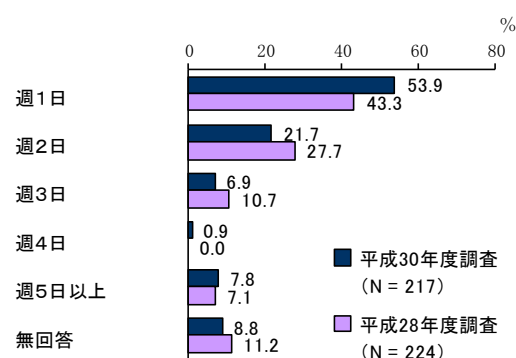
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②祖父母宅や友人・知人宅

「週 1 日」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「週 2 日」の割合が 21.7%となっています。

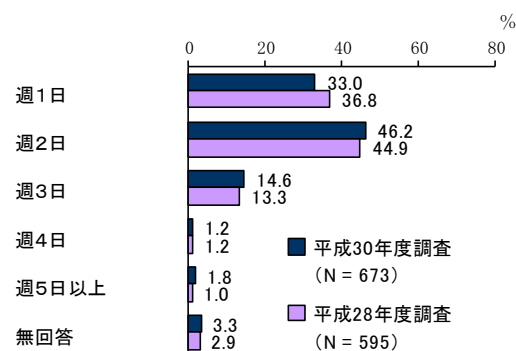
平成 28 年度調査と比較すると、「週 1 日」の割合が増加し、「週 2 日」の割合が減少しています。



③習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「週 2 日」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「週 1 日」の割合が 33.0%、「週 3 日」の割合が 14.6%となっています。

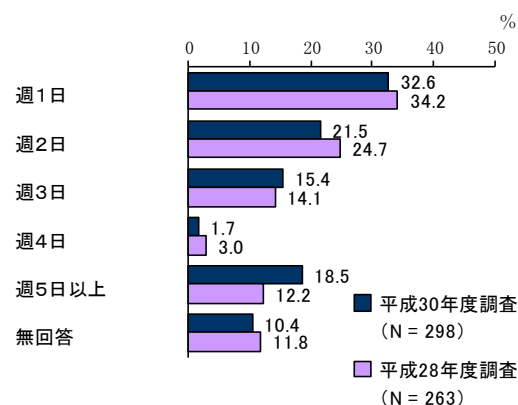
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



④児童館

「週 1 日」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「週 2 日」の割合が 21.5%、「週 5 日以上」の割合が 18.5%となっています。

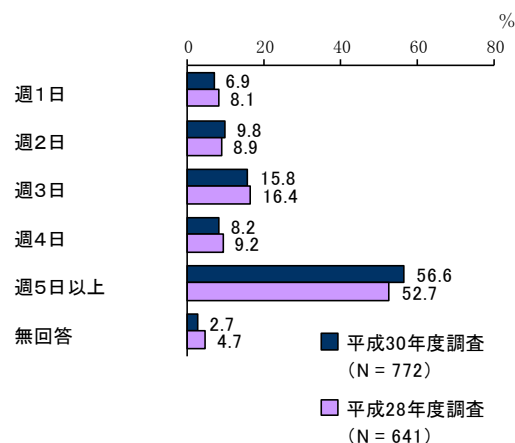
平成 28 年度調査と比較すると、「週 5 日以上」の割合が増加しています。



⑤学童クラブ

「週5日以上」の割合が56.6%と最も高く、次いで「週3日」の割合が15.8%となっています。

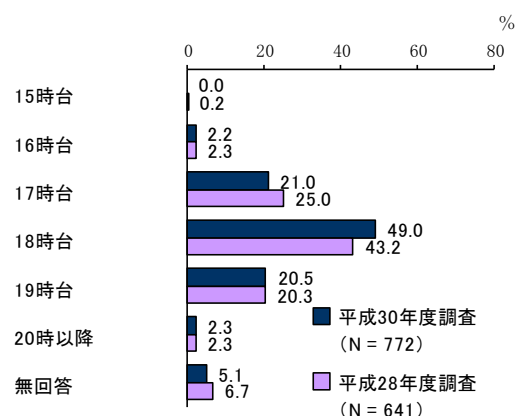
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



学童クラブの希望利用終了時間

「18時台」の割合が49.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.0%、「19時台」の割合が20.5%となっています。

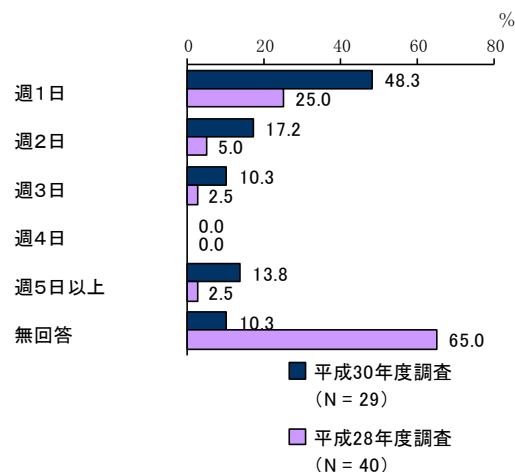
平成28年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。



⑥すみだファミリー・サポート・センター

「週1日」の割合が48.3%と最も高く、次いで「週2日」の割合が17.2%、「週5日以上」の割合が13.8%となっています。

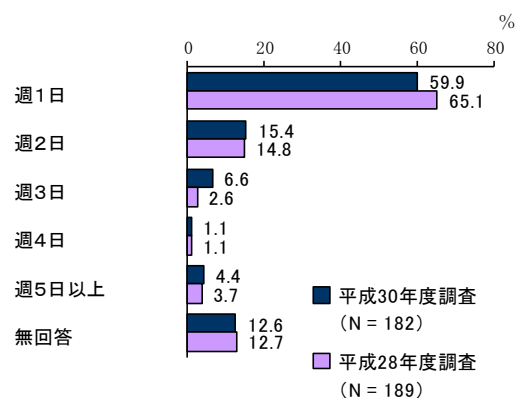
平成28年度調査と比較すると、「週1日」「週2日」「週3日」「週5日以上」の割合が増加しています。



⑦図書館

「週1日」の割合が59.9%と最も高く、次いで「週2日」の割合が15.4%となっています。

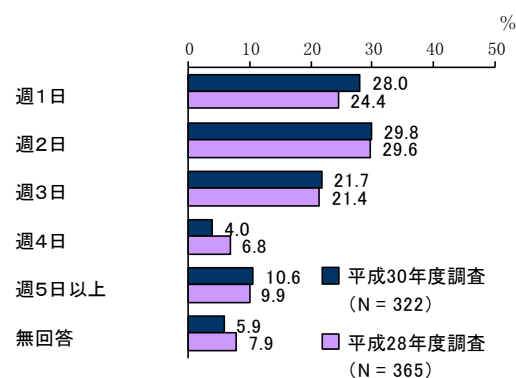
平成28年度調査と比較すると、「週1日」の割合が減少しています。



⑧公園

「週 2 日」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「週 1 日」の割合が 28.0%、「週 3 日」の割合が 21.7%となっています。

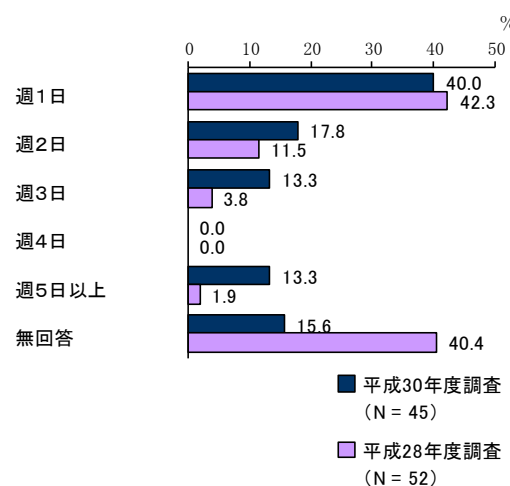
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑨地域プラザ

「週 1 日」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「週 2 日」の割合が 17.8%、「週 3 日」、「週 5 日以上」の割合が 13.3%となっています。

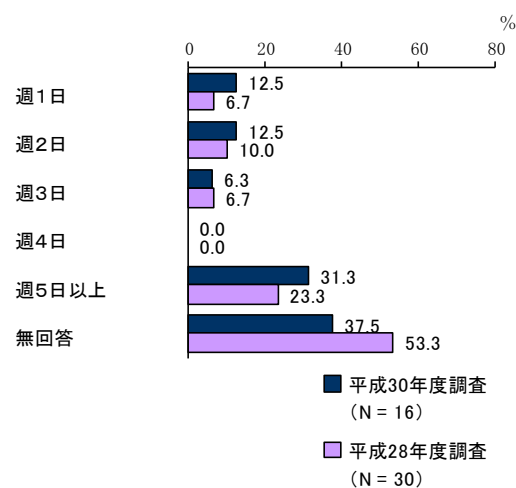
平成 28 年度調査と比較すると、「週 2 日」「週 3 日」「週 5 日以上」の割合が増加しています。



⑩その他

「週 5 日以上」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「週 1 日」、「週 2 日」の割合が 12.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「週 1 日」「週 5 日以上」の割合が増加しています。

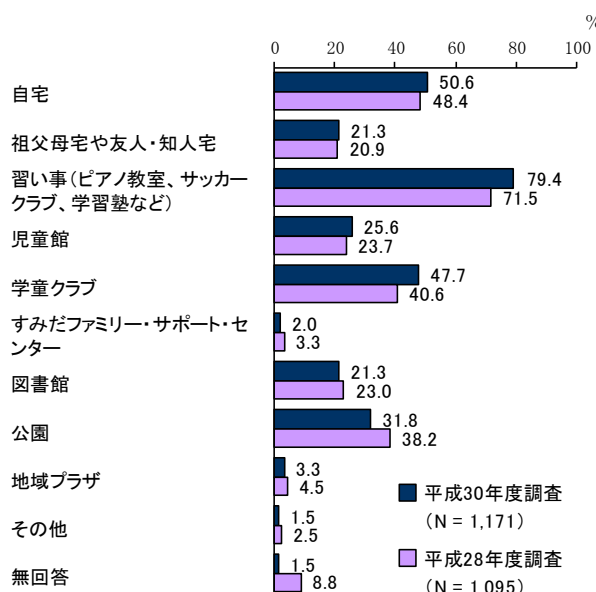


問 41 宛名のお子さんが小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の 時間をどのような場所等で過ごさせたいと思いますか。
 (1)にあてはまるものすべてに○。(2)希望する利用日数を、「5 学童クラブ」は終了時刻を記入。

（１）居場所

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 79.4%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 50.6%、「学童クラブ」の割合が 47.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学童クラブ」の割合が増加し、「公園」の割合が減少しています。



※主なその他意見

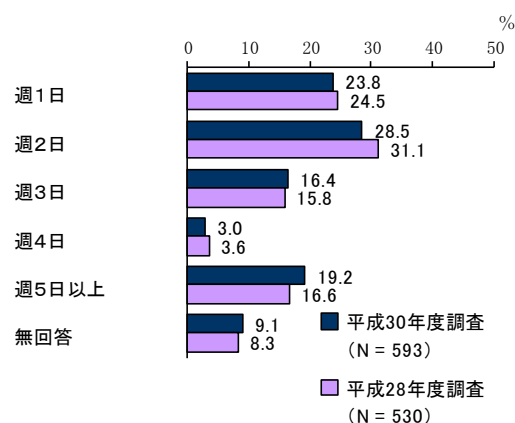
- ・父の職場（2件）
- ・友人宅（2件）

（２）利用する日数

①自宅

「週 2 日」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「週 1 日」の割合が 23.8%、「週 5 日以上」の割合が 19.2%となっています。

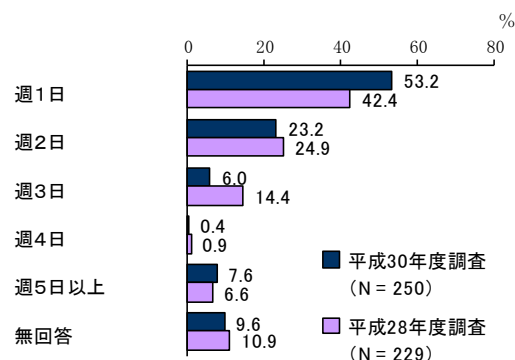
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②祖父母宅や友人・知人宅

「週 1 日」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「週 2 日」の割合が 23.2%となっています。

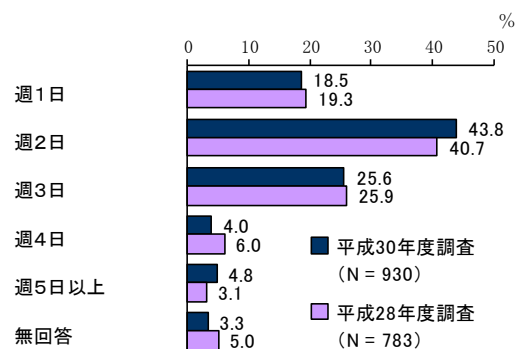
平成 28 年度調査と比較すると、「週 1 日」の割合が増加し、「週 3 日」の割合が減少しています。



③習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「週 2 日」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「週 3 日」の割合が 25.6%、「週 1 日」の割合が 18.5%となっています。

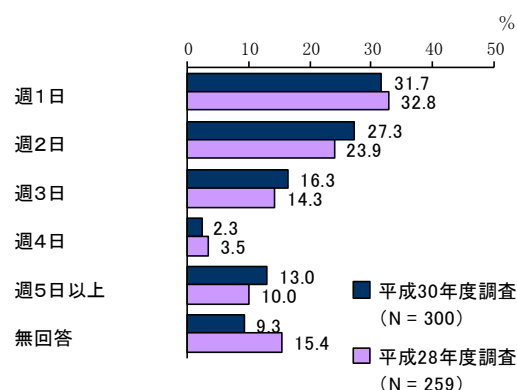
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



④児童館

「週 1 日」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「週 2 日」の割合が 27.3%、「週 3 日」の割合が 16.3%となっています。

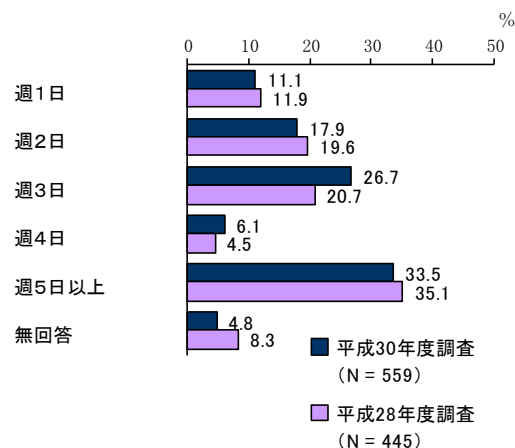
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑤学童クラブ

「週 5 日以上」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「週 3 日」の割合が 26.7%、「週 2 日」の割合が 17.9%となっています。

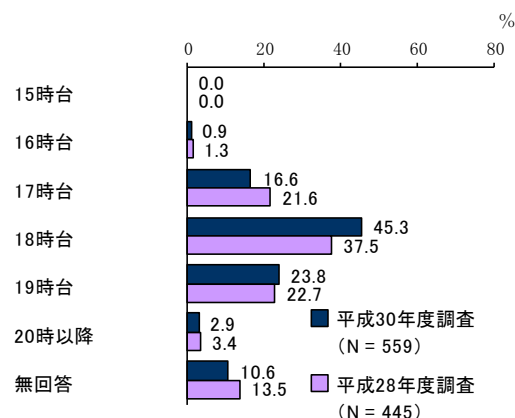
平成 28 年度調査と比較すると、「週 3 日」の割合が増加しています。



学童クラブの希望終了時刻

「18 時台」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 23.8%、「17 時台」の割合が 16.6%となっています。

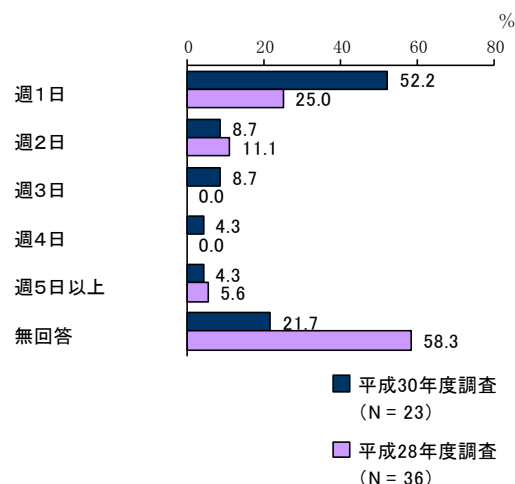
平成 28 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が減少し、「18 時台」の割合が増加しています。



⑥すみだファミリー・サポート・センター

「週1日」の割合が52.2%と最も高くなっています。

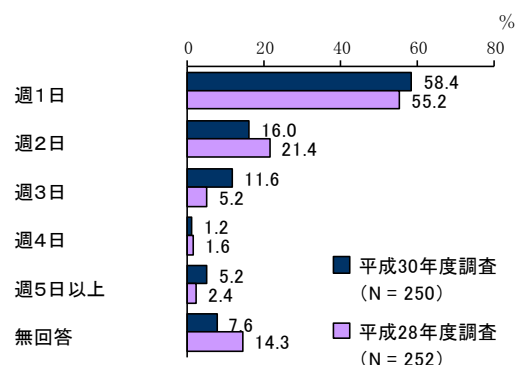
平成28年度調査と比較すると、「週1日」「週3日」の割合が増加しています。



⑦図書館

「週1日」の割合が58.4%と最も高く、次いで「週2日」の割合が16.0%、「週3日」の割合が11.6%となっています。

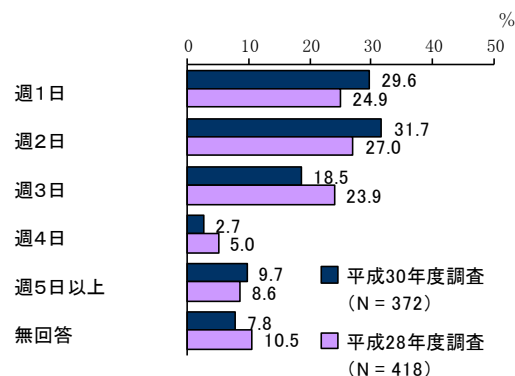
平成28年度調査と比較すると、「週2日」の割合が減少し、「週3日」の割合が増加しています。



⑧公園

「週2日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「週1日」の割合が29.6%、「週3日」の割合が18.5%となっています。

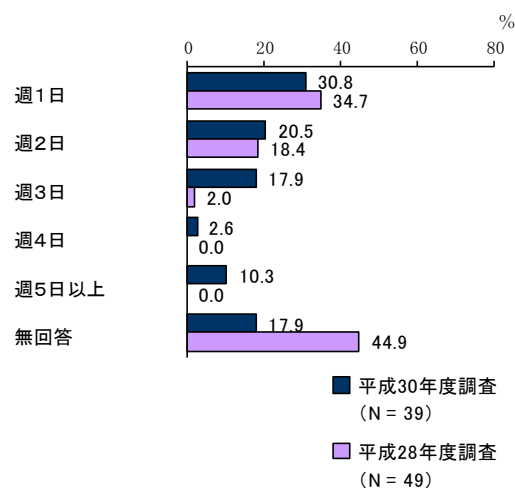
平成28年度調査と比較すると、「週3日」の割合が減少しています。



⑨地域プラザ

「週1日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「週2日」の割合が20.5%、「週3日」の割合が17.9%となっています。

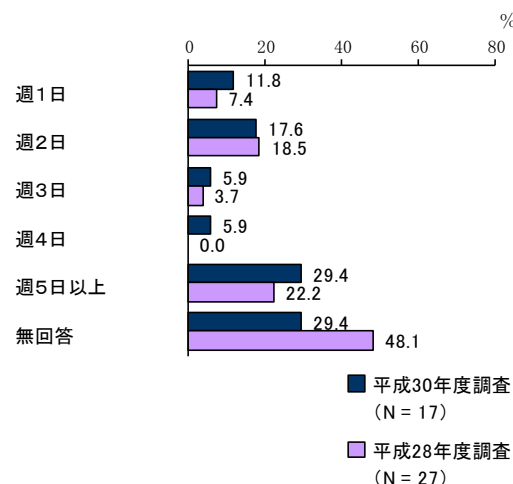
平成28年度調査と比較すると、「週3日」「週5日以上」の割合が増加しています。



⑩その他

「週5日以上」の割合が29.4%と最も高く、次いで「週2日」の割合が17.6%、「週1日」の割合が11.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「週4日」「週5日以上」の割合が増加しています。



問40または問41で学童クラブに○をつけた方にうかがいます。

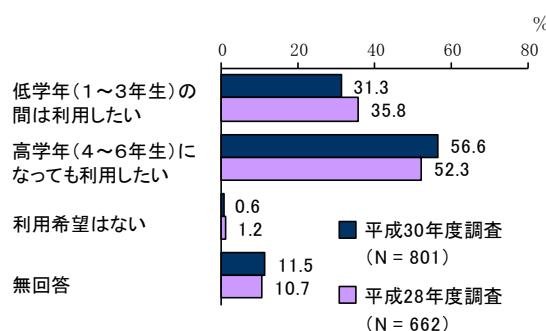
問42 通常の学童クラブの利用について、①～④それぞれに、利用希望をお答えください。
(1つに○) 利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。

①平日

(1) 利用希望

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が56.6%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が31.3%となっています。

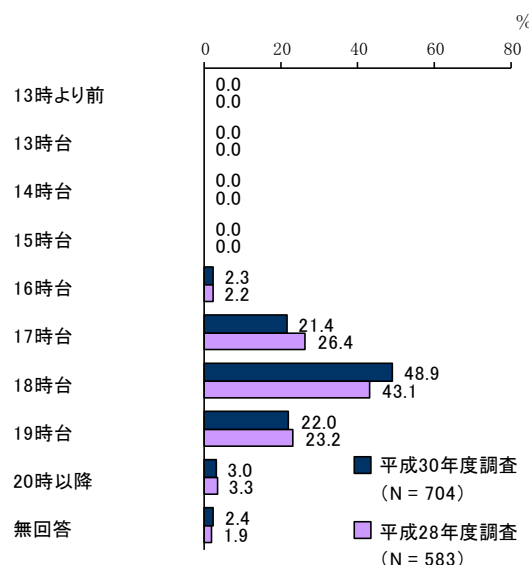
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が48.9%と最も高く、次いで「19時台」の割合が22.0%、「17時台」の割合が21.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「17時台」の割合が減少し、「18時台」の割合が増加しています。

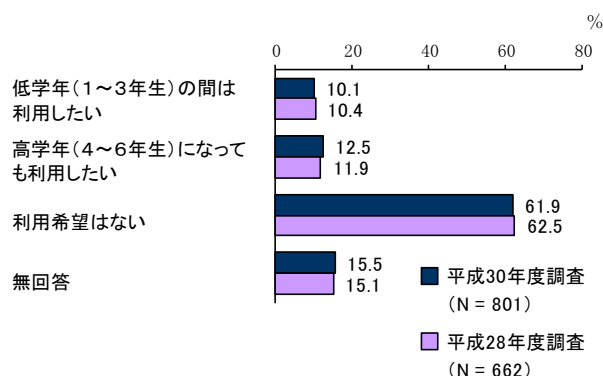


②土曜日

(1) 利用希望

「利用希望はない」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 12.5%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 10.1%となっています。

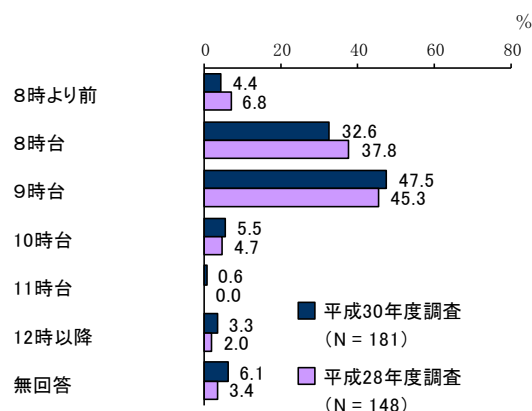
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用開始時間

「9時台」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 32.6%となっています。

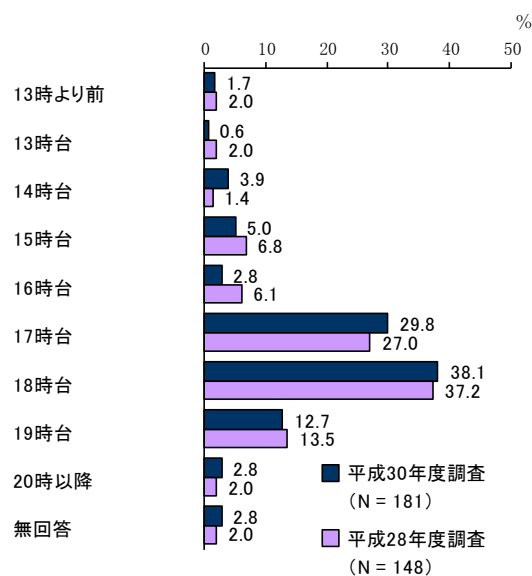
平成 28 年度調査と比較すると、「8時台」の割合が減少しています。



(3) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 29.8%、「19時台」の割合が 12.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

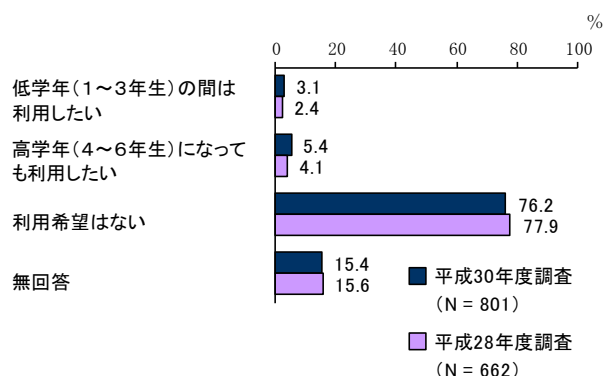


③日曜・祝日

(1) 利用希望

「利用希望はない」の割合が 76.2%と最も高くなっています。

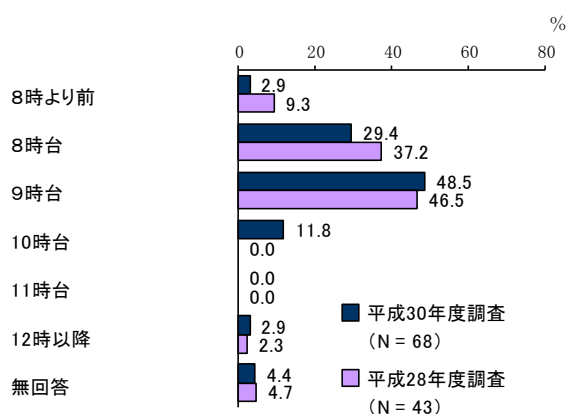
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用開始時間

「9 時台」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 29.4%、「10 時台」の割合が 11.8%となっています。

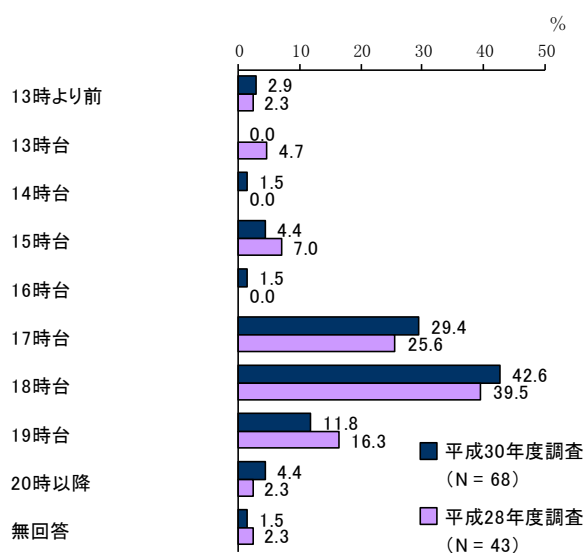
平成 28 年度調査と比較すると、「8 時より前」「8 時台」の割合が減少し、「10 時台」の割合が増加しています。



(3) 希望利用終了時間

「18 時台」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 29.4%、「19 時台」の割合が 11.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

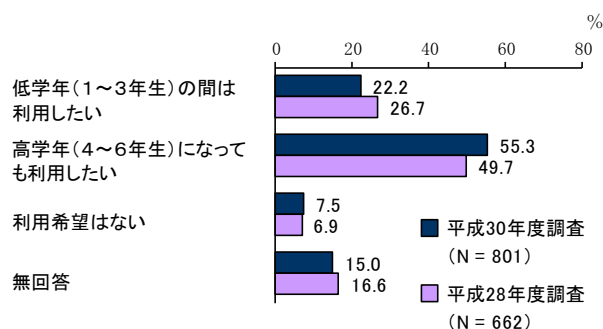


④夏休みなど長期休暇

(1) 利用希望

「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 22.2%となっています。

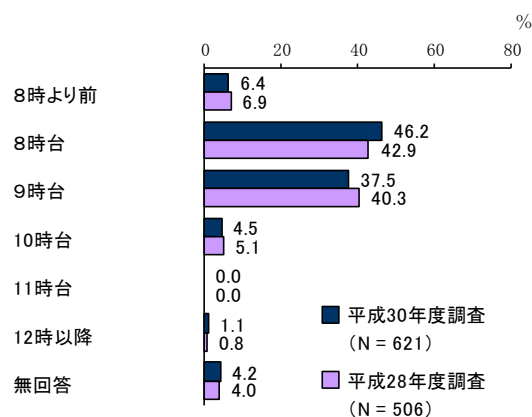
平成 28 年度調査と比較すると、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が増加しています。



(2) 希望利用開始時間

「８時台」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 37.5%となっています。

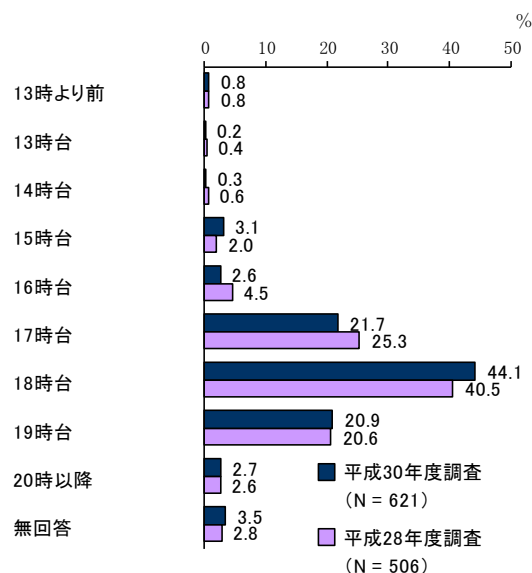
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 希望利用終了時間

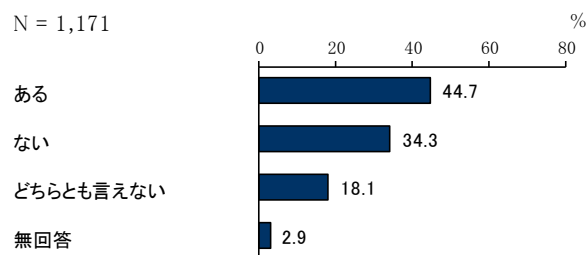
「18 時台」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.7%、「19 時台」の割合が 20.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 43 現実的に子どもを持てる（持とうとしている）人数と、「欲しい」子どもの人数に差はありますか。（1 つに○） その理由について、差支えない範囲でご記入ください。

「ある」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が 34.3%、「どちらとも言えない」の割合が 18.1%となっています。



※「ある」の主な意見（523 件）

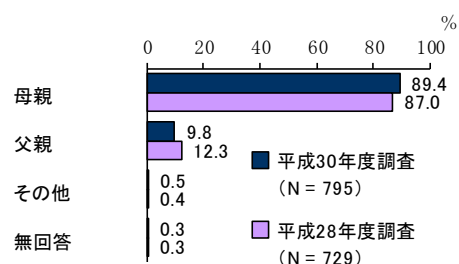
- ・ 経済的負担が大きい（263 件）
- ・ 年齢的な問題（高齢のため）（86 件）
- ・ 協力してくれる人がいない（1 人目の育児で手いっぱい、一人親）（30 件）
- ・ 住宅事情により（23 件）
- ・ なかなか授からない（23 件）

Ⅲ 「小学生の保護者」調査結果

問1 宛名のお子さんからみて、回答する方はどなたですか。（1つに○）。

「母親」の割合が89.4%、「父親」の割合が9.8%となっています。

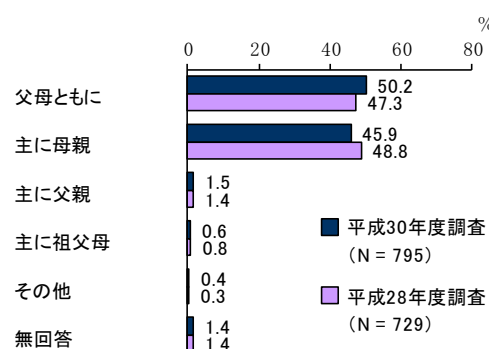
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 宛名のお子さんの子育てや教育を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。（1つに○）

「父母ともに」の割合が50.2%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が45.9%、「主に父親」の割合が1.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

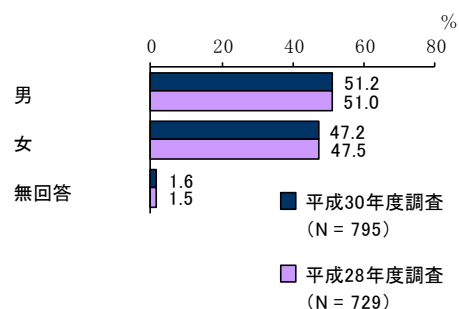


問3 宛名のお子さんについて、性別・学年をお答えください。（1つに○）

（1）性別

「男」の割合が51.2%、「女」の割合が47.2%となっています。

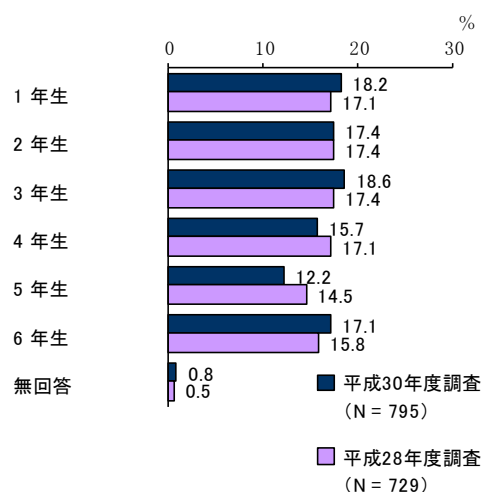
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（2）学年

「3年生」の割合が18.6%と最も高く、次いで「1年生」の割合が18.2%、「2年生」の割合が17.4%となっています。

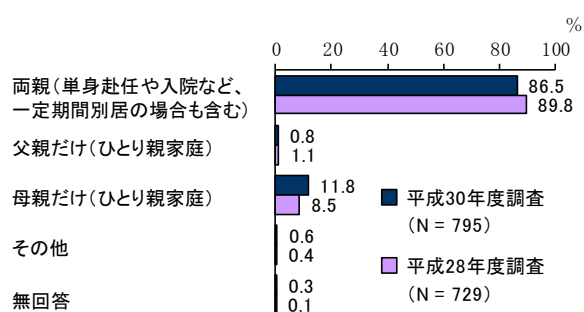
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 宛名のお子さんの保護者はどなたですか。(1つに○)

「両親(単身赴任や入院など、一定期間別居の場合も含む)」の割合が86.5%と最も高く、次いで「母親だけ(ひとり親家庭)」の割合が11.8%、「父親だけ(ひとり親家庭)」の割合が0.8%となっています。

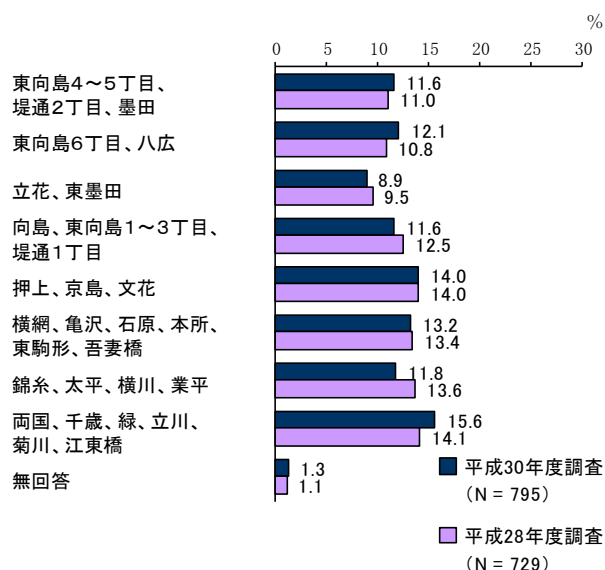
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 お住まいの住所をご記入ください。

「両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋」の割合が15.6%と最も高く、次いで「京島、文花、押上」の割合が13.8%、「吾妻橋、東駒形、本所、石原、亀沢、横網」の割合が12.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

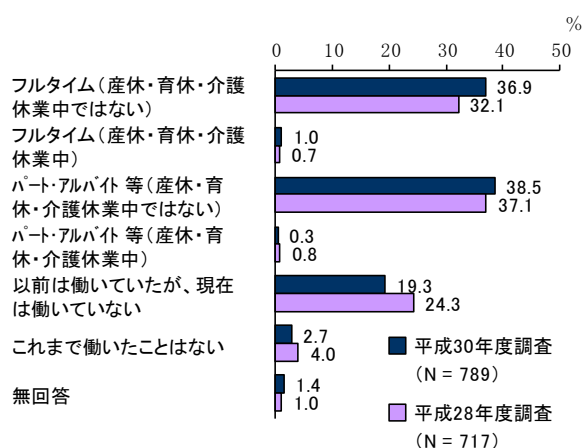


問6 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。

(1) 母親 (いずれか1つに○)

「パート・アルバイト等(産休・育休・介護休業中ではない)」の割合が38.5%と最も高く、次いで「フルタイム(産休・育休・介護休業中ではない)」の割合が36.9%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が19.3%となっています。

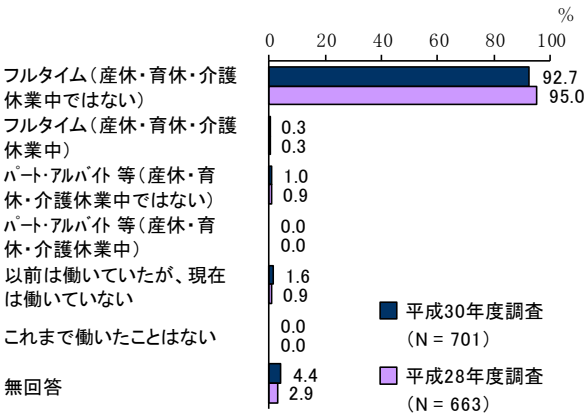
平成28年度調査と比較すると、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が減少しています。



(2)父親（いずれか1つに○）

「フルタイム（育休・介護休業中ではない）」の割合が 92.7%と最も高く、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が 1.6%、「パート・アルバイト 等（育休・介護休業中ではない）」の割合が 1.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



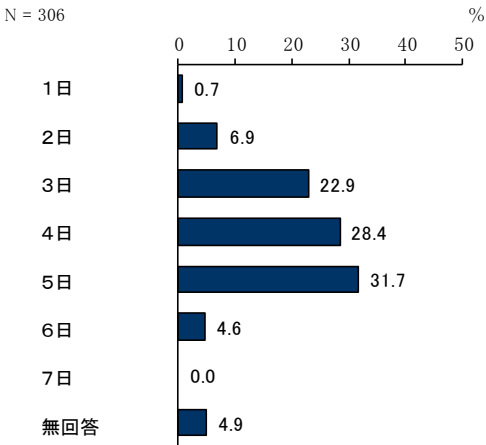
問6で「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にうかがいます。

問7 就労日数や就労時間等（残業時間を含む）をお答えください。

(1)母親

① 就労日数

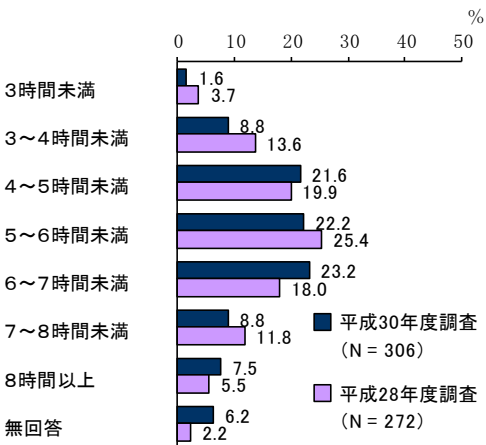
「5日」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が 28.4%、「3日」の割合が 22.9%となっています。



② 平均就労時間

「6～7時間未満」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「5～6時間未満」の割合が 22.2%、「4～5時間未満」の割合が 21.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「6～7時間未満」の割合が増加しています。



(2) 父親

① 就労日数

「6日」が3件と最も高く、次いで「5日」が2件、「1日」、「4日」が1件となっています。

② 平均就労時間

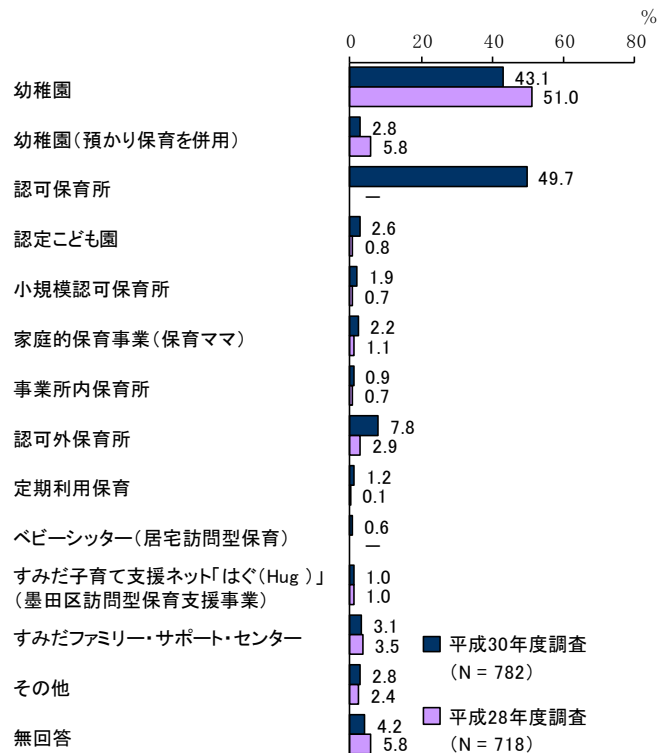
「8時間以上」が3件と最も高く、次いで「5～6時間未満」が2件、「3時間未満」が1件となっています。

問6で「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」～「以前は働いていたが、現在は働いていない」に○をつけた方（過去も含め働いたことがある）方にうかがいます。

問8 対象のお子さんは、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していましたか（あてはまるものすべてに○）。

「認可保育所」の割合が49.7%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が43.1%、「認可外保育所」の割合が7.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少し、「認可保育所」の割合が増加しています。

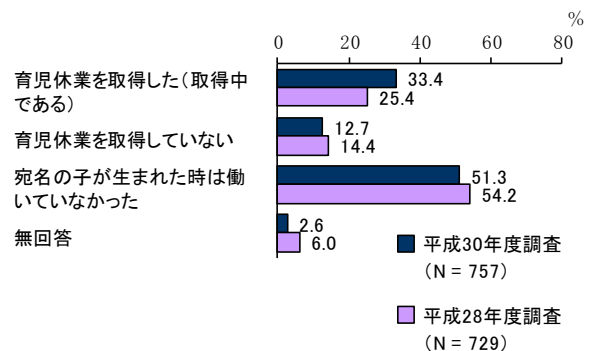


問9 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のどちらかまたは双方が育児休業を取得しましたか。

(1) 母親 (いずれか1つに○)

「宛名の子が生まれた時は働いていなかった」の割合が51.3%と最も高く、次いで「育児休業を取得した(取得中である)」の割合が33.4%、「育児休業を取得していない」の割合が12.7%となっています。

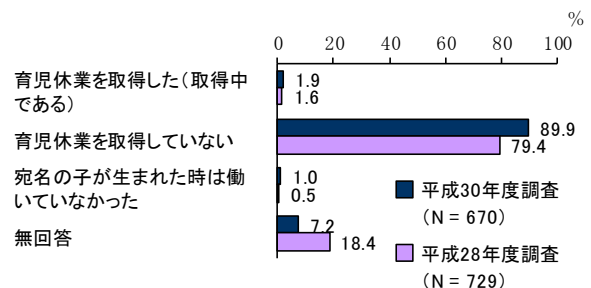
平成28年度調査と比較すると、「育児休業を取得した(取得中である)」の割合が増加しています。



(2) 父親 (いずれか1つに○)

「育児休業を取得していない」の割合が89.9%と最も高く、次いで「育児休業を取得した(取得中である)」の割合が1.9%、「宛名の子が生まれた時は働いていなかった」の割合が1.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「育児休業を取得していない」の割合が増加しています。



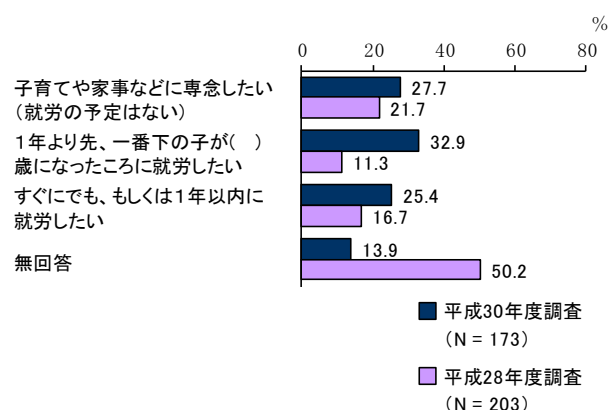
問6で「以前は働いていたが、現在は働いていない」「これまで働いたことはない」に○をつけた方(現在は働いていない方)にうかがいます。

問10 就労したいという希望はありますか。

(1) 母親 (いずれか1つに○)

「1年より先、一番下の子が()歳になったところに就労したい」の割合が32.9%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が27.7%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が25.4%となっています。

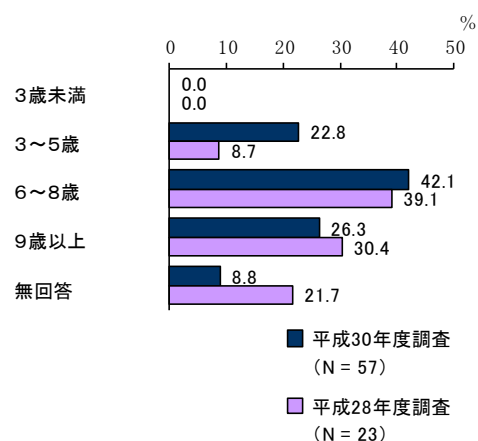
平成28年度調査と比較すると、いずれの項目も割合が増加しています。



① 就労希望時の子どもの年齢

「6～8歳」の割合が42.1%と最も高く、次いで「9歳以上」の割合が26.3%、「3～5歳」の割合が22.8%となっています。

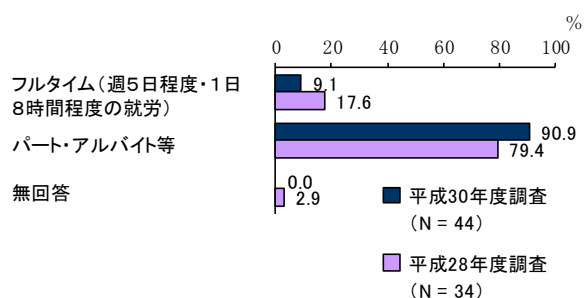
平成28年度調査と比較すると、「3～5歳」の割合が増加しています。



② 希望の就労形態

「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が9.1%、「パート・アルバイト等」の割合が90.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が減少し、「パート・アルバイト等」の割合が増加しています。

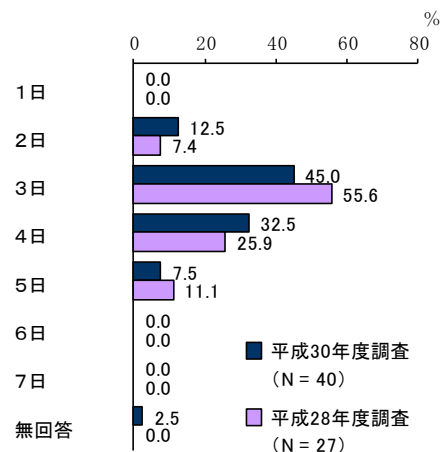


③ 希望の就労日数

（「パート・アルバイト等」と回答した人）

「3日」の割合が45.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が32.5%、「2日」の割合が12.5%となっています。

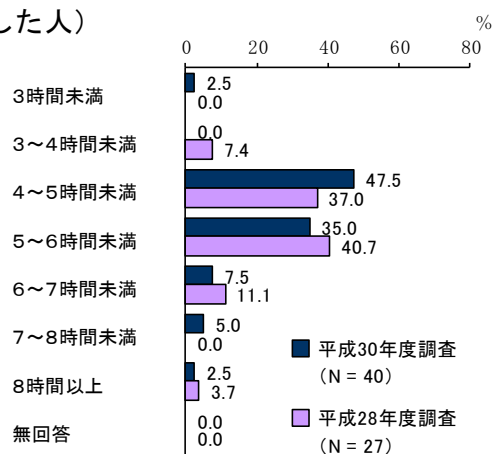
平成28年度調査と比較すると、「2日」「4日」の割合が増加し、「3日」の割合が減少しています。



④ 希望の就労時間（「パート・アルバイト等」と回答した人）

「4～5時間未満」の割合が47.5%と最も高く、次いで「5～6時間未満」の割合が35.0%、「6～7時間未満」の割合が7.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「4～5時間未満」「7～8時間未満」の割合が増加し、「3～4時間未満」「5～6時間未満」の割合が減少しています。



(2) 父親 (いずれか1つに○)

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が63.6%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が9.1%、「1年より先、一番下の子が()歳になったところに就労したい」の割合が0.0%となっています。

① 就労希望時の子どもの年齢

有効回答がありませんでした。

② 希望の就労形態

「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)」が5件、「パート・アルバイト等」が2件となっています。

③ 希望の就労日数

「3日」、「5日」が1件となっています。

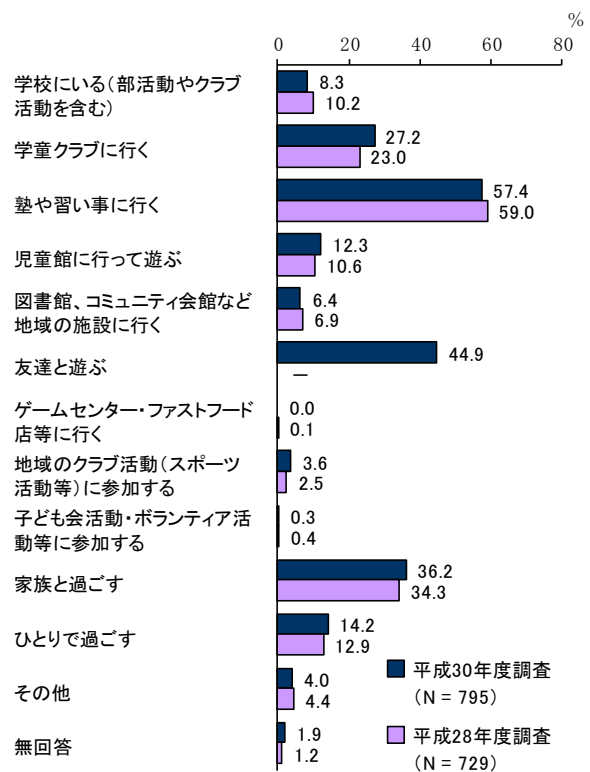
④ 希望の就労時間

「8時間以上」が2件となっています。

問11 宛名のお子さんは、月曜日から金曜日の放課後、どのように過ごすことが多いですか。
(最も多い過ごし方3つまでに○)

「塾や習い事に行く」の割合が57.4%と最も高く、次いで「友達と遊ぶ」の割合が44.9%、「家族と過ごす」の割合が36.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「友達と遊ぶ」の割合が増加しています。

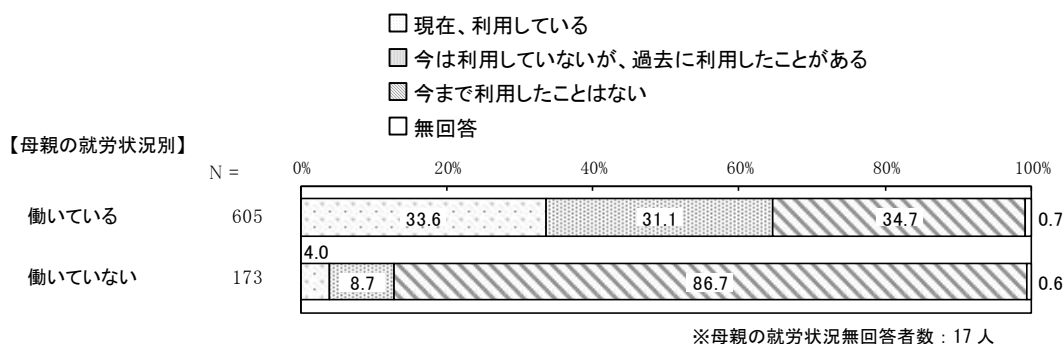
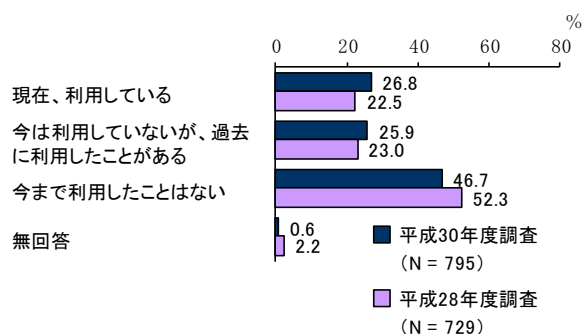


問 12 宛名のお子さんは学童クラブを利用したことがありますか。(1つに○)

「今まで利用したことはない」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「現在、利用している」の割合が 26.8%、「今は利用していないが、過去に利用したことがある」の割合が 25.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「今まで利用したことはない」の割合が減少しています。

母親の就労状況別でみると、働いているで「現在、利用している」「今は利用していないが、過去に利用したことがある」の割合が、働いていないで「今まで利用したことはない」の割合が高くなっています。

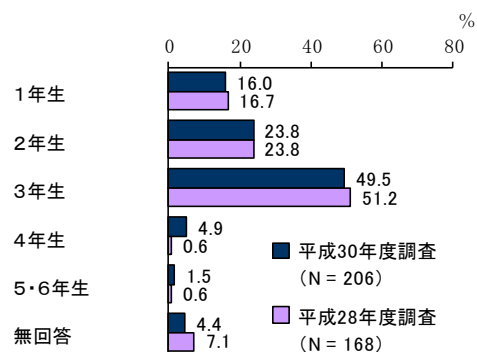


※ “働いている” 人は、問 6 で「フルタイム」「パート・アルバイト等」と回答した人
 “働いていない” 人は、問 6 で「以前は働いていたが、現在は働いていない」「これまで働いたことはない」と回答した人

【何年生まで利用していたか】

「3年生」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「2年生」の割合が 23.8%、「1年生」の割合が 16.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



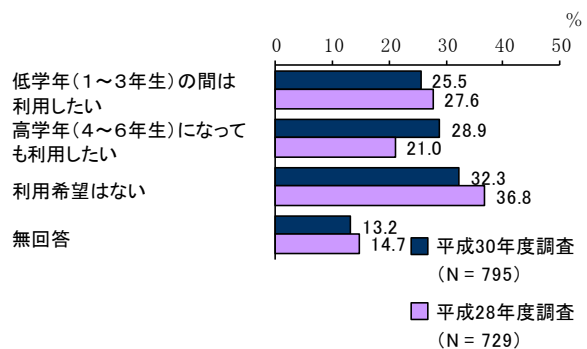
問 13 通常の学童クラブの利用について、①～④それぞれに、利用希望をお答えください。
(1つに○) 利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。

①平日

(1)利用希望

「利用希望はない」の割合が32.3%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が28.9%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が25.5%となっています。

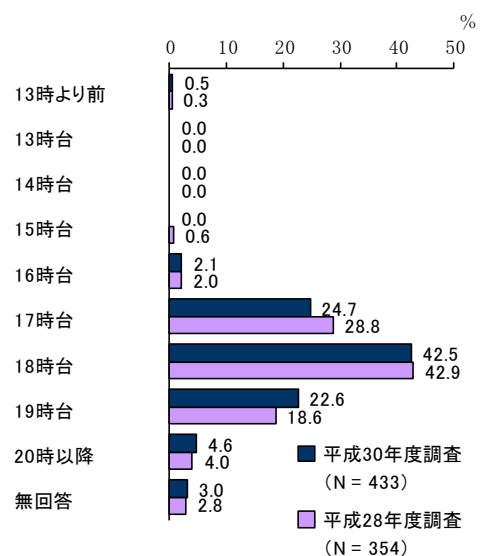
平成28年度調査と比較すると、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が増加しています。



(2) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が42.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が24.7%、「19時台」の割合が22.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

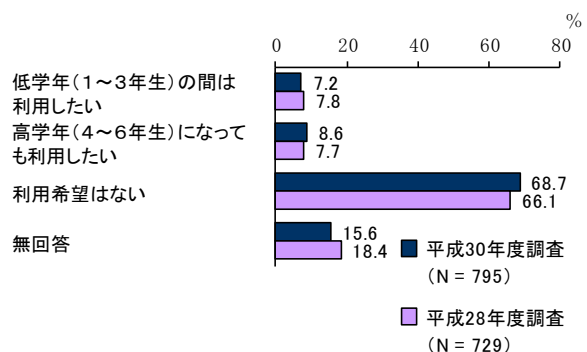


②土曜日

(1)利用希望(1つに○)

「利用希望はない」の割合が68.7%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が8.6%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が7.2%となっています。

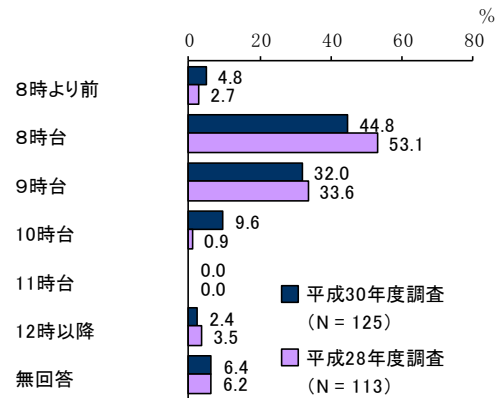
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用開始時間

「8 時台」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 32.0%、「10 時台」の割合が 9.6%となっています。

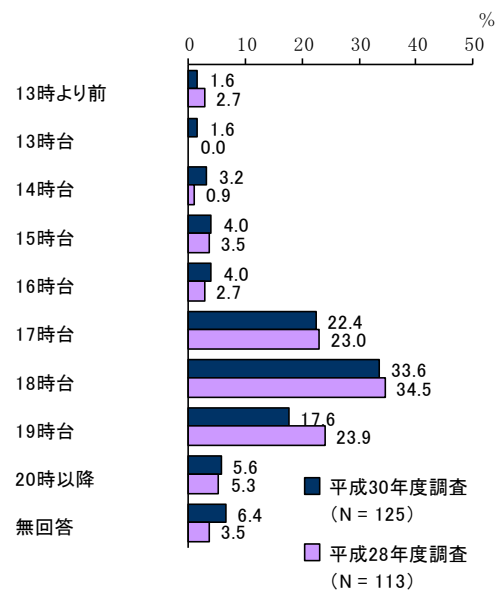
平成 28 年度調査と比較すると、「10 時台」の割合が増加し、「8 時台」の割合が減少しています。



(3) 希望利用終了時間

「18 時台」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 22.4%、「19 時台」の割合が 17.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「19 時台」の割合が減少しています。

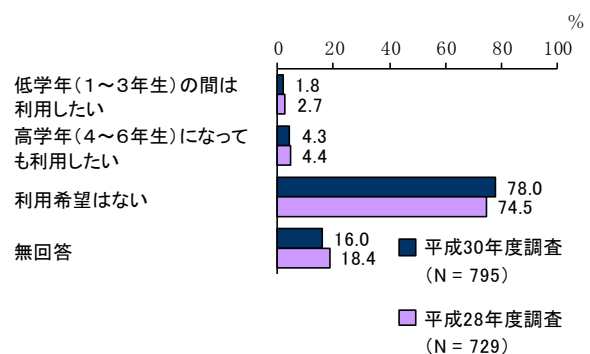


③日曜・祝日

(1) 利用希望

「利用希望はない」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」の割合が 4.3%、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 1.8%となっています。

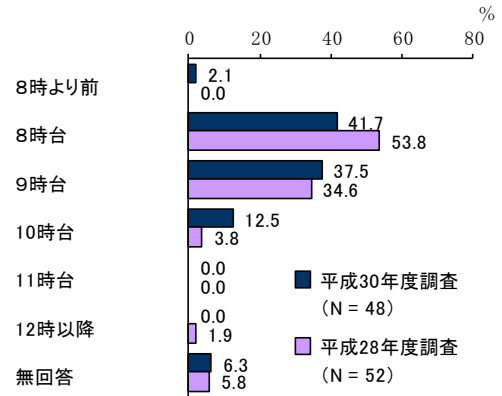
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用開始時間

「8時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が37.5%、「10時台」の割合が12.5%となっています。

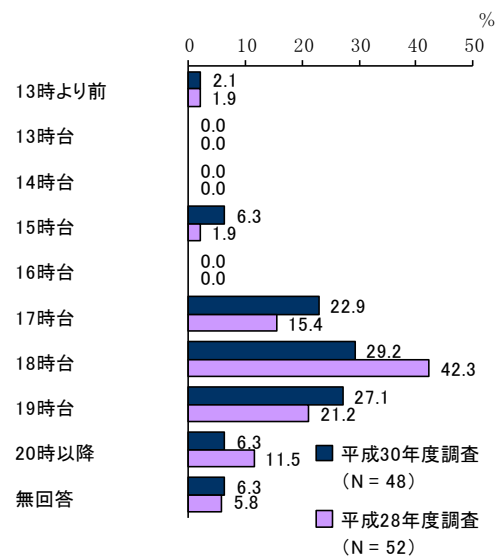
平成28年度調査と比較すると、「10時台」の割合が増加し、「8時台」の割合が減少しています。



(3) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が29.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が27.1%、「17時台」の割合が22.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「17時台」「19時台」の割合が増加し、「18時台」「20時以降」の割合が減少しています。

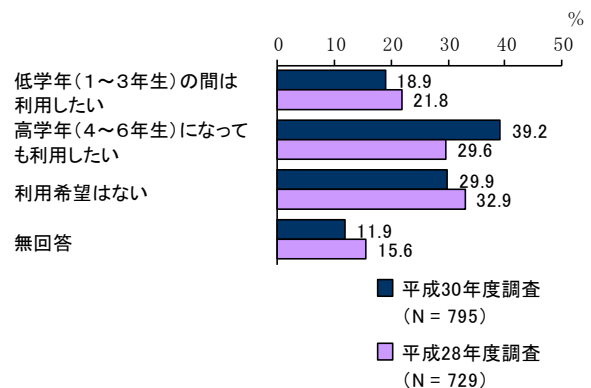


④ 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

(1) 利用希望

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が39.2%と最も高く、次いで「利用希望はない」の割合が29.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が18.9%となっています。

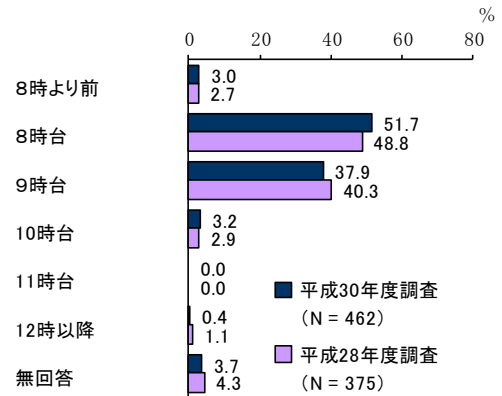
平成28年度調査と比較すると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が増加しています。



(2) 希望利用開始時間

「8時台」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 37.9%、「10時台」の割合が 3.2%となっています。

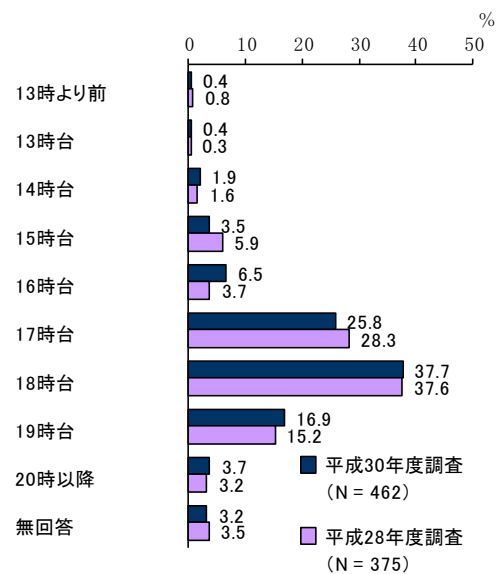
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 25.8%、「19時台」の割合が 16.9%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14 お子さんが小学校に入学したときに、心配なことは何でしたか。(それぞれに1つに○)

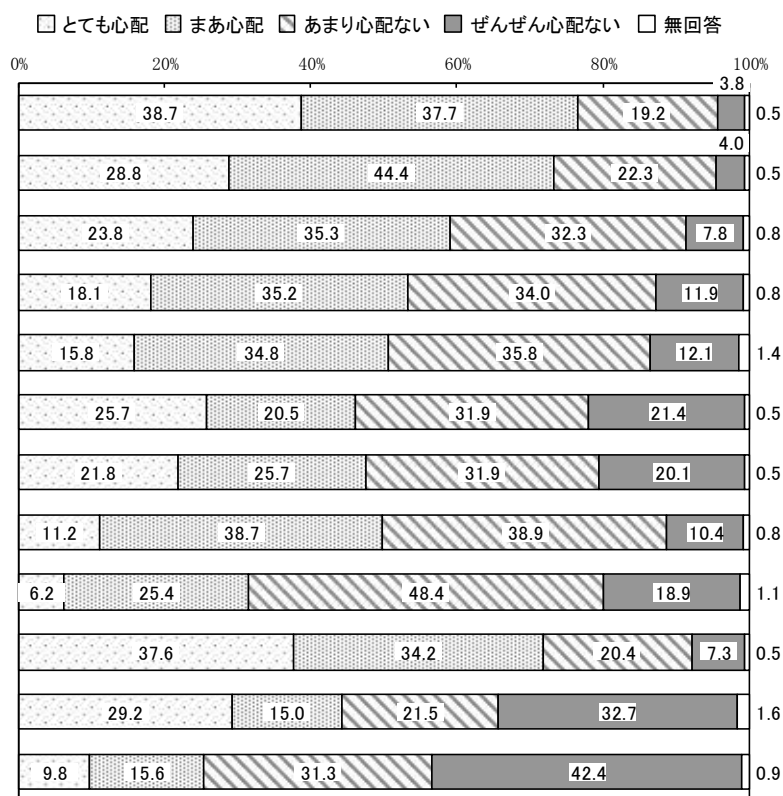
①通学の安全、②新しい生活にスムーズに移行できるか、⑩子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯で「とても心配」と「まあ心配」をあわせた“心配”の割合が高く、7割を超えています。また、⑨どのような習い事をさせたらよいか、⑫すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるかで「あまり心配ない」と「ぜんぜん心配ない」をあわせた“心配ない”の割合が高く、約7割となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【平成30年度調査】

N = 795

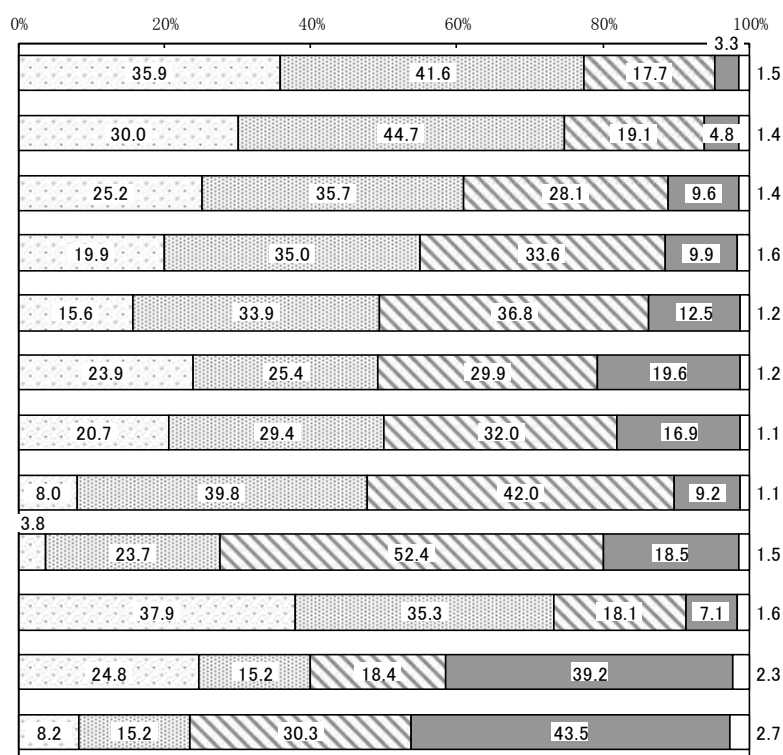
- ① 通学の安全
- ② 新しい生活にスムーズに移行できるか
- ③ 小学校で友だちができるか
- ④ 授業についていけるか
- ⑤ 小学校で身の回りのことが自分でできるか
- ⑥ 子どもの夏休みなど長期休み中の居場所
- ⑦ 子どもの放課後の居場所
- ⑧ 家庭内でどのような学習をさせたらよいか
- ⑨ どのような習い事をさせたらよいか
- ⑩ 子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯
- ⑪ 学童クラブに入所できるか
- ⑫ すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか



【平成28年度調査】

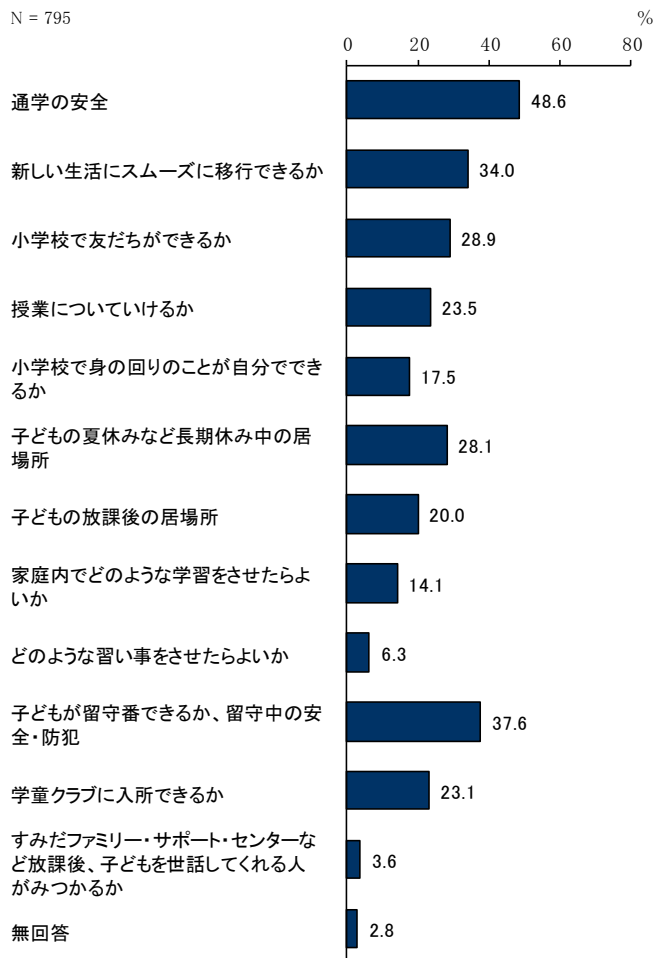
N = 795

- ① 通学の安全
- ② 新しい生活にスムーズに移行できるか
- ③ 小学校で友だちができるか
- ④ 授業についていけるか
- ⑤ 小学校で身の回りのことが自分でできるか
- ⑥ 子どもの夏休みなど長期休み中の居場所
- ⑦ 子どもの放課後の居場所
- ⑧ 家庭内でどのような学習をさせたらよいか
- ⑨ どのような習い事をさせたらよいか
- ⑩ 子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯
- ⑪ 学童クラブに入所できるか
- ⑫ すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか



問 15 問 14 の①～⑫の中で、特に心配と思う番号を3つご記入ください。

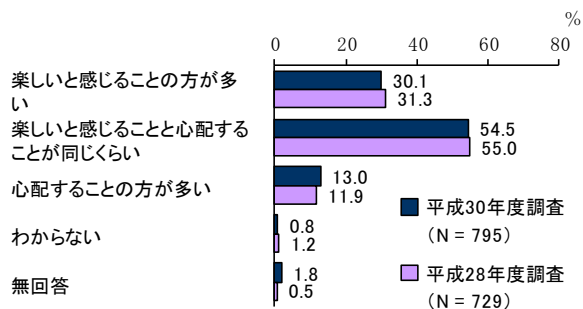
「通学の安全」の割合が48.6%と最も高く、次いで「子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯」の割合が37.6%、「新しい生活にスムーズに移行できるか」の割合が34.0%となっています。



問 16 子育てをどのように感じていますか。(1つに○)

「楽しいと感じることの方が多く、同じくらい」の割合が54.5%と最も高く、次いで「楽しいと感じることの方が多く」の割合が30.1%、「心配することの方が多く」の割合が13.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

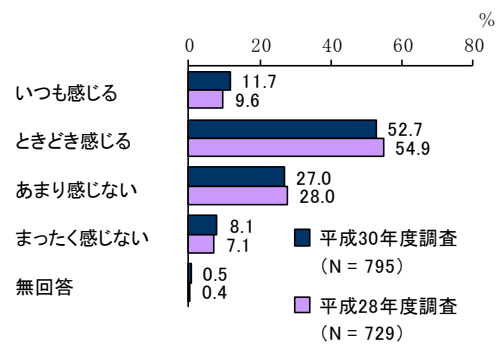


問 17 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか。
(①と②のそれぞれについて、1～4の1つに○)

①子育てに自信が持てないと感じることがある

「いつも感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じる”の割合が64.4%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が35.1%となっています。

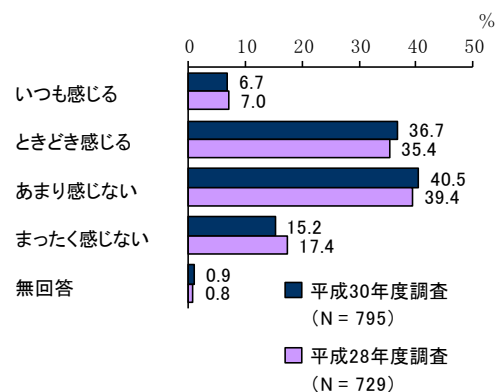
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②子育てに不安や孤独を感じることがある

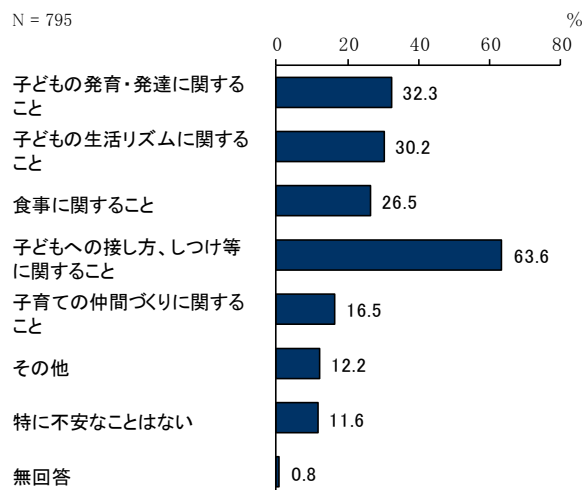
“感じる”の割合が43.4、“感じない”の割合が55.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 18 日ごろ感じる不安なことについて、教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「子どもへの接し方、しつけ等に関すること」の割合が63.6%と最も高く、次いで「子どもの発達に関すること」の割合が32.3%、「子どもの生活リズムに関すること」の割合が30.2%、「子どもの生活リズムに関すること」の割合が30.2%となっています。



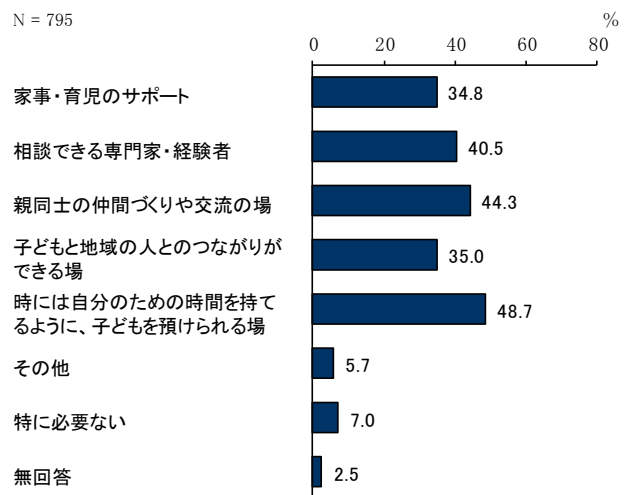
※主なその他意見

- ・進学について（学習面等）（24件）
- ・子どもの交友関係（13件）
- ・治安の悪化（11件）
- ・子どものアレルギー、ADHD、障害（10件）

問 19 不安感や孤立感を和らげるためにどんなことが必要ですか。（あてはまるもの3つに○）

「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「親同士の仲間づくりや交流の場」の割合が 44.3%、「相談できる専門家・経験者」の割合が 40.5%となっています。

N = 795



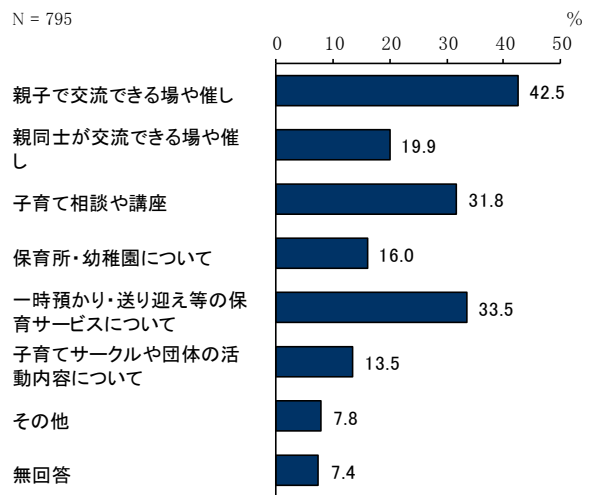
※主なその他意見

- ・家族のコミュニケーション（5件）
- ・男性の意識改革（4件）
- ・会社側のサポート体制（4件）
- ・24時間対応の相談や話を聞いてくれるような場・人（4件）

問 20 子育てに関してどのような情報を知りたいですか。（あてはまるものすべてに○）

「親子で交流できる場や催し」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「一時預かり・送り迎え等の保育サービスについて」の割合が 33.5%、「子育て相談や講座」の割合が 31.8%となっています。

N = 795



※主なその他意見

- ・病児病後児・一時預かり・送り迎え等の保育サービスについて（7件）
- ・学童に関する情報（6件）
- ・学校、PTAの情報（5件）
- ・雨天時、児童館（土、日、祝）が休みの時の遊び場（3件）

問 21 墨田区で行っている次のサービス等について、(1) 認知度、(2) 利用状況、利用したことがある方は、(3) の満足度にお答えください。

(1) 認知度

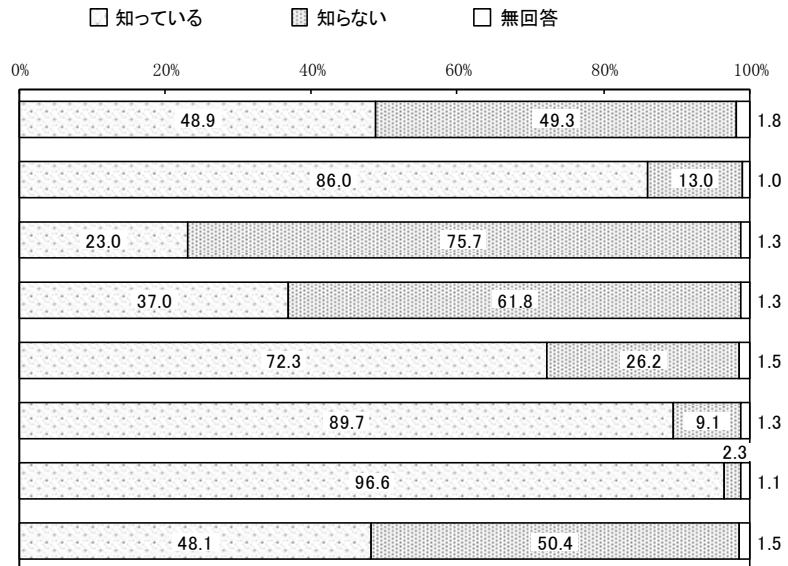
②図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習、⑥すみだ安全・安心メールで「知っている」の割合が高く、特に⑦児童館・コミュニティ会館で9割台半ばとなっています。

また、③すみだスクールサポートセンターで「知らない」の割合が高く、7割台半ばとなっています。

【平成30年度調査】

N = 795

- ① 教育相談室 親子電話相談
- ② 図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習
- ③ すみだスクールサポートセンター
- ④ すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)
- ⑤ すみだいきいき子育てガイドブック
- ⑥ すみだ安全・安心メール
- ⑦ 児童館・コミュニティ会館
- ⑧ 子育て支援総合センター



「知っている」と回答した人

平成 28 年度調査と比較すると、④すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)で「知っている」の認知度が高くなっている一方、⑧子育て支援総合センターで認知度が低くなっています。

単位：%

	①教育相談室 親子電話相談	②図書館・コミュニティ会館 図書室のお話し会、調べ学習	③すみだスクールサポートセンター	④すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)	⑤すみだいきいき子育てガイドブック	⑥すみだ安全・安心メール	⑦児童館・コミュニティ会館	⑧子育て支援総合センター
平成 30 年度調査	48.9	86.0	23.0	37.0	72.3	89.7	96.6	48.1
平成 28 年度調査	57.9	84.5	26.6	25.8	77.0	88.6	97.5	65.6

（２）利用状況

⑥すみだ安全・安心メール、⑦児童館・コミュニティ会館で「利用したことがある」の割合が高く、約８割となっています。

また、①教育相談室 親子電話相談で「利用したことはない」の割合が高く、７割台半ばとなっています。

【平成30年度調査】

N = 795

① 教育相談室 親子電話相談

② 図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習

③ すみだスクールサポートセンター

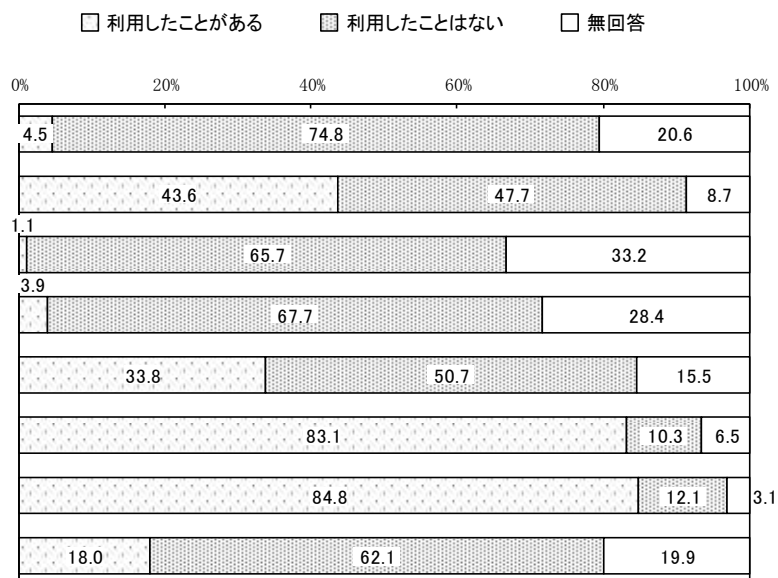
④ すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」
(墨田区訪問型保育支援事業)

⑤ すみだいきいき子育てガイドブック

⑥ すみだ安全・安心メール

⑦ 児童館・コミュニティ会館

⑧ 子育て支援総合センター



「利用したことがある」と回答した人

平成 28 年度調査と比較すると、⑤すみだいきいき子育てガイドブック、⑧子育て支援総合センターで利用した割合が低くなっています。

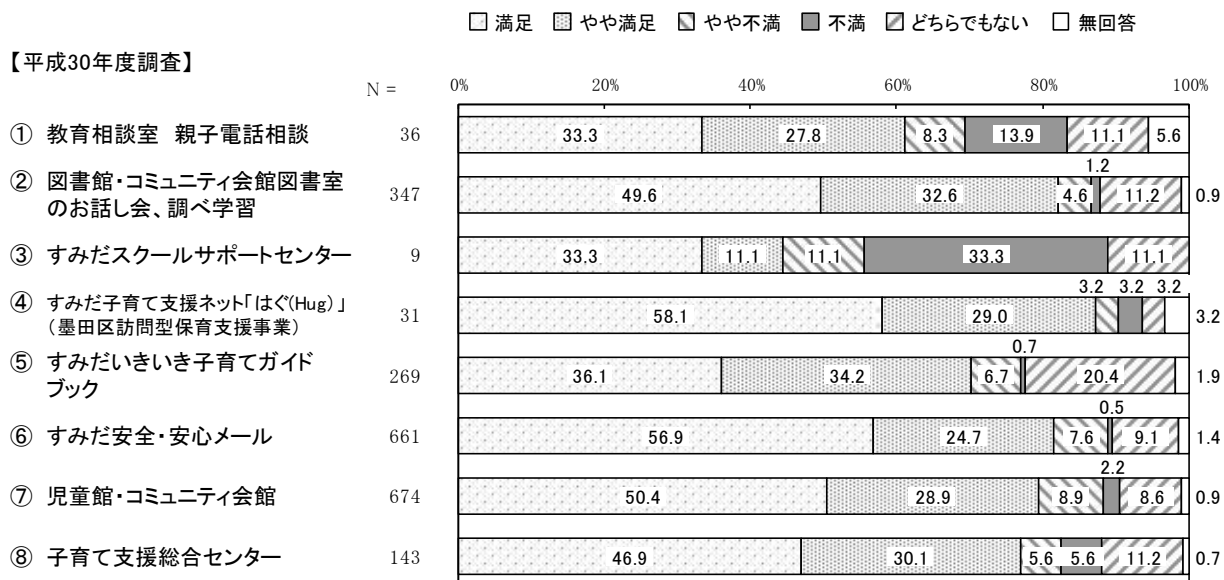
単位：％

	① 教育相談室 親子電話相談	② 図書館・コミュニティ会館 図書室のお話し会、調べ学習	③ すみだスクールサポートセンター	④ すみだ子育て支援ネット 「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型 保育支援事業)	⑤ すみだいきいき子育てガイドブック	⑥ すみだ安全・安心メール	⑦ 児童館・コミュニティ会館	⑧ 子育て支援総合センター
平成 30 年度調査	4.5	43.6	1.1	3.9	33.8	83.1	84.8	18.0
平成 28 年度調査	4.8	43.5	1.5	2.7	47.3	81.6	86.6	26.3

（３）満足度

②図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習、④すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)、⑥すみだ安全・安心メールで「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、特に④すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)で約9割となっています。

また、①教育相談室 親子電話相談で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、約2割となっています。



“満足”と回答した人

平成 28 年度調査と比較すると、③すみだスクールサポートセンター。④すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)、⑤すみだいきいき子育てガイドブックで満足度が低くなっているものの、その他の項目では満足度が高くなっています。

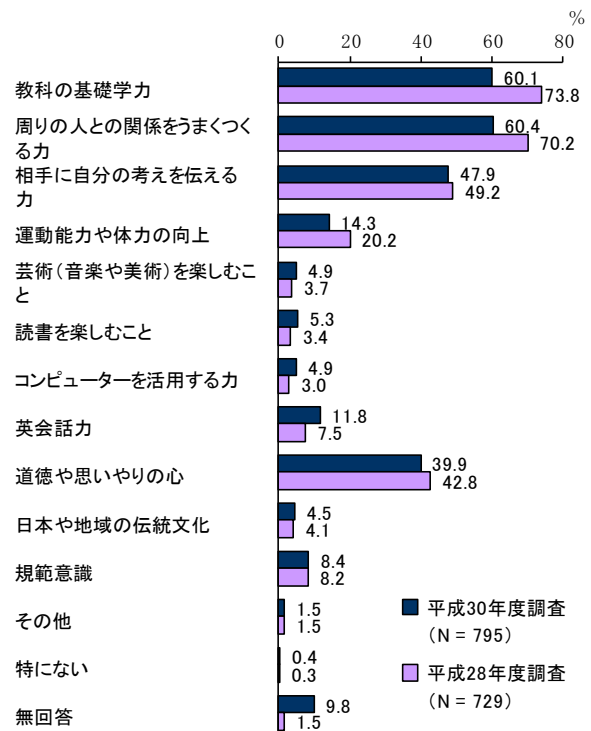
単位：％

	①教育相談室 親子電話相談	②図書館・コミュニティ会館 図書室のお話し会、調べ学習	③すみだスクールサポートセンター	④すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)	⑤すみだいきいき子育てガイドブック	⑥すみだ安全・安心メール	⑦児童館・コミュニティ会館	⑧子育て支援総合センター
平成 30 年度調査	33.3	49.6	33.3	58.1	36.1	56.9	50.4	46.9
平成 28 年度調査	25.7	41.6	36.4	65.0	41.4	41.4	35.5	37.5

問 22 学校教育の場で身につけてほしいことは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「周りの人との関係をうまくつくる力」の割合が60.4%と最も高く、次いで「教科の基礎学力」の割合が60.1%、「相手に自分の考えを伝える力」の割合が47.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「教科の基礎学力」「周りの人との関係をうまくつくる力」「運動能力や体力の向上」の割合が減少しています。



問 23 小学生のお子さんを育てていくうえで、墨田区の環境をどのように感じていますか。
(①～⑱のそれぞれについて、1～4の1つに○)

①子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している、②子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されているで「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。

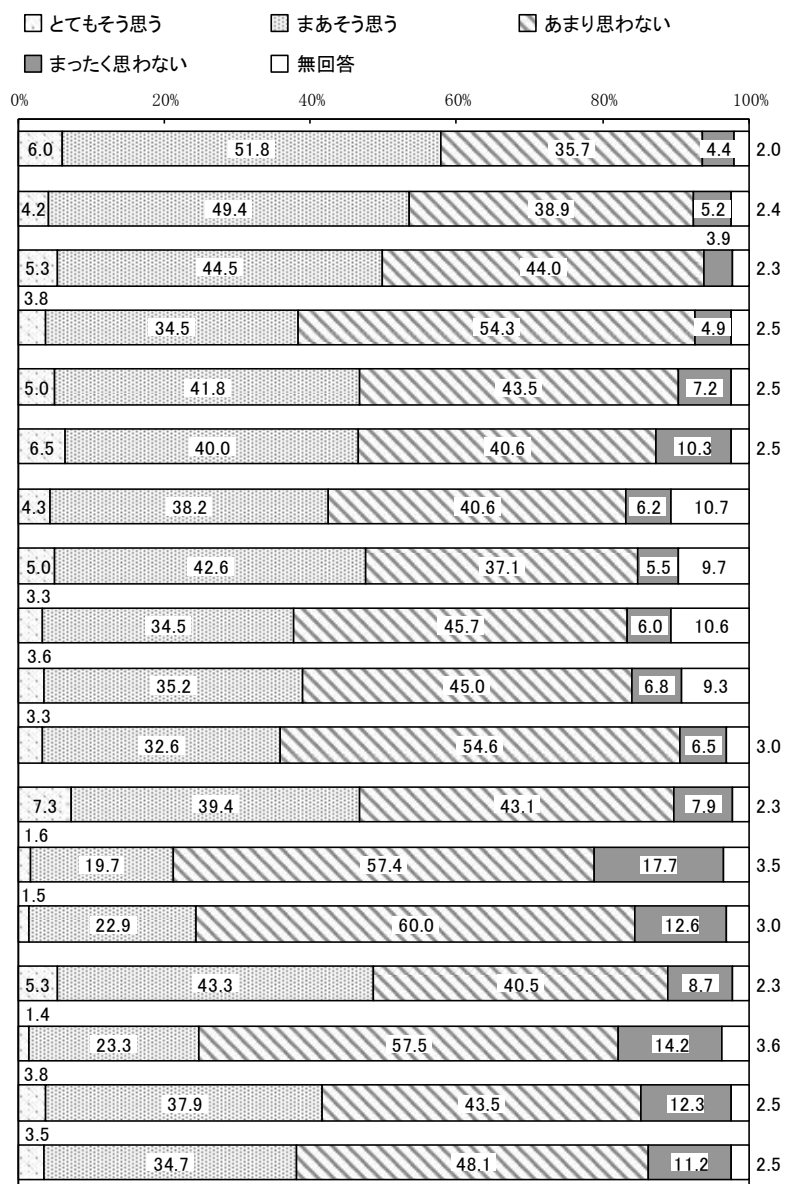
また、⑬企業等の子育て力が育成されてきている、⑭個々のニーズに即した子育て支援ネットワークが構築されている、⑯ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが推進されているで「あまり思わない」と「まったく思わない」をあわせた“思わない”の割合が高く、7割を超えています。

平成 28 年度調査と比較すると、③子どもの心とからだの健康づくりが充実しているで“そう思う”の割合が増加しているとともに、②子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されている、③子どもの心とからだの健康づくりが充実している、④親と子の健康づくりが充実している、⑥認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育事業が充実しているで“そう思わない”の割合が減少しています。また、⑫子育てを協力・支えあえる地域のつながりがあるで“そう思わない”の割合が増加しています。

【平成30年度調査】

N = 795

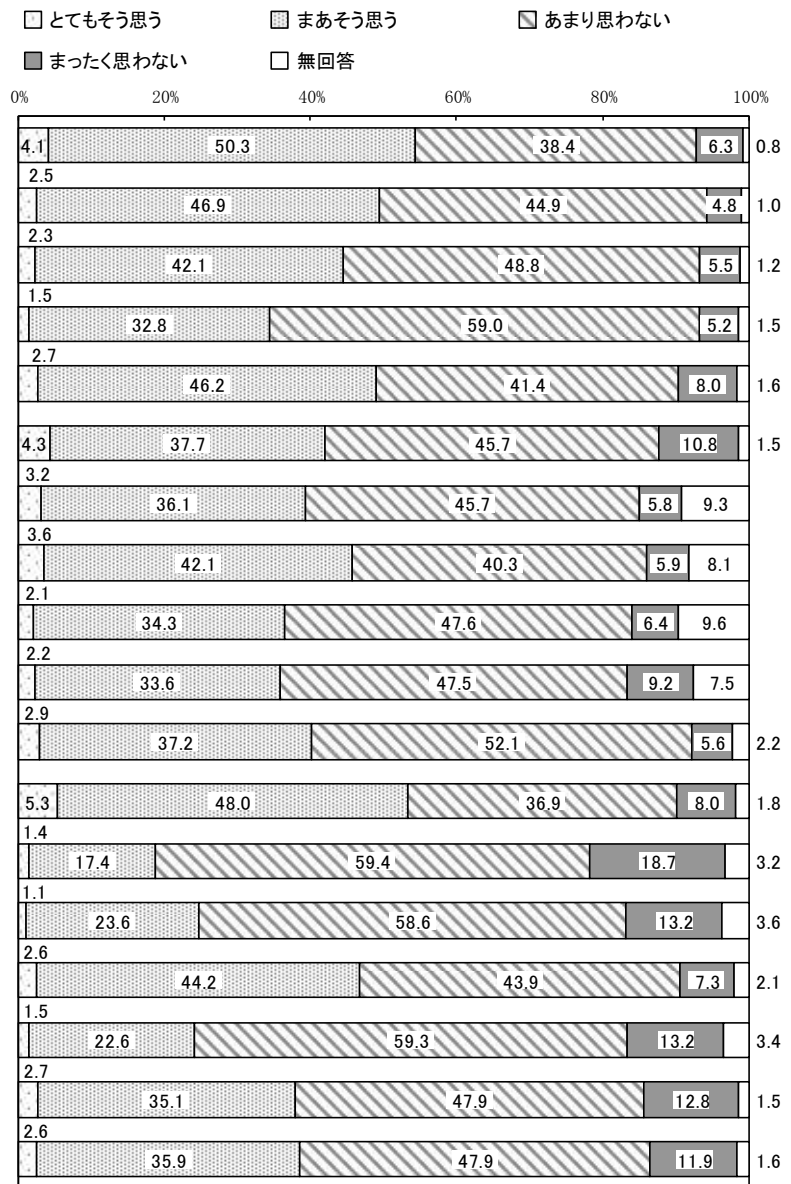
- ① 子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している
- ② 子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されている
- ③ 子どもの心とからだの健康づくりが充実している
- ④ 親と子の健康づくりが充実している
- ⑤ 子育て支援サービスが充実している
- ⑥ 認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育事業が充実している
- ⑦ ひとり親家庭等への支援が整っている
- ⑧ 障害のある子どもの発達と成長の支援が整っている
- ⑨ 保護が必要な子どもとその家庭への支援が整っている
- ⑩ 子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援が整っている
- ⑪ 親同士のつながりと子育て力が育成されてきている
- ⑫ 子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある
- ⑬ 企業等の子育て力が育成されてきている
- ⑭ 個々のニーズに即した子育て支援ネットワークが構築されている
- ⑮ 子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている
- ⑯ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが推進されている
- ⑰ 子育てにやさしいまちづくりが推進されている
- ⑱ 子育て家庭の視点に立った情報が発信されている



【平成28年度調査】

N = 729

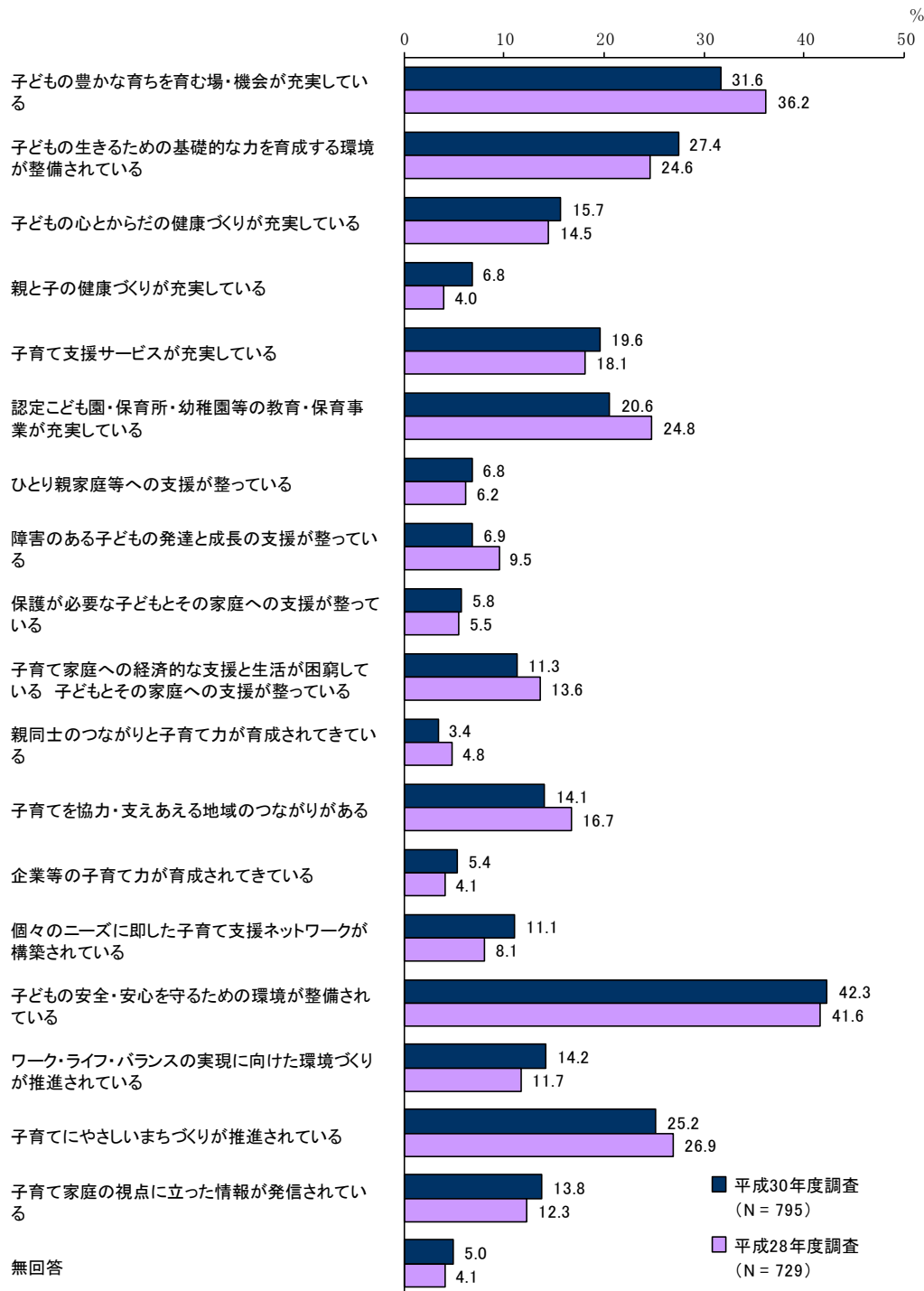
- ① 子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している
- ② 子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されている
- ③ 子どもの心とからだの健康づくりが充実している
- ④ 親と子の健康づくりが充実している
- ⑤ 子育て支援サービスが充実している
- ⑥ 認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育事業が充実している
- ⑦ ひとり親家庭等への支援が整っている
- ⑧ 障害のある子どもの発達と成長の支援が整っている
- ⑨ 保護が必要な子どもとその家庭への支援が整っている
- ⑩ 子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援が整っている
- ⑪ 親同士のつながりと子育て力が育成されてきている
- ⑫ 子育てを協力・支えあえる地域のつながりがある
- ⑬ 企業等の子育て力が育成されてきている
- ⑭ 個々のニーズに即した子育て支援ネットワークが構築されている
- ⑮ 子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている
- ⑯ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが推進されている
- ⑰ 子育てにやさしいまちづくりが推進されている
- ⑱ 子育て家庭の視点に立った情報が発信されている



問 24 問 23 の①～⑱の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を3つご記入ください。

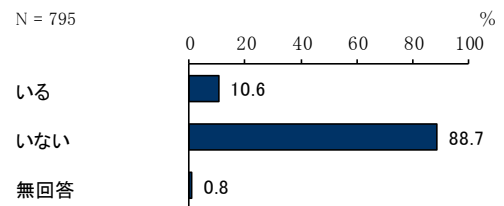
「子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている」の割合が42.3%と最も高く、次いで「子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している」の割合が31.6%、「子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されている」の割合が27.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、



問 25 ご家族の中に、高齢・障害・病気などで、介護が必要な方はいらっしゃいますか。
(1つに○)

「いる」の割合が 10.6%、「いない」の割合が 88.7%となっています。

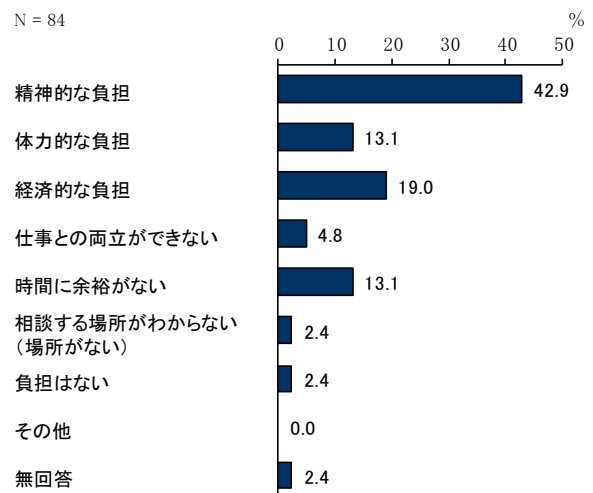


問 25 で「いる」に○をつけた方にうかがいます。

問 26 子育てと高齢・障害・病気などに対する介護を、同時に進行していることによる負担は何ですか。(あてはまるものから、順に3つ)

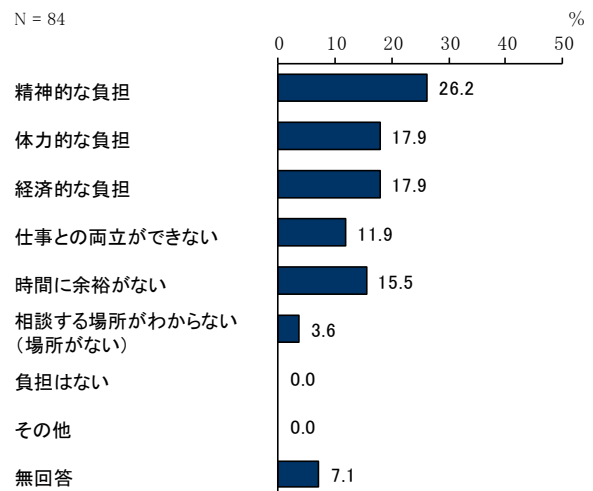
第 1 位

「精神的な負担」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「経済的な負担」の割合が 19.0%、「体力的な負担」、「時間に余裕がない」の割合が 13.1%となっています。



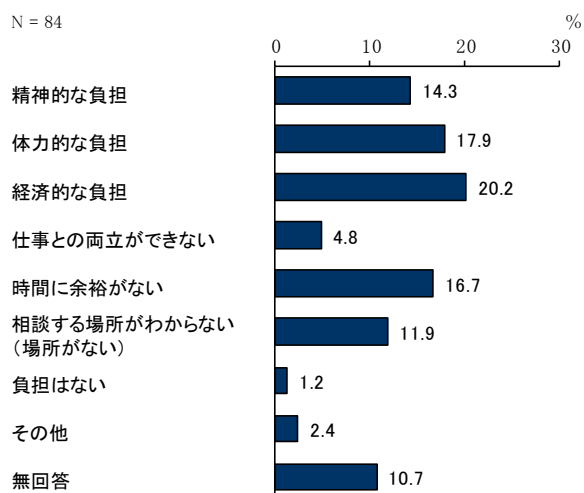
第 2 位

「精神的な負担」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「体力的な負担」、「経済的な負担」の割合が 17.9%となっています。



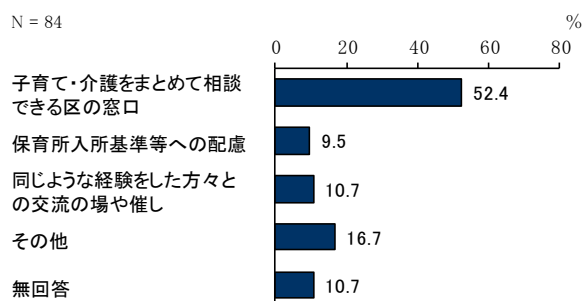
第3位

「経済的な負担」の割合が20.2%と最も高く、次いで「体力的な負担」の割合が17.9%、「時間に余裕がない」の割合が16.7%となっています。



問27 区に配慮してほしいことは何ですか。(1つに○)

「子育て・介護をまとめて相談できる区の窓口」の割合が52.4%と最も高く、次いで「同じような経験をした方々との交流の場や催し」の割合が10.7%、「保育所入所基準等への配慮」の割合が9.5%となっています。

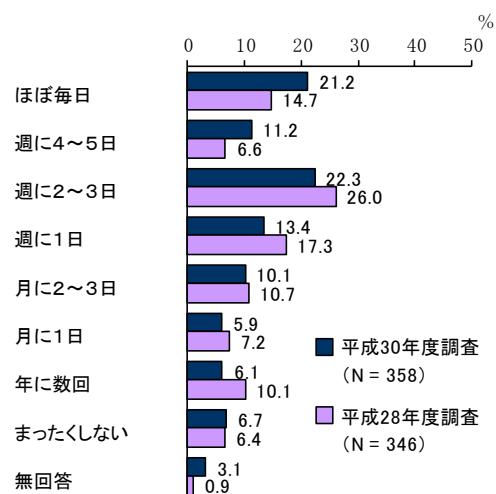


小学4年生以上の方、ご本人がお答えください。

問 28 そうじ・洗たく・食事のしたく・買物など、家の用事をどのくらい手伝っていますか。
(1つに○)

「週に2～3日」の割合が22.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が21.2%、「週に1日」の割合が13.4%となっています。

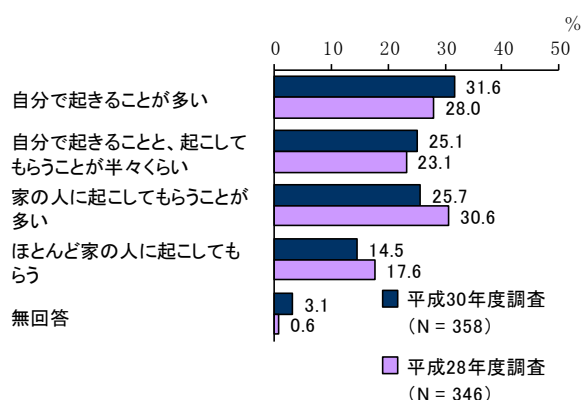
平成28年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が増加しています。



問 29 朝は自分で起きられますか。(1つに○)

「自分で起きることが多い」の割合が31.6%と最も高く、次いで「家の人に起こしてもらうことが多い」の割合が25.7%、「自分で起きることと、起こしてもらうことが半々くらい」の割合が25.1%となっています。

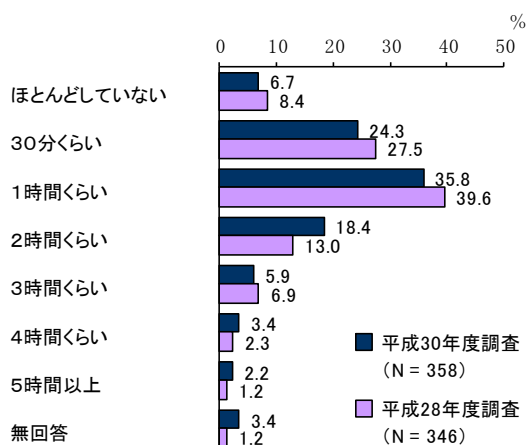
平成28年度調査と比較すると、「大きな変化はみられません。」



問 30 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか。(1つに○)

「1時間くらい」の割合が35.8%と最も高く、次いで「30分くらい」の割合が24.3%、「2時間くらい」の割合が18.4%となっています。

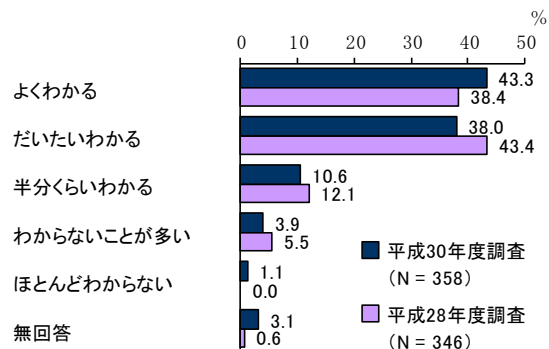
平成28年度調査と比較すると、「2時間くらい」の割合が増加しています。



問 31 学校の授業は、わかりますか。(1つに○)

「よくわかる」の割合が43.3%と最も高く、次いで「だいたいわかる」の割合が38.0%、「半分くらいわかる」の割合が10.6%となっています。

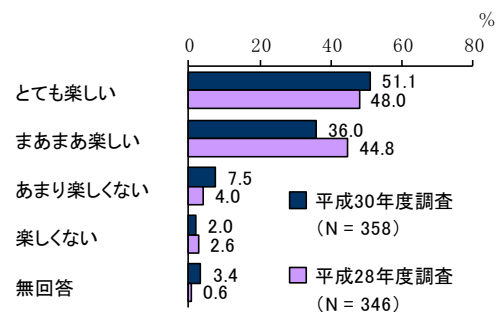
平成28年度調査と比較すると、「だいたいわかる」の割合が減少しています。



問 32 学校は楽しいですか。(1つに○)

「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が87.1%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が9.5%となっています。

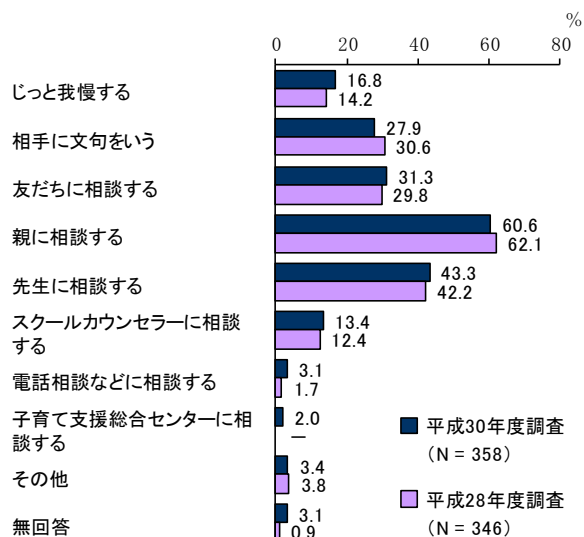
平成28年度調査と比較すると、「まあまあ楽しい」の割合が減少しています。



問 33 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)

「親に相談する」の割合が60.6%と最も高く、次いで「先生に相談する」の割合が43.3%、「友だちに相談する」の割合が31.3%となっています。

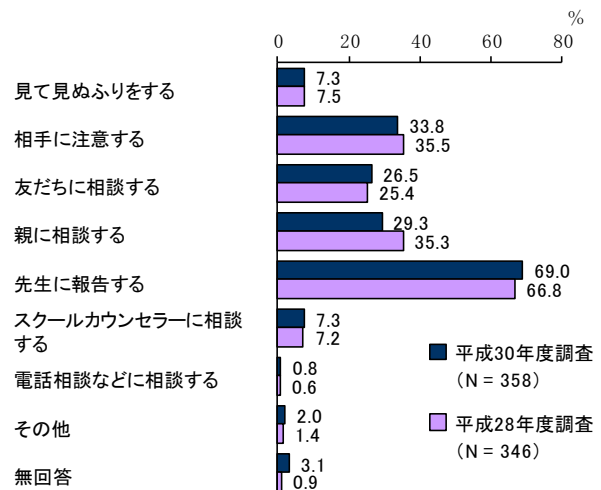
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 34 もし、あなたがいじめを目撃したらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)

「先生に報告する」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「相手に注意する」の割合が 33.8%、「親に相談する」の割合が 29.3%となっています。

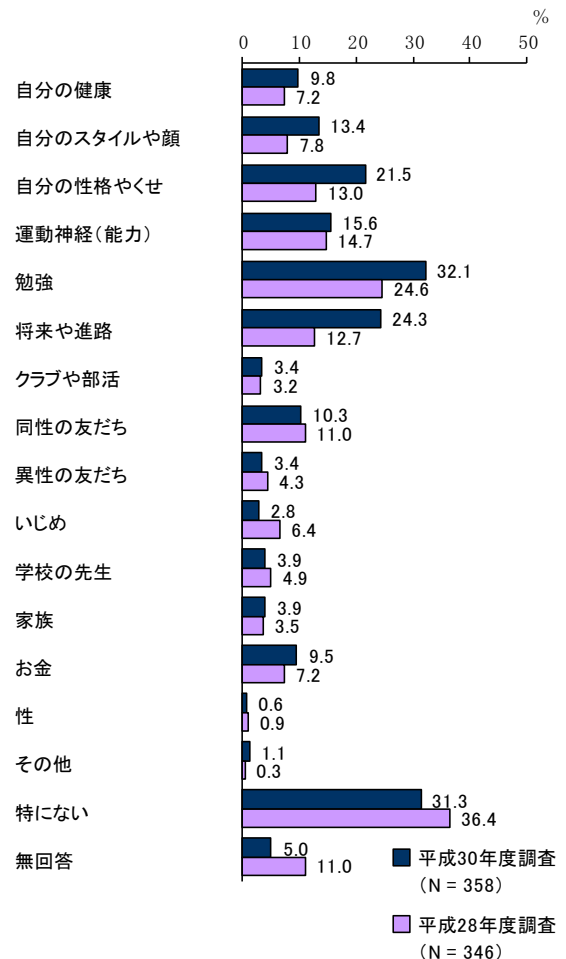
平成 28 年度調査と比較すると、「親に相談する」の割合が減少しています。



問 35 なやみや心配なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「勉強」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 31.3%、「将来や進路」の割合が 24.3%となっています。

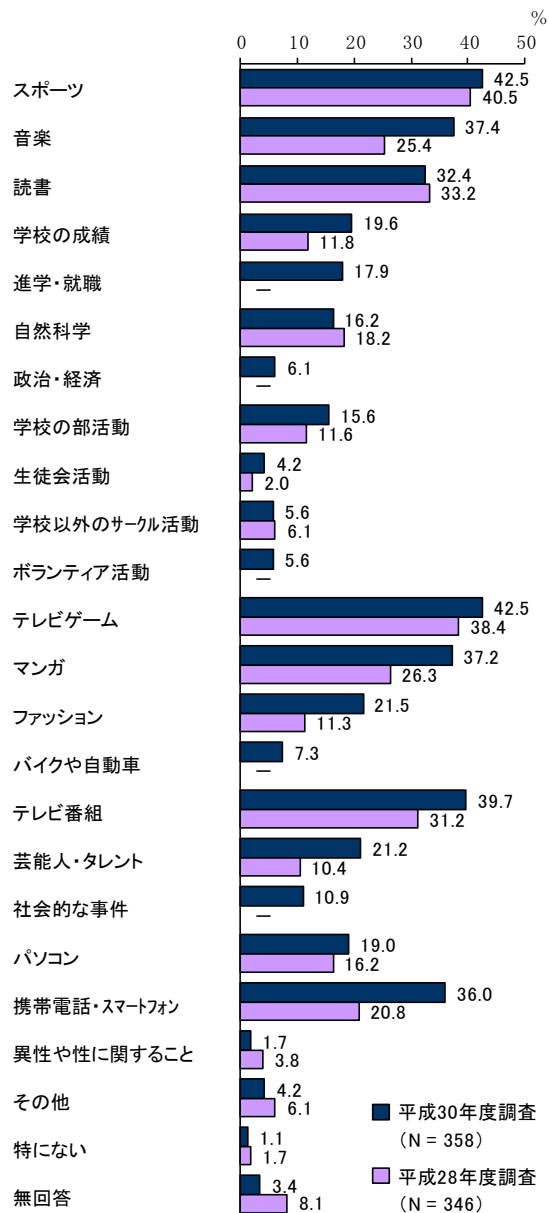
平成 28 年度調査と比較すると、「自分のスタイルや顔」「自分の性格やくせ」「勉強」「将来や進路」の割合が増加し、「特にない」の割合が減少しています。



問 36 どのようなことに関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「スポーツ」、「テレビゲーム」の割合が42.5%と最も高く、次いで「テレビ番組」の割合が39.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「音楽」「学校の成績」「進学・就職」「政治・経済」「マンガ」「ファッション」「テレビ番組」「芸能人・タレント」「携帯電話・スマートフォン」の割合が増加しています。

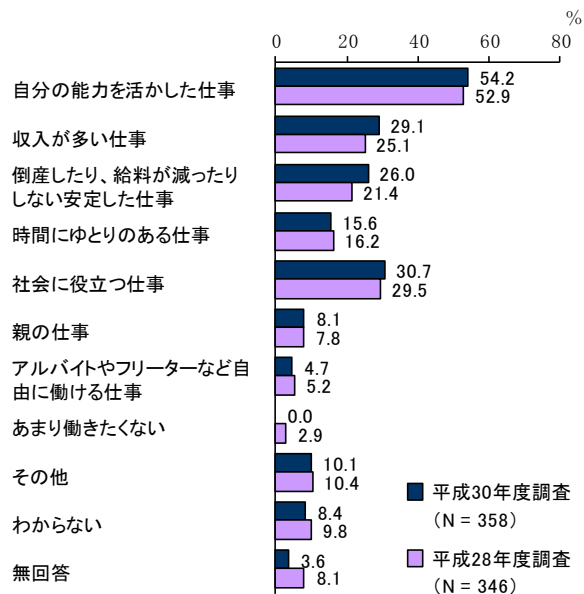


※平成 28 年度調査には、「ボランティア活動」「バイクや自動車」「社会的な事件」の選択肢はありません。

問 37 将来、どんな仕事につきたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の能力を活かした仕事」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「社会に役立つ仕事」の割合が 30.7%、「収入が多い仕事」の割合が 29.1%となっています。

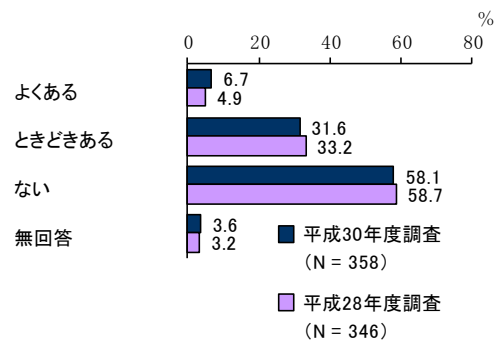
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 38 この1年間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思ったことがありますか。(1つに○)

「ない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が 31.6%、「よくある」の割合が 6.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

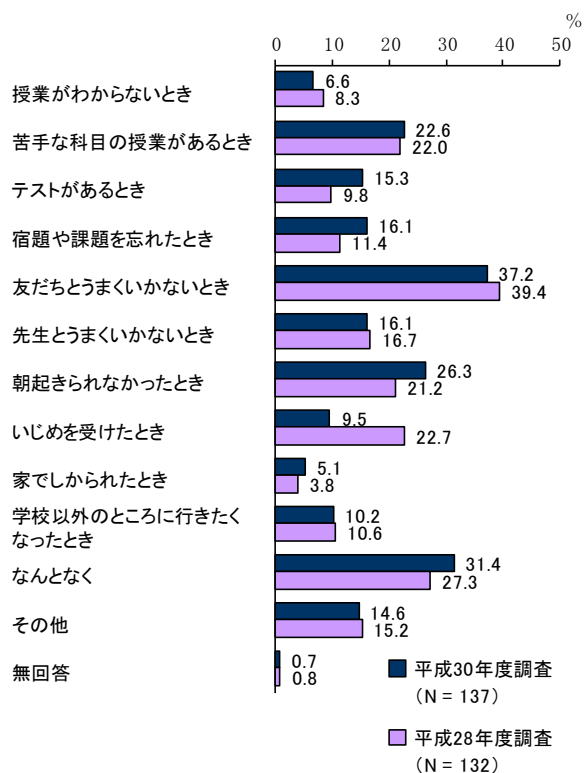


問 38 で「よくある」「ときどきある」に○をつけた方にうかがいます。

問 39 学校に行きたくないと思うのはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)

「友だちとうまくいかないとき」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「なんとなく」の割合が 31.4%、「朝起きられなかったとき」の割合が 26.3%となっています。

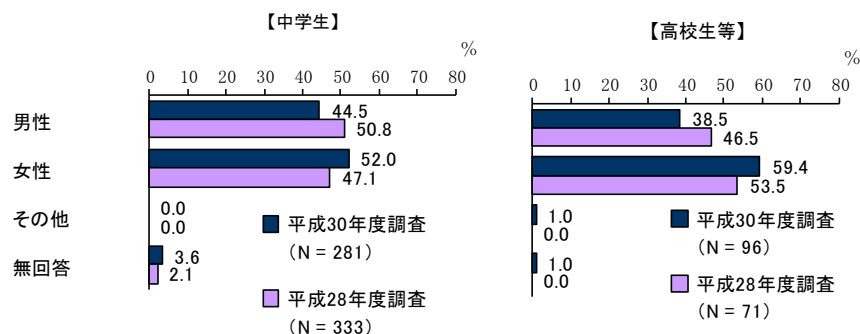
平成 28 年度調査と比較すると、「テストがあるとき」「朝起きられなかったとき」の割合が増加し、「いじめを受けたとき」の割合が減少しています。



Ⅳ 「成人前」調査結果

問1 性別をお答えください。

中学生では、「男性」の割合が44.5%、「女性」の割合が52.0%となっています。
高校生等では、「男性」の割合が38.5%、「女性」の割合が59.4%となっています。



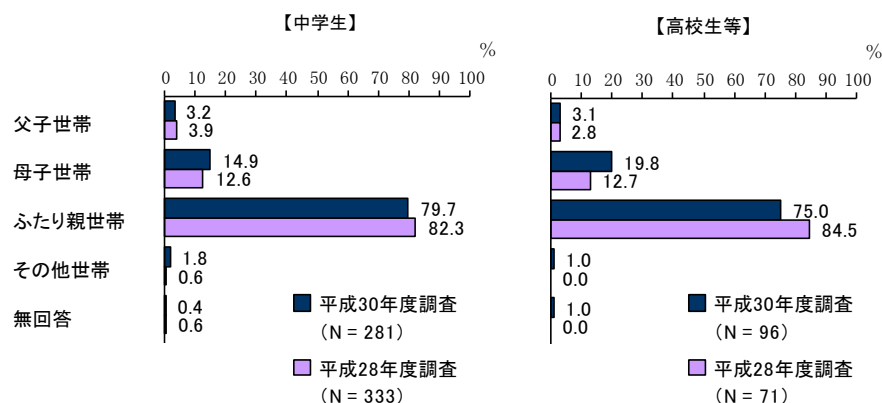
問2 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「ふたり親世帯」の割合が79.7%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が14.9%、「父子世帯」の割合が3.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生等では、「ふたり親世帯」の割合が75.0%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が19.8%、「父子世帯」の割合が3.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「母子世帯」の割合が増加しています。

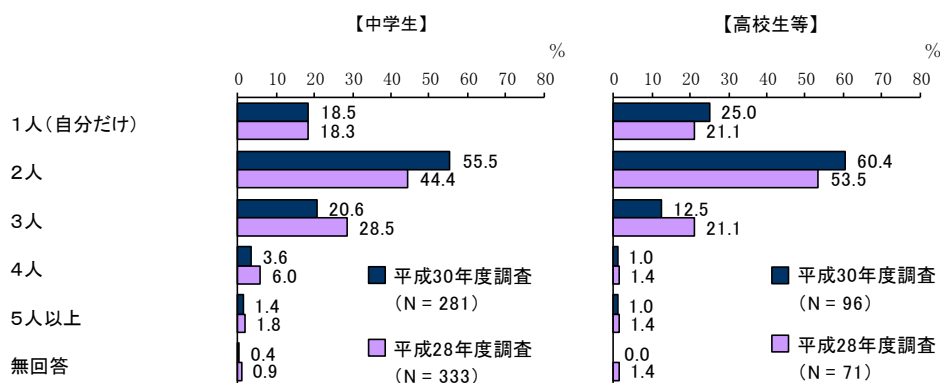


問3 兄弟姉妹についてお答えください。(1つに○)

中学生では、「2人」の割合が55.5%と最も高く、次いで「3人」の割合が20.6%、「1人(自分だけ)」の割合が18.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加し、「3人」の割合が減少しています。

高校生等では、「2人」の割合が60.4%と最も高く、次いで「1人(自分だけ)」の割合が25.0%、「3人」の割合が12.5%となっています。



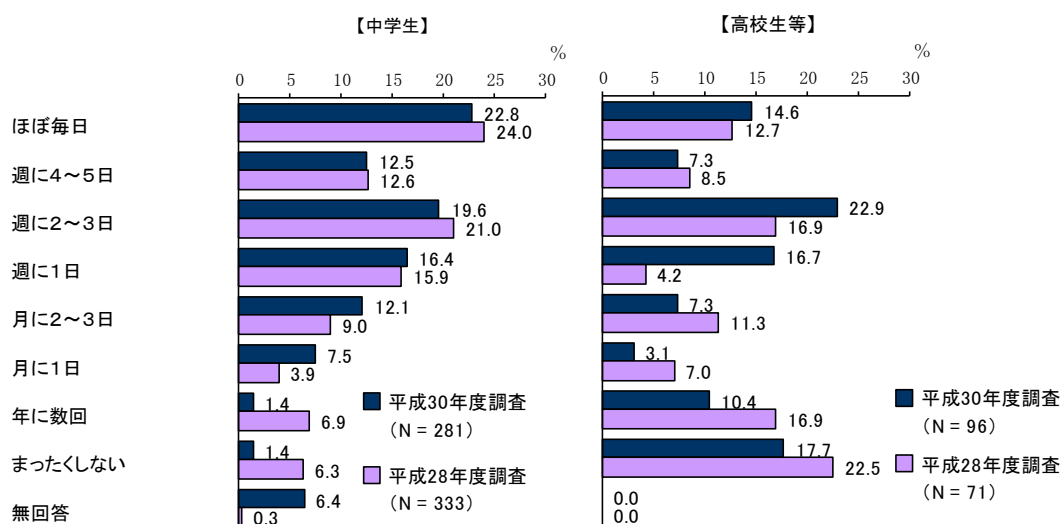
問4 そうじ・洗たく・食事のしたく・買物など、家の用事をどの程度していますか。(1つに○)

中学生では、「ほぼ毎日」の割合が22.8%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が19.6%、「週に1日」の割合が16.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「年に数回」の割合が減少しています。

高校生等では、「週に2～3日」の割合が22.9%と最も高く、次いで「まったくしない」の割合が17.7%、「週に1日」の割合が16.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「週に2～3日」「週に1日」の割合が増加し、「年に数回」の割合が減少しています。



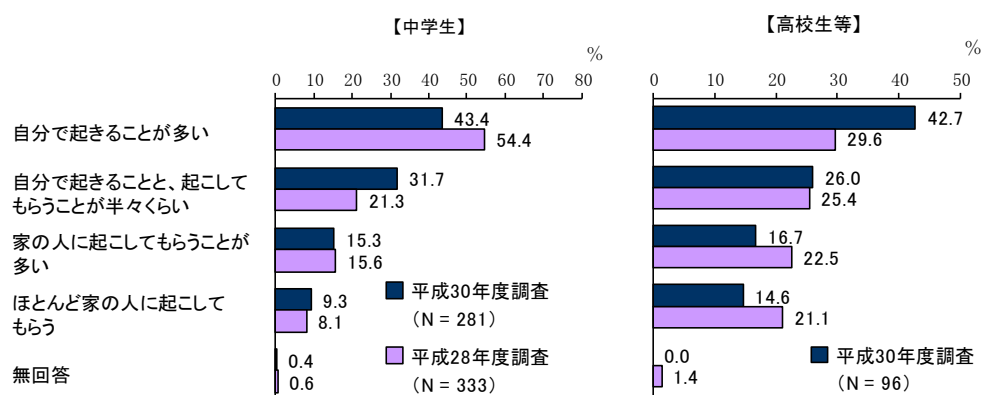
問5 朝は自分で起きられますか（1つに○）。

中学生では、「自分で起きることが多い」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「自分で起きることと、起こしてもらうことが半々くらい」の割合が 31.7%、「家の人に起こしてもらうことが多い」の割合が 15.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分で起きることが多い」の割合が減少し、「自分で起きることと、起こしてもらうことが半々くらい」の割合が増加しています。

高校生等では、「自分で起きることが多い」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「自分で起きることと、起こしてもらうことが半々くらい」の割合が 26.0%、「家の人に起こしてもらうことが多い」の割合が 16.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分で起きることが多い」の割合が増加し、「家の人に起こしてもらうことが多い」「ほとんど家の人に起こしてもらう」の割合が減少しています。



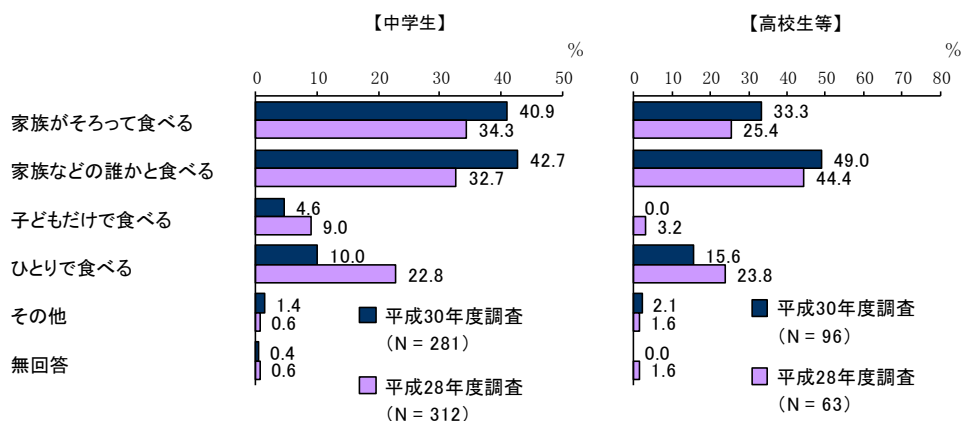
問6 家での食事は、どのように食べることが多いですか（もっとも近いもの1つに○）。

中学生では、「家族などの誰かと食べる」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「家族がそろって食べる」の割合が 40.9%、「ひとりで食べる」の割合が 10.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「家族がそろって食べる」「家族などの誰かと食べる」の割合が増加し、「ひとりで食べる」の割合が減少しています。

高校生等では、「家族などの誰かと食べる」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「家族がそろって食べる」の割合が 33.3%、「ひとりで食べる」の割合が 15.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「家族がそろって食べる」の割合が増加し、「ひとりで食べる」の割合が減少しています。



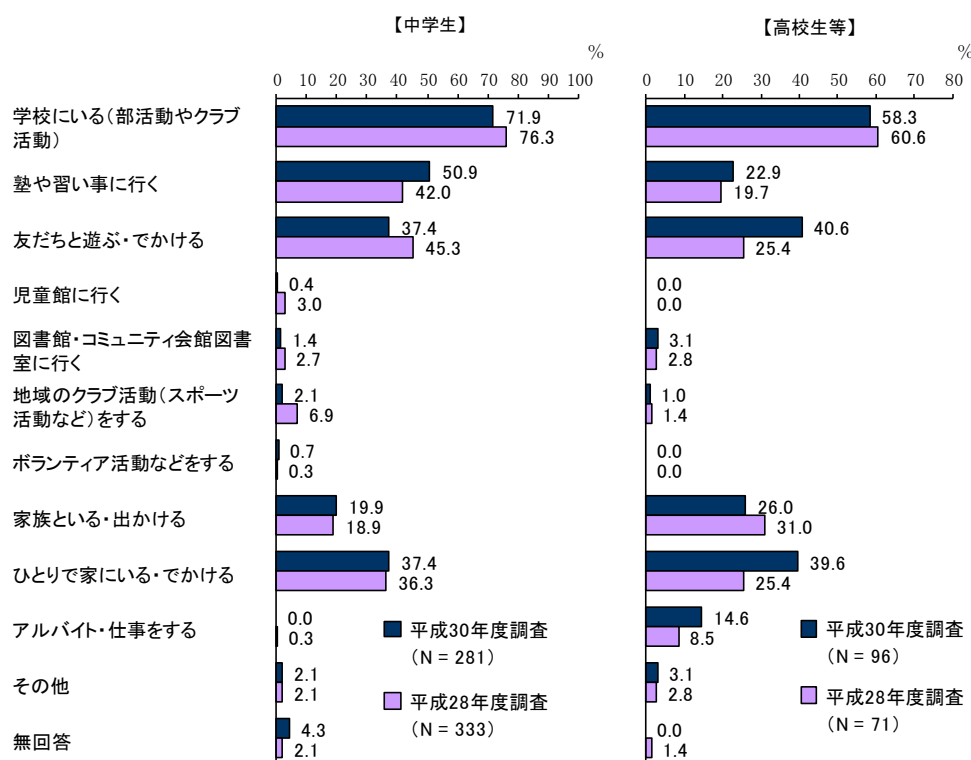
問7 月曜日から金曜日の放課後、何をする人が多いですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

中学生では、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」の割合が71.9%と最も高く、次いで「塾や習い事に行く」の割合が50.9%、「友だちと遊ぶ・でかける」、「ひとりで家にいる・でかける」の割合が37.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「塾や習い事に行く」の割合が増加し、「友だちと遊ぶ・でかける」の割合が減少しています。

高校生等では、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」の割合が58.3%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ・でかける」の割合が40.6%、「ひとりで家にいる・でかける」の割合が39.6%となっています。

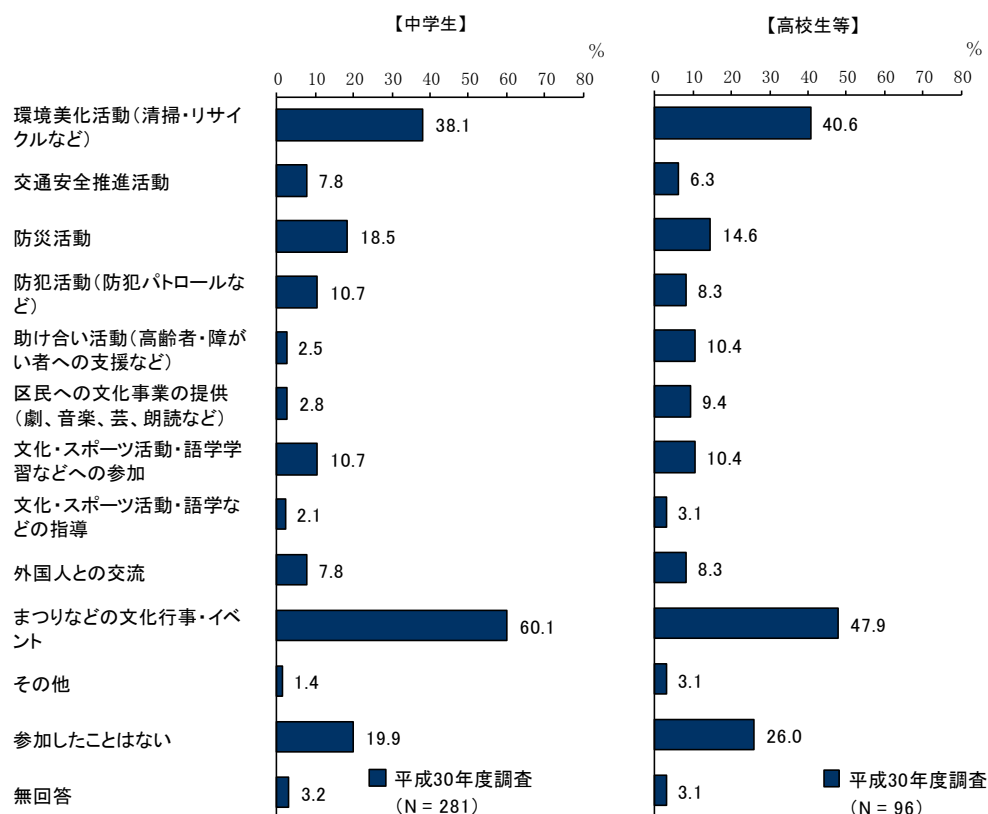
平成28年度調査と比較すると、「友だちと遊ぶ・でかける」「ひとりで家にいる・でかける」「アルバイト・仕事をする」の割合が増加し、「家族といる・出かける」の割合が減少しています。



問8 参加したことがある地域活動やボランティア活動はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「まつりなどの文化行事・イベント」の割合が60.1%と最も高く、次いで「環境美化活動（清掃・リサイクルなど）」の割合が38.1%、「参加したことはない」の割合が19.9%となっています。

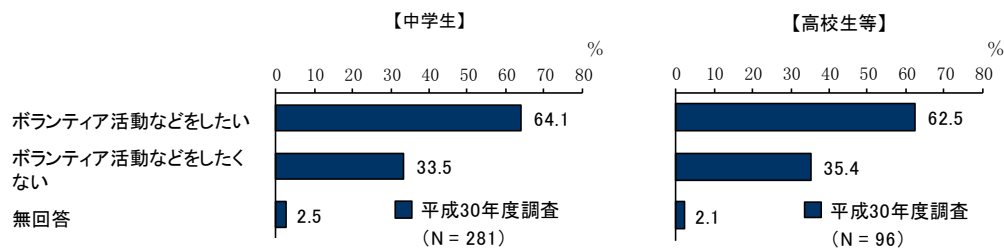
高校生等では、「まつりなどの文化行事・イベント」の割合が47.9%と最も高く、次いで「環境美化活動（清掃・リサイクルなど）」の割合が40.6%、「参加したことはない」の割合が26.0%となっています。



**問9 あなたが成人になったときに、地域活動やボランティア活動をしますか。
(1つに○) その理由もお教えてください。**

中学生では、「ボランティア活動などをしたい」の割合が64.1%、「ボランティア活動などをしたくない」の割合が33.5%となっています。

高校生等では、「ボランティア活動などをしたい」の割合が62.5%、「ボランティア活動などをしたくない」の割合が35.4%となっています。



【中学生】

※「ボランティア活動などをしたい」主な意見

- ・ 誰かの役に立ちたいから (39 件)
- ・ よりよい地域にしたいから (32 件)
- ・ 困っている人を助けたい (21 件)
- ・ たくさんの人との交流をしてみたいから (9 件)
- ・ いろいろな経験をしたいから (8 件)

※「ボランティア活動などをしたくない」主な意見

- ・ 面倒くさいから (14 件)
- ・ 忙しいから (11 件)
- ・ 自分の時間を大切にしたい (7 件)
- ・ 好きではないから (6 件)
- ・ 仕事をしたいから (6 件)

【高校生等】

※「ボランティア活動などをしたい」主な意見

- ・ 地域のために何か活動してみたい (18 件)
- ・ 人の役に立ちたい (12 件)
- ・ オリンピック (6 件)
- ・ たくさんの人と関わりたい (6 件)

※「ボランティア活動などをしたくない」主な意見

- ・ 忙しいから (9 件)
- ・ 面倒くさいから (7 件)
- ・ 興味がない (3 件)
- ・ 大変そうだから (3 件)

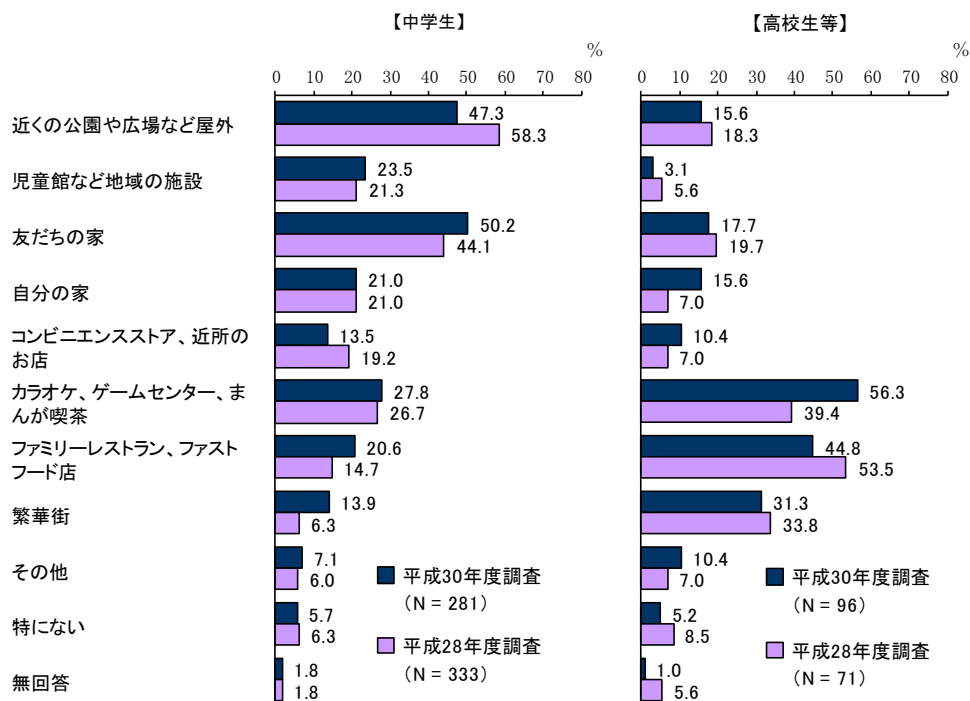
問 10 友だちと遊んだり、でかけたりするところはどこが多いですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

中学生では、「友だちの家」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「近くの公園や広場など屋外」の割合が 47.3%、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が 27.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「近くの公園や広場など屋外」「コンビニエンスストア、近所のお店」の割合が減少し、「友だちの家」「ファミリーレストラン、ファストフード店」「繁華街」の割合が増加しています。

高校生等では、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が 44.8%、「繁華街」の割合が 31.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分の家」「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が増加し、「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が減少しています。



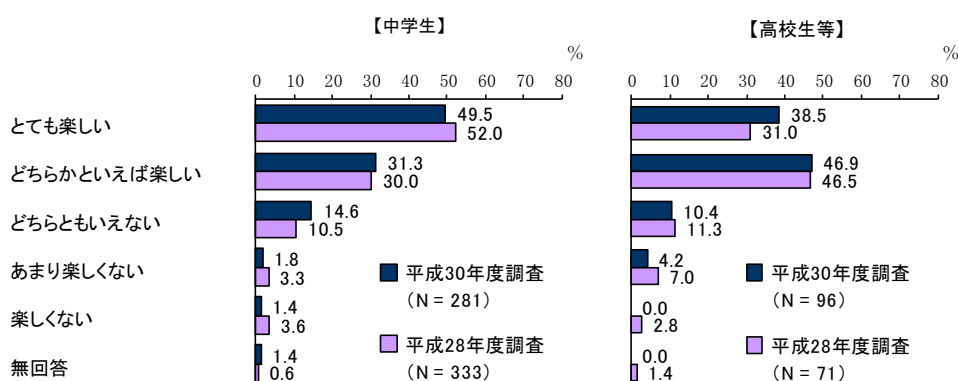
問 11 現在、学校や家庭などを含めて、生活は楽しいですか。(1つに○)

中学生では、「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が80.8%、「どちらともいえない」の割合が14.6%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が3.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生等では、“楽しい”の割合が85.4%、「どちらともいえない」の割合が10.4%、“楽しくない”の割合が4.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、“楽しい”の割合が増加し、“楽しくない”の割合が減少しています。



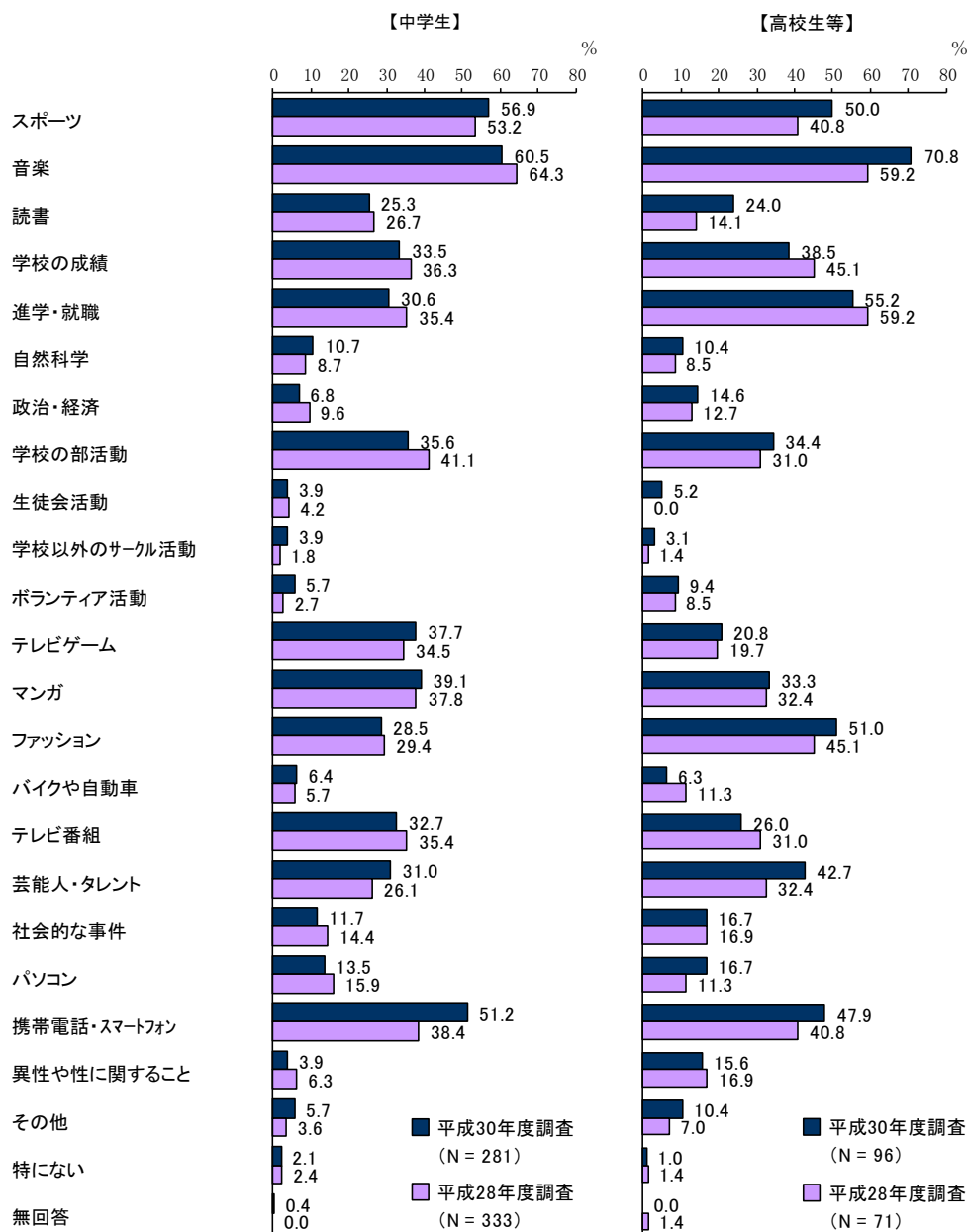
問 12 どのようなことに興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「音楽」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「スポーツ」の割合が 56.9%、「携帯電話・スマートフォン」の割合が 51.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「学校の部活動」の割合が減少し、「携帯電話・スマートフォン」の割合が増加しています。

高校生等では、「音楽」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「進学・就職」の割合が 55.2%、「ファッション」の割合が 51.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「スポーツ」「音楽」「読書」「生徒会活動」「ファッション」「芸能人・タレント」「パソコン」「携帯電話・スマートフォン」の割合が増加し、「学校の成績」の割合が減少しています。



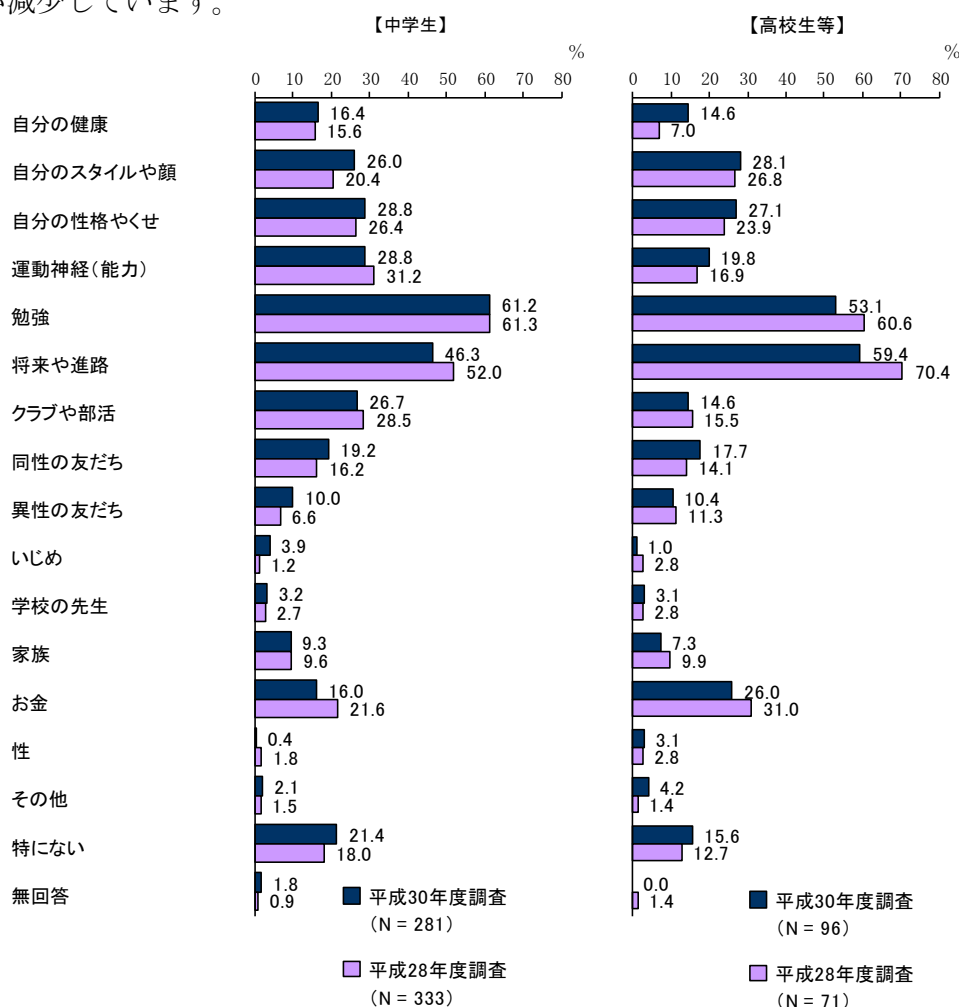
問 13 悩みや心配なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「勉強」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「将来や進路」の割合が 46.3%、「自分の性格やくせ」、「運動神経（能力）」の割合が 28.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分のスタイルや顔」が増加し、「将来や進路」「お金」の割合が減少しています。

高校生等では、「将来や進路」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「勉強」の割合が 53.1%、「自分のスタイルや顔」の割合が 28.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分の健康」の割合が増加し、「勉強」「将来や進路」「お金」の割合が減少しています。



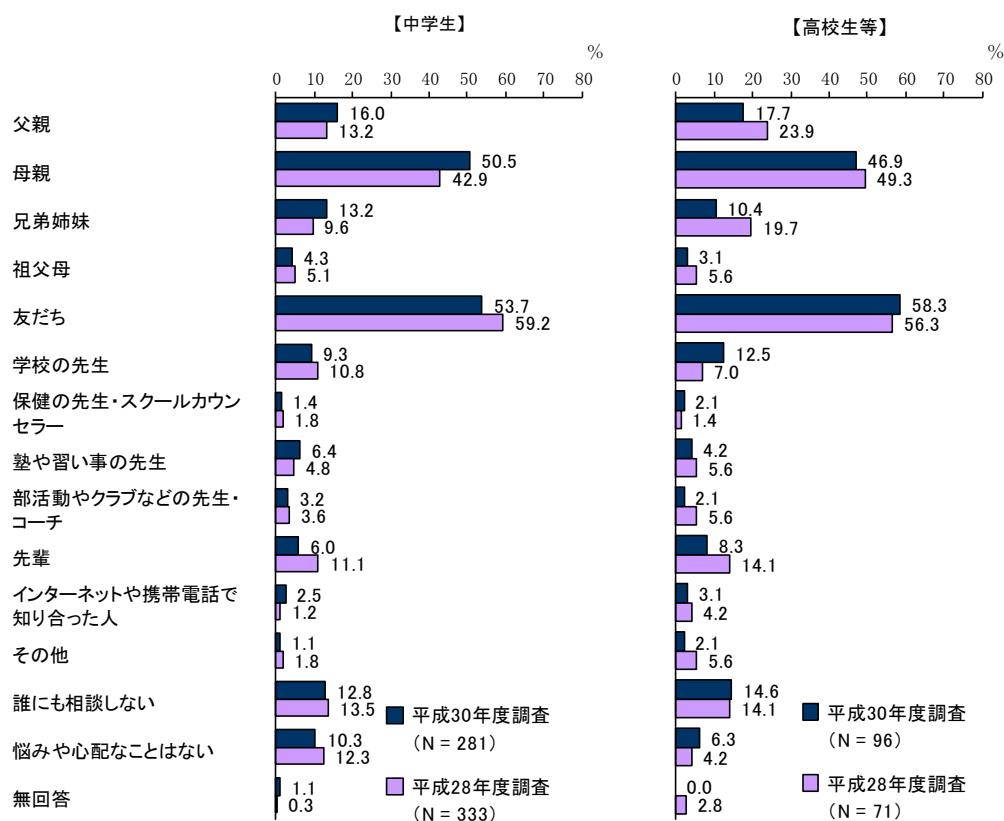
問 14 悩みや心配なことは誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「友だち」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「母親」の割合が 50.5%、「父親」の割合が 16.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「母親」の割合が増加し、「友だち」「先輩」の割合が減少しています。

高校生等では、「友だち」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「母親」の割合が 46.9%、「父親」の割合が 17.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「学校の先生」の割合が増加し、「父親」「兄弟姉妹」「先輩」の割合が減少しています。



問 15 次の①～⑤の考え方についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを1～4の中から選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 中学生

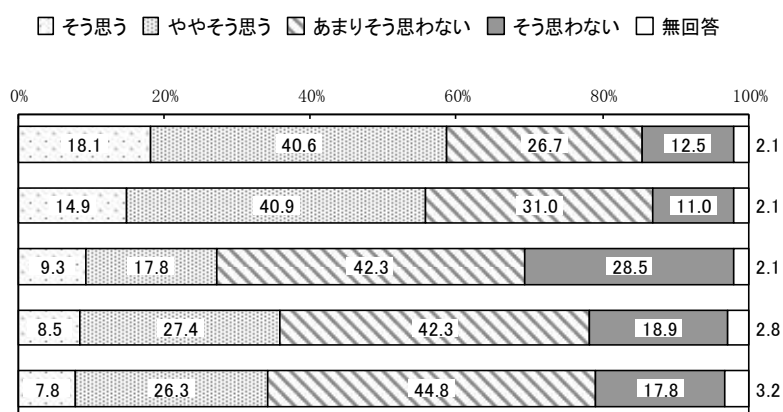
①自分のことが好きだ、②自分は人から必要とされているで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。また、③自分のことは誰もわかってくれないで「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、①自分のことが好きだで“そう思う”の割合が増加しています。

【平成30年度調査】

N = 281

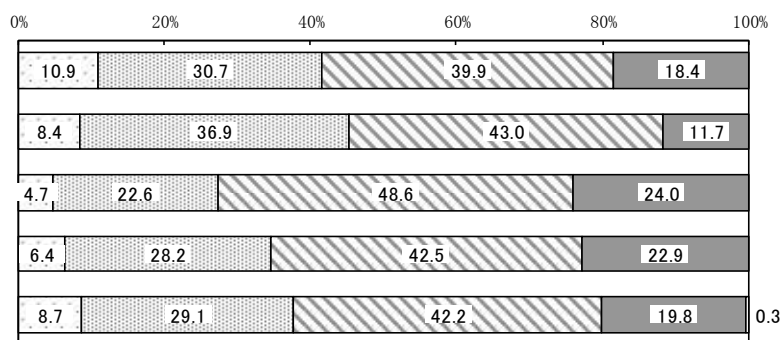
- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違わないようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに
深入りしないようにしている



【平成28年度調査】

N = 358

- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違わないようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに
深入りしないようにしている



（２）高校生等

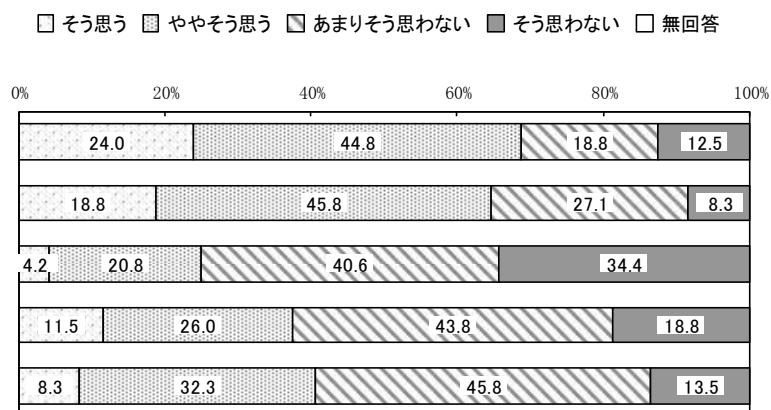
①自分のことが好きだ、②自分は人から必要とされているって“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。また、③自分のことは誰もわかってくれないで“そう思わない”の割合が高く、7割台半ばとなっています。

平成 28 年度調査と比較すると、①自分のことが好きだで“そう思う”の割合が増加しています。

【平成30年度調査】

N = 96

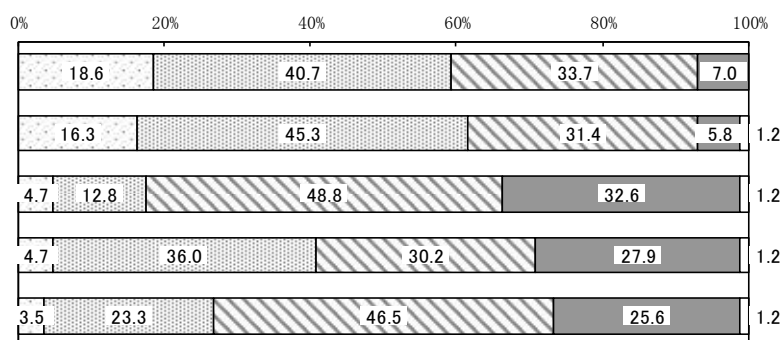
- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違うようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに
深入りしないようにしている



【平成28年度調査】

N = 86

- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違うようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに
深入りしないようにしている



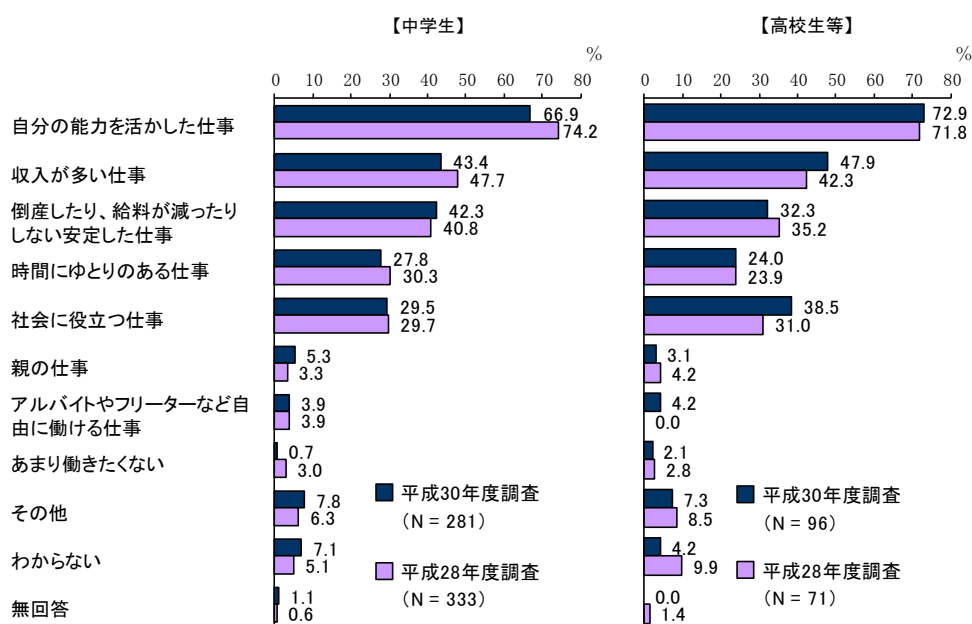
問 16 将来、どんな仕事につきたいですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「自分の能力を活かした仕事」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 43.4%、「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」の割合が 42.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分の能力を活かした仕事」の割合が減少しています。

高校生等では、「自分の能力を活かした仕事」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 47.9%、「社会に役立つ仕事」の割合が 38.5%となっています。

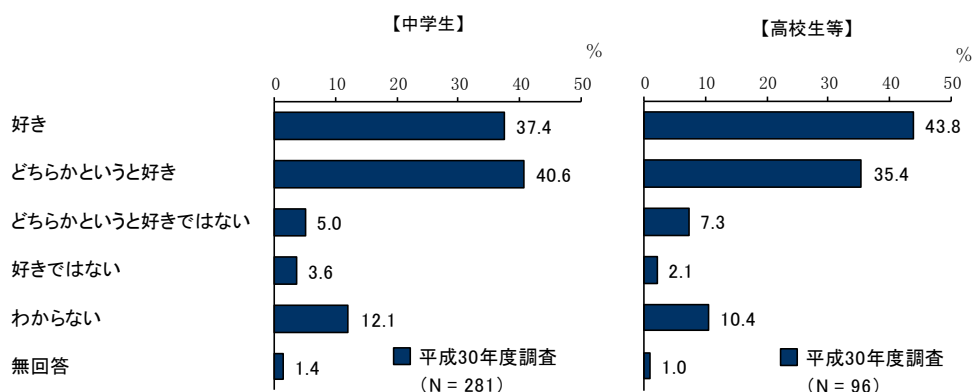
平成 28 年度調査と比較すると、「収入が多い仕事」「社会に役立つ仕事」の割合が増加しています。



問 17 あなたは墨田区が好きですか。(1つに○)

中学生では、「好き」と「どちらかという好き」をあわせた“好き”の割合が 78.0%、「どちらかという好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が 8.6%となっています。

高校生等では、「好き」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「どちらかという好き」の割合が 35.4%、「わからない」の割合が 10.4%となっています。

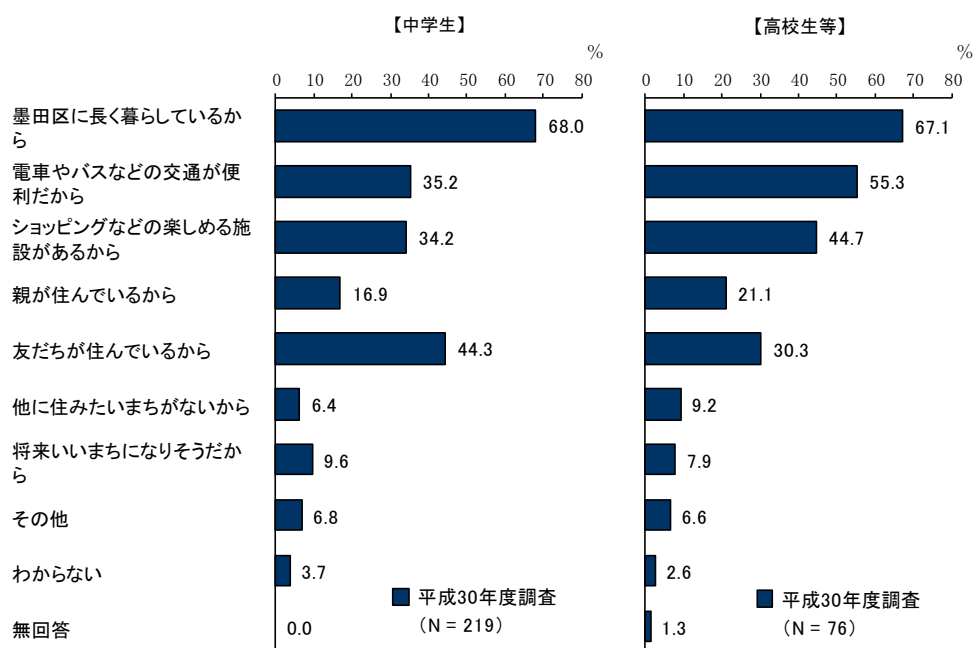


問17で「1. 好き」「2. どちらかというと好き」に○をつけた方にうかがいます。

問18 墨田区が好きな理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が68.0%と最も高く、次いで「友だちが住んでいるから」の割合が44.3%、「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が35.2%となっています。

高校生等では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が67.1%と最も高く、次いで「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が55.3%、「ショッピングなどの楽しめる施設があるから」の割合が44.7%となっています。

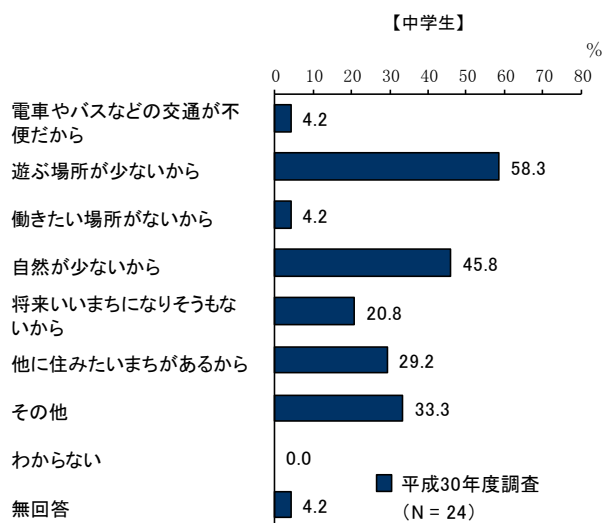


問 17 で「3. どちらかというとは好きではない」「4. 好きではない」に○をつけた方にうかがいます。

問 19 墨田区が好きではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「遊ぶ場所が少ないから」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「自然が少ないから」の割合が 45.8%、「他に住みたいまちがあるから」の割合が 29.2%となっています。

高校生等では、「遊ぶ場所が少ないから」が 5 件、「将来いいまちになりそうもないから」が 3 件、「電車やバスなどの交通が不便だから」、「働きたい場所がないから」、「他に住みたいまちがあるから」が 2 件となっています。



※高校生等については 10 件未満 (N = 9) のためグラフ化していません。

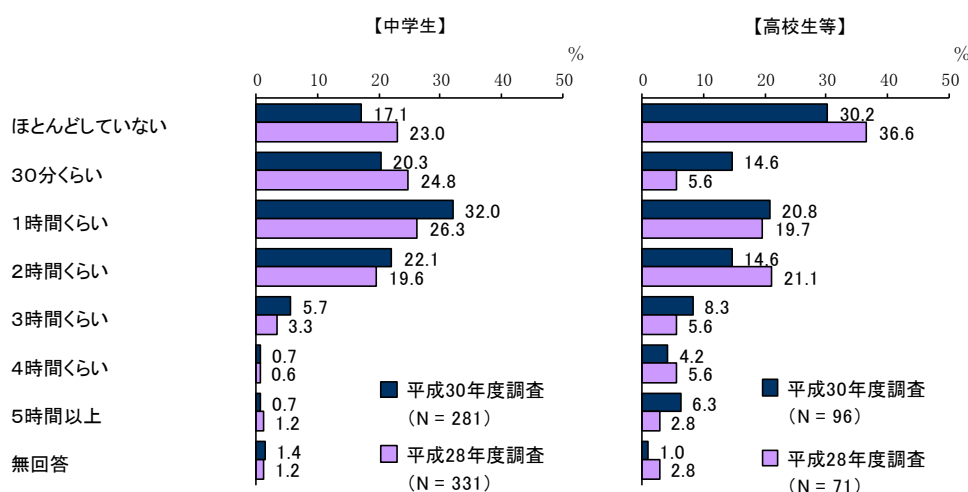
問 20 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか。(1つに○)

中学生では、「1時間くらい」の割合が32.0%と最も高く、次いで「2時間くらい」の割合が22.1%、「30分くらい」の割合が20.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「ほとんどしていない」の割合が減少し、「1時間くらい」の割合が増加しています。

高校生等では、「ほとんどしていない」の割合が30.2%と最も高く、次いで「1時間くらい」の割合が20.8%、「30分くらい」、「2時間くらい」の割合が14.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「30分くらい」の割合が増加し、「ほとんどしていない」「2時間くらい」の割合が減少しています。



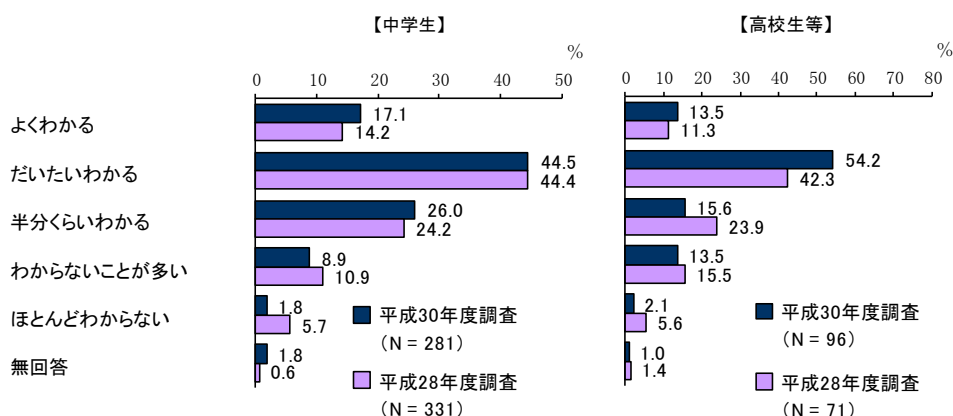
問 21 学校の授業は、わかりますか。(1つに○)

中学生では、「だいたいわかる」の割合が44.5%と最も高く、次いで「半分くらいわかる」の割合が26.0%、「よくわかる」の割合が17.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生等では、「だいたいわかる」の割合が54.2%と最も高く、次いで「半分くらいわかる」の割合が15.6%、「よくわかる」、「わからないことが多い」の割合が13.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「だいたいわかる」の割合が増加し、「半分くらいわかる」の割合が減少しています。



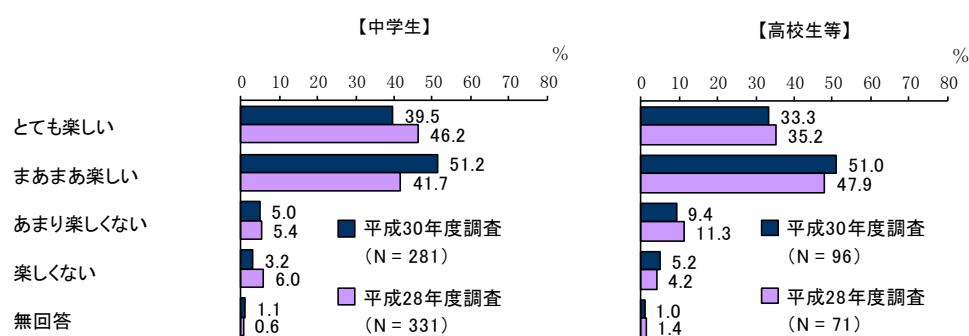
問 22 学校は楽しいですか。(1つに○)

中学生では、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が 90.7%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が 8.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「とても楽しい」の割合が減少し、「まあまあ楽しい」の割合が増加しています。

高校生等では、“楽しい”の割合が 84.3%、“楽しくない”の割合が 14.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)

「親に相談する」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「友だちに相談する」の割合が 42.0%、「じっと我慢する」の割合が 27.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「相手に文句をいう」の割合が減少し、「親に相談する」の割合が増加しています。

高校生等では、「親に相談する」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「友だちに相談する」の割合が 38.5%、「相手に文句をいう」の割合が 34.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「友だちに相談する」「親に相談する」の割合が減少しています。

